

令和4年度
第2期名護市まち・ひと・しごと創生総合戦略
評価検証報告書
(令和3年度実績)

令和4年12月
名護市

— 目 次 —

1. 評価検証の実施方針	1
1.1. 評価検証の趣旨	1
1.2. 評価検証の流れ	1
2. 評価検証の具体的手順	2
2.1. 第2期名護市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価方法	2
2.2. 「達成率（ランク評価）」と「進捗状況」について	3
2.3. 評価検証シートの見方	4
3. 第2期名護市総合戦略の施策体系	6
4. 評価検証結果	8
5. 参考資料	64
5.1. 名護市まち・ひと・しごと創生本部会議（内部検証会議）名簿.....	64
5.2. 名護市総合戦略推進会議（外部検証会議）名簿	65

1. 評価検証の実施方針

1.1. 評価検証の趣旨

名護市では、令和3年3月に第2期名護市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という）を策定し、将来にわたって持続可能なまちづくりを目指しています。

総合戦略に示した施策を総合的・継続的に推進していくためには、施策の進捗状況について成果や課題を分析し、必要な改善や見直しを図っていくことが重要となります。

毎年度評価検証を実施することにより、総合戦略で設定した数値目標やKPI（重要業績評価指標）における目標値の達成状況や、数値に現れない取組の進捗状況の確認を行い、課題や対応方針を明確にすることで、効果的・効率的にPDCAサイクルを推進していきます。

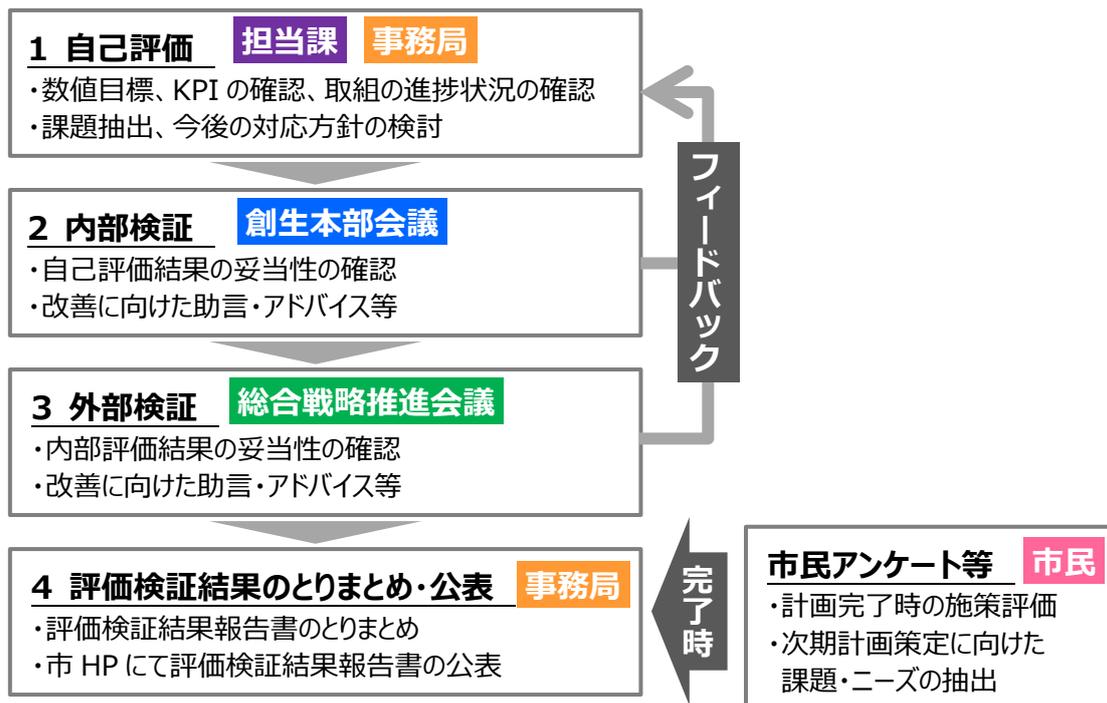
1.2. 評価検証の流れ

毎年度の評価検証については、計画の途中段階にあるため、達成率といった数値に効果が現れないものもあります。そのため、目標値の「達成状況」といった客観的な視点と、取組の「進捗状況」といった主観的な視点の両面から評価を行います。

また、評価結果を透明性の高いものとするために、担当課による自己評価に対し、名護市庁内体制で構成される「名護市まち・ひと・しごと創生本部会議」による内部検証、及び、産業界、行政、教育機関、金融機関、関連団体、地域住民等、幅広い各層で構成される「名護市総合戦略推進会議」による外部検証を行います。各会議において、評価の妥当性の検証や改善に向けた助言を行い、担当課へフィードバックすることで、計画の実効性を高め、効率化を図ります。

計画期間の完了時にはさらに市民アンケート等による市民目線の評価を行うことにより、市民目線の主観的評価と次期計画策定のための課題・ニーズの抽出を行います。

図 1 評価検証の流れ



2. 評価検証の具体的手順

2.1. 第2期名護市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価方法

総合戦略では、5つの基本目標と横断的目標のもとに、30の基本方針、95の具体的取組を位置づけています。基本目標には施策を総合的に評価するために計10の数値目標を設定し、さらに各具体的取組にはそれぞれの達成状況を確認するために、計167のKPIを設定しています。

評価検証にあたっては、30の基本方針ごとに「評価検証シート」を作成し、167の重要業績評価指標（KPI）と95の具体的取組の「達成率」と「進捗状況」といった2つの視点を用いて評価しています。

表 1 総合戦略の基本目標と基本方針

基本目標	基本方針	評価検証シート
1. 安心して働ける活力あるまちをつくる	(1) 観光の振興	1・1
	(2) 農業の振興	1・2
	(3) 林業・漁業の振興	1・3
	(4) 商工業の振興	1・4
	(5) 雇用の創出と就労支援の充実	1・5
2. 暮らしやすく安全・安心な環境をつくる	(1) 自然と共生するまち	2・1
	(2) 道路・交通ネットワークの充実	2・2
	(3) 快適な居住環境の整備	2・3
	(4) 上・下水道の充実	2・4
	(5) 安全・安心なまちづくりの推進	2・5
	(6) 防災・救急体制の充実	2・6
3. 誰もがいきいきと暮らせる支え合いのある地域をつくる	(1) 健康づくりの推進	3・1
	(2) 高齢者への支援	3・2
	(3) 障がい者（児）への支援	3・3
	(4) 誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進	3・4
	(5) 社会保障等の充実	3・5
4. 安心して子育てができる環境をつくる	(1) 児童・子育て家庭への支援	4・1
	(2) 家庭教育と幼児 教育の充実	4・2
	(3) 青少年の健全育成	4・3
	(4) 学校教育の充実	4・4
5. 楽しみのあるまちづくりによって人々の繋がる場をつくる	(1) 社会教育の充実	5・1
	(2) 地域コミュニティの活性化	5・2
	(3) スポーツ・レクリエーション活動の充実	5・3
	(4) 芸術・文化活動の充実	5・4
	(5) 交流の推進・関係人口の創出	5・5
	(6) 人権や多様性の尊重	5・6
横断的目標 新しい時代の流れを力にして、持続可能な地方創生を推進する	(1) 時代に即した質の高い行政サービスの提供	横断・1
	(2) 持続可能な財政基盤の確立	横断・2
	(3) 環境にやさしい循環型社会の構築	横断・3
	(4) 移住・定住の促進	横断・4

2.2. 「達成率（ランク評価）」と「進捗状況」について

(1) 「達成率（ランク評価）」について

K P Iについては、目標値に対する実績値から達成率を算出し、AからEの5段階でランク評価を行います。1つの具体的取組の中にK P Iが複数ある場合には、K P Iごとに取組における重要度を加味し、重み（ウェイト）を設定して数値的に評価します。

達成率の算出にあたっては、令和6年度を基本とする目標値に対し、実績値が目標値にどれだけ近づいたか、という点を評価していきます。

最終的に100%（以上）を目指すため、指標によっては計画期間途中の評価が低く現れる場合もあることから、最終年以外は参考値として扱います。

表 2 評価基準

重要業績評価指標（KPI）の達成度	評価	評価の解釈
100%以上	A	当初計画の目標を超える成果が得られた
80%～100%未満	B	当初計画の目標に近い成果が得られた
60%～80%未満	C	当初計画の目標まで届かないが、おおむね目標を達成することができた
30%～60%未満	D	目標の半分程度までの成果が得られた
30%未満	E	目標の達成までには大きく離れた成果しか得られなかった

(2) 「進捗状況」について

総合戦略の取組のなかには、K P Iの設定が難しい取組があります。また、毎年度の評価においては、計画の途中段階であるために、数値的な達成状況では効果が示すことが難しい場合があります。そのため、達成率による評価とは別に進捗状況による評価をあわせて行います。

進捗状況については、「順調」「ほぼ順調」「順調でない」の各段階を矢印で表現し、その根拠について文章で示すことで、数値にあらわれない進捗状況が確認できるようにしています。

尚、進捗状況については、数値に現れない評価を示していることから、K P Iの達成率による評価とは矛盾が生じる場合もみられます。K P Iによる数値的な客観的評価結果と、進捗状況による数値に現れない評価結果を総合的に判断することで、課題や対応方針を検討するための材料とします。

順調	
ほぼ順調	
順調でない	

2.3. 評価検証シートの見方

(1) 具体的取組ごとの評価検証

基本方針に紐づく具体的取組について、KPIの達成率と進捗状況をもとに評価を行い、課題の抽出と対応方針を検討します。

第2期名護市総合戦略 評価検証シート

基本目標5. 楽しみのあるまちづくりによって人々の繋がる。【文化・交流、関係人口、人権・多文化共生】

基本方針(1) 社会教育の充実

4 具体的取組

①地域活動の支援

■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
具体的取組	・女性会・青年会・子ども会等の社会教育団体については、時代に対応した組織のあり方や活動の内容について、各団体とともに考え、活動の活性化を支援します。 ・支所は、地域の拠点施設としての役割も担っており、各社会教育団体のニーズを把握し、活動を支援するとともに、他団体との連携体制を構築し、地域活動の拡充に取り組みます。 総合戦略で策定した具体的取組の内容	ランク	B	-	-	-	【羽地支所】 ・各支所において、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図り、人数制限、オンラインなど工夫を凝らして青少年育成協議会支部活動の支援を行った。 【屋部支所】 ・コロナ対策の上、青少年育成協議会屋部支部の各種会議の開催支援を行った。 【久志支所】 ・新型コロナウイルスの影響により各種団体の事業を実施することができなかった。 【地域力推進課】 ・各社会教育団体においては、コロナ禍で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発布により、活動の制限が続いたり、企画自体が困難な状況であった。そのような中でも動き続けるために、内容を模索し、工夫して対策を取りながら活動ができるよう指南・支援を行った。 ・団体への指導者研修については、上記のとおりコロナ禍での動きの制限があったため、実施できなかった。							
		進捗状況	→											
①地域活動の支援	重要業績評価指標(KPI)	市女性会会員数	単位	人	136	136	30	備考 コロナ禍で計画した事業実施が困難な状況であった。工夫してできる活動は推進した。	対応 団体からの相談に応じる。活動内容の指南を行う。					
			現状値(R2)	136	136									
			目標値(R6)	136										
			ウエイト	30										
			評価	総計	実績値	136								
			達成率	100.0%										
			進捗状況	A										
			市子ども会育成連絡協議会加盟団体数	団体	4	4	35			総計	実績値	3		
			達成率	75.0%										
			進捗状況	C										
			市青年ネットワーク連合会加盟団体数	団体	9	9	35			総計	実績値	9		
			達成率	100.0%										
進捗状況	A													

【具体的取組ごとの評価】
 ・KPIの達成率から、設定したウエイトに応じて、具体的取組ごとの評価ランクを自動計算
 ・具体的取組ごとの進捗状況を矢印で入力

【今年度の取組(ふりかえり)】
 ・具体的取組の内容に対し、今年度は何がどのように進捗したか、どのような課題があったかなどについて、ふりかえりを行う

【SDGs】
 基本方針ごとに
 関連するSDGs
 (主なもの)

具体的取組に
 関連

KPIに
 関連

【KPI】
 具体的取組ごとに
 設定したKPI

【ウエイト】
 1つの具体的取組に
 KPIが複数ある場合
 はウエイトを設定

【KPIごとの評価】
 ・KPIの実績値に応じて達成率と評価
 ランクを自動計算
 ・KPIごとの進捗状況を矢印で入力

【備考】
 ・矢印を選択した根拠
 (順調であることの根拠、順
 調でないことの課題等)

【対応】
 ・評価結果や備考に記載し
 た内容をもとに対処方針を
 記載

(2) 評価結果と妥当性の検証、今後の対応方針

具体的取組での評価を総括し、一定の基本方針ごとの施策を進めるうえでの評価や課題整理を行ったうえで、今後の方針を検討します。

【自己評価】
 ・担当課において、基本方針全体の評価と、課題抽出、対応方針について検討

【内部検証】
 ・内部検証会議における評価の妥当性や改善に向けた助言などの意見を記載

【外部検証】
 ・外部検証会議における評価の妥当性や改善に向けた助言などの意見を記載

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)		外部検証	
評価	十分な効果があった	内部検証		外部検証	
課題	【介護長寿課】 ①包括センターの拡充・機能強化に関しては、コロナ禍による人手不足により、人材確保が困難との理由から、受託法人の選定が難航している。地域ケア会議に関しては、地域課題の分類、抽出が出来ていないことが課題となっている。また、入退院支援の手引きを作成しているが、活用している機関にバラツキがあり、関係機関で統一した活用までには至っていないことが課題となっている。 ②生きがいづくりは対面活動が主であったが、コロナ禍で対面活動の難しさを感じている。 ③事業所指導に向けて、実地指導マニュアルを作成する必要がある。また、介護給付費適正化を図るため、点検件数を増やす必要がある。 ④交通手段がなく、介護予防事業に通えない高齢者がいる。	・②については、新型コロナの影響でイベント中止となり、進捗が順調でないということ、他の取り組みでは、ほぼ順調であることから、比較的效果があった評価になると思われる。		・自己評価において、達成度の低い事業などがあり、課題も多いので、評価が適切ではないと考えられる。 ・市民の健康づくりは、今後の名護市にとっても最重要課題であると思うので、市ホームページやSNS、FMラジオ番組などの普及啓発に予算をかけて取り組んで欲しい。	評価の妥当性・改善に向けた助言
対応	【介護長寿課】 ①今後も受託可能法人との調整を継続し、羽地・屋我地区への地域型包括支援センターへの委託設置を目指す。地域ケア会議については、ケア会議の機能が果たせるよう、地域型包括、関係機関へケア会議の趣旨、活用方法について周知を図る。また、地域課題分類ができるよう分類表の作成に取り組みとともに、手引きの内容見直し及び活用促進に向けて周知活動を実施する。 ②感染対策と並行して生きがいづくり(イベント)を開催する。また、対面活動以外の生きがいづくりを検討する。 ③事業所指導に向けては、実地指導マニュアルを作成し、実施件数を増加させる。介護給付費適正化を図るため、点検件数を増やし、事務処理上の請求誤りと算定要件の解釈について事業所への周知を強化する。				

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	【介護長寿課】 ・高齢者の生きがいづくりは、その健康が有って成り立つとの認識のもと、感染拡大防止優先の観点から高齢者向けイベントや事業所への指導・監査については、新型コロナウイルスの影響により、状況に応じて庁内調整も行って中止判断として、その結果、実施していないことからR3年度達成度は「E」としてはありますが、その判断自体は適切であることから、評価も妥当であると考えています。 ・事業所への指導については、集団指導のあり方を工夫し、又、新型コロナウイルス対応上、国から通知される介護保険制度や臨時的な取り扱いにかかる通知やその解釈などを市ホームページを活用し事業所へその都度、周知し適正な介護サービス提供に繋がっているところです。 一方で取り組めていない課題には期間内の達成に向けて推進していきたいと思っております。 ・市内コミュニティ-FMラジオを活用した情報発信は、現在一般介護予防事業において普及啓発に関する予算を確保し、市包括支援センター職員が認知症や運動、社会参加等をテーマに介護予防の普及啓発に取り組んでいます。また、介護予防カレンダーを作成し、市内の高齢者へ配布を行いました。今後は市ホームページ等での普及啓発にも取り組んでいきたいと思っております。 【健康増進課】 ・市民への健康づくりに関する周知としては、現在、市ホームページ及び健康だより(年4回発行)などを活用して実施しております。さらに、健診未受診者対策として、令和3年度より民間委託による未受診者の分析を行い、その方にあった受診勧奨を年2回ほど実施しております。

【検証結果を踏まえた改善方針】
 ・内部検証、外部検証における意見に基づき、担当課で改善に向けた対応方針を検討

3. 第2期名護市総合戦略の施策体系

	基本方針	関連する主な SDGs	具体的取組
1 つくる 安心して働ける活力あるまちを	(1) 観光の振興	8 働きがいも経済成長も、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさも守ろう、17 パートナリシップで目標を達成しよう	①市内への滞在促進 ②多様な観光客の受入体制の充実 ③マーケティングプロモーションの充実 ④観光振興の推進体制の確立・強化 ⑤スポーツコンベンションの推進
	(2) 農業の振興	2 飢餓をゼロに、6 安全な水とトイレを世界中に、8 働きがいも経済成長も、15 陸の豊かさも守ろう	①農業振興に向けた支援体制の強化 ②農家の担い手育成 ③自然環境に配慮した農業生産基盤の整備 ④農業の多様性を活かす活動の促進
	(3) 林業・漁業の振興	6 安全な水とトイレを世界中に、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさも守ろう	①自然と調和した森林資源の保全 ②新たな林産物の研究・開発の促進 ③水産基盤の整備・保全 ④漁家の経営の安定化及び担い手の育成 ⑤漁港の利活用
	(4) 商工業の振興	8 働きがいも経済成長も、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、11 住み続けられるまちづくりを、12 つくる責任 つかう責任	①中小企業・小規模企業等への支援・育成の充実 ②中心市街地への商業の集積・活性化と機能の拡大 ③地域資源を活用した地産品開発と販路拡大
	(5) 雇用の創出と就労支援の充実	8 働きがいも経済成長も、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、11 住み続けられるまちづくりを、17 パートナリシップで目標を達成しよう	①産業を創出するための人材育成 ②金融・情報通信関連企業の立地促進 ③新たな起業への支援
2 つくる 暮らしやすく安全・安心な環境を	(1) 自然と共生するまち	6 安全な水とトイレを世界中に、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさも守ろう	①自然環境と調和した土地利用の適正な規制・誘導 ②自然環境の保全・回復に向けた取組の推進
	(2) 道路・交通ネットワークの充実	3 すべての人に健康と福祉を、9 産業と技術革新の基盤をつくろう、11 住み続けられるまちづくりを	①計画的かつ効率的・効果的な道路整備及び適切な維持管理の推進 ②安心・快適な道路環境の整備 ③公共交通の利便性の向上
	(3) 快適な居住環境の整備	11 住み続けられるまちづくりを、15 陸の豊かさも守ろう	①都市基盤の整備 ②景観行政の推進 ③公園の整備推進と維持管理の充実 ④総合的・計画的な住宅政策の推進
	(4) 上・下水道の充実	6 安全な水とトイレを世界中に、14 海の豊かさを守ろう、17 パートナリシップで目標を達成しよう	①上・下水道の健全な運営 ②計画的な拡充整備及び施設更新 ③国際協力の推進
	(5) 安全・安心なまちづくりの推進	11 住み続けられるまちづくりを、16 平和と公正をすべての人に	①交通安全対策の推進 ②防犯対策の強化 ③野犬・野良猫・ハブ・害虫等の対策強化
	(6) 防災・救急体制の充実	3 すべての人に健康と福祉を、11 住み続けられるまちづくりを、13 気候変動に具体的な対策を、17 パートナリシップで目標を達成しよう	①消防・防災体制の整備・充実 ②救急救助体制の充実 ③地域防災力の向上
3 支え合いのある地域をつくる	(1) 健康づくりの推進	2 飢餓をゼロに、3 すべての人に健康と福祉を、17 パートナリシップで目標を達成しよう	①ライフステージに応じた市民の健康づくり ②地域と一体となった健康づくりの支援
	(2) 高齢者への支援	3 すべての人に健康と福祉を、10 人や国の不平等をなくそう、16 平和と公正をすべての人に、17 パートナリシップで目標を達成しよう	①地域包括ケアシステム体制の充実 ②高齢者の生きがいづくりの支援 ③適切な介護保険事業の運営 ④介護予防事業の推進 ⑤在宅医療・介護の連携
	(3) 障がい者（児）への支援	3 すべての人に健康と福祉を、4 質の高い教育をみんなに、10 人や国の不平等をなくそう、17 パートナリシップで目標を達成しよう	①障がい者（児）への理解の促進 ②社会参加・交流促進
	(4) 誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進	1 貧困をなくそう、3 すべての人に健康と福祉を、17 パートナリシップで目標を達成しよう	①地域での支え合いによる福祉の推進 ②福祉に関する支援体制の充実
	(5) 社会保障等の充実	1 貧困をなくそう、3 すべての人に健康と福祉を、16 平和と公正をすべての人に、17 パートナリシップで目標を達成しよう	①国民健康保険事業の健全な運営と後期高齢者医療保険制度の円滑な運営 ②困窮世帯等への自立支援

	基本方針	関連する主な SDGs	具体的取組
4 安心して子育てができる環境をつくる	(1) 児童・子育て家庭への支援	1 貧困をなくそう 2 健康をこころに 3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を達成しよう	①子どもの居場所づくり ②子育て家庭、児童への支援 ③保育サービス及び保育環境の充実 ④児童虐待やDVの防止と適切な支援
	(2) 家庭教育と幼児教育の充実	4 質の高い教育をみんなに 17 パートナーシップで目標を達成しよう	①家庭や地域の教育力の向上 ②幼児教育の充実
	(3) 青少年の健全育成	4 質の高い教育をみんなに 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう	①青少年の健全育成に向けた取組の充実 ②地域の子どもは地域で育てる ③体験学習等の推進による人材育成事業の充実
	(4) 学校教育の充実	2 健康をこころに 4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう	①学校教育内容の充実 ②地域とともにある学校づくり ③教育環境の充実
5 人々の繋がる場をつくる	(1) 社会教育の充実	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう	①地域活動の支援 ②公民館活動の充実
	(2) 地域コミュニティの活性化	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう	①コミュニティ活動の充実
	(3) スポーツ・レクリエーション活動の充実	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう	①生涯スポーツの充実 ②夢を育む競技スポーツの推進 ③スポーツ施設の整備拡充
	(4) 芸術・文化活動の充実	4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう 16 平和と公正をすべての人に	①伝統文化の継承と歴史的資料・文化財の保全・活用 ②博物館運営の充実 ③図書館機能の充実 ④芸術文化の振興 ⑤生涯学習機会の情報提供と生涯学習施設等の連携充実
	(5) 交流の推進・関係人口の創出	10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう	①国際交流の促進 ②地域間交流の促進
	(6) 人権や多様性の尊重	5 ジェンダー平等を達成しよう 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう	①男女共同参画に向けた意識・環境づくり ②互いの性や人権、文化を尊重しあうまちの実現 ③女性の能力発揮促進と人材活用
横断 新しい時代の流れを力にして、持続可能な地方創生を推進する	(1) 時代に即した質の高い行政サービスの提供	8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう	①行政が担うべき役割の重点化と民間活力の活用 ②最新技術を活用した市民サービスの向上と事務の効率化 ③時代の変化に対応可能な人材の育成 ④簡素で効率的な組織体制の構築 ⑤シティブロモーションの推進 ⑥ " 伝わる " 情報発信 ⑦名桜大学との連携
	(2) 持続可能な財政基盤の確立	11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう	①財政運営の健全性の確保 ②歳出削減への取組 ③歳入確保への取組 ④公共施設等の適切な管理
	(3) 環境にやさしい循環型社会の構築	7 気候変動に具体的な対策を 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を	①環境意識の普及・啓発 ②循環型社会の構築に資する人材の育成 ③ごみの発生抑制・再資源化の促進と廃棄物の適正処理 ④循環型エネルギーの導入・普及促進
	(4) 移住・定住の促進	8 働きがいも経済成長も 9 産業と地域開発の持続的な成長を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう	①移住・定住の促進

※関連する主なSDGsを掲載しています。

4. 評価検証結果

次ページより、基本方針ごとに作成した評価検証シートにより、評価検証結果を示します。

基本目標 1. 安心して働ける活力あるまちをつくる 【産業振興、雇用・就労】

基本方針 (1) 観光の振興



■ 具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)		実績(DO)											
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)						
①市内への滞在促進	・名護市全域や各地区において、自然や生活・伝統文化を活用し、地域の経済循環を生み出す滞在メニューを開発するとともに、各地区の事業者間や住民との連携、拠点の強化や、既存イベントの見直し等を図り、名護市内への観光客の滞在促進を図ります。 ・多様な資源を活用した滞在メニューの提供やイベントを着地型コンテンツとして見直すことにより、中心市街地の滞在促進を図ります。 ・「名護湾沿岸基本計画」に基づき、「21世紀の森公園周辺エリア」「名護漁港周辺エリア」「玄関口エリア」において、持続可能なまちづくりを検討します。	ランク	E	—	—	—	【久志支所】 ・新型コロナウイルスの影響により、既存のイベント等が開催できず、観光客の滞在促進を促すことができませんでした。 【観光課】 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、減少した観光客の需要回復のため、「名護市観光産業支援事業(7515キャンペーン)」を実施し、本市への誘客へ繋げました。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の収束は見通せないものの、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えたイベント開催や観光支援事業に取組み、引き続き観光客の滞在促進に繋がる取組みを図って行きたいと思っております。 【政策推進課】 ・名護湾沿岸(名護漁港周辺エリア)実施計画を令和4年3月に策定しました。						
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	市内観光施設入込客数(国内内容及び国外客含む)	人/年	4,935,538	6,025,000	40	単年	実績値 1,653,392 達成率 27.4%	—	—	—	—	4月のまん延防止等重点措置に続き、5月から9月までの長期間にわたり緊急事態措置が適用され、感染状況が落ち着いた11月以降、段階的な経済活動再開により徐々に回復傾向が見られたものの、1月以降再びまん延防止等重点措置が適用となるなど、コロナ禍により多大な影響を受けました。	ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた観光客誘客の取組みを図ります。関係部署及び市内観光事業者と連携してまいります。
	市内宿泊施設入込客数(国内内容及び国外客含む)	人/年	1,281,083	1,366,000	40	単年	実績値 440,926 達成率 32.3%	—	—	—	—	4月のまん延防止等重点措置に続き、5月から9月までの長期間にわたり緊急事態措置が適用され、感染状況が落ち着いた11月以降、段階的な経済活動再開により徐々に回復傾向が見られたものの、1月以降再びまん延防止等重点措置が適用となるなど、コロナ禍により多大な影響を受けました。	ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた観光客誘客の取組みを図ります。関係部署及び市内観光事業者と連携してまいります。
市域内一人当たりの観光消費額	円/年	13,306	14,400	20	単年	実績値 0 達成率 0.0%	—	—	—	—	調査未実施のため、分析には至っていない状況です。	R6年度に調査を実施する予定です。	

取組・指標(PLAN)		実績(DO)											
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)						
②多様なツーリストの受入体制の充実	・広域も含めた観光案内機能の充実や、外国人受入環境の充実、広域連携体制による受入を推進など、様々なツーリストの受入環境の充実を図ります。 ・多様なツーリストの受入に向け、観光人材等の確保・育成を推進します。	ランク	D	—	—	—	【久志支所】 ・新型コロナウイルスの影響により、観光客を受け入れる環境の充実を図ることができませんでした。 【屋敷地支所】 ・令和2年度より引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により修学旅行の中止や民泊受入が困難な状況になったため、体験施設の利用者がほぼいない状態となりました。 【羽地支所】 ・新型コロナウイルス感染拡大により、観光客が減少するとともにイベント等も中止となり観光客の受入体制充実化を図る事はできませんでした。地元、県内客の集客強化を行いコロナ禍の集客対応に工夫しました。 【観光課】 ・那覇空港の国際線は、2020年3月から全便運休が続いており、令和3年度の外国人観光客の入域がなかったため、ツーリスト受入環境の取組はありませんでした。今後は、新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、政府による本格的な外国人観光客の受け入れが開始された場合は、県、市内観光関係機関と連携し、外国人観光客の受け入れ体制を再構築したいと思っております。 ・令和3年度については、観光人材等の確保について実現できませんでしたが、令和4年8月より、本市に派遣された観光分野の専門人材の知見や助言を教授し、課題解決や観光政策に取組んで行きたいと思っております。						
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	名護自然動植物園施設利用者数	人/年	93,045	280,000	15	単年	実績値 145,031 達成率 51.8%	—	—	—	—	令和3年度は170,000人を目標としていましたが、新型コロナウイルスによる観光客の減少により、約25,000人足りませんでした。	アフターコロナに向けた観光客の取込みを図ります。
	修学旅行宿泊者数	人/年	77,015	78,940	10	単年	実績値 41,352 達成率 52.4%	—	—	—	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響により修学旅行の中止がありました。特に1月には全国各地で緊急事態宣言が発出されたため、1月・2月の修学旅行受入は0でした。	アフターコロナに向けた観光客の取込みを図ります。
	外国人市内観光施設入込客数	人/年	1,254,296	2,032,339	20	単年	実績値 17,587 達成率 0.9%	—	—	—	—	政府による、外国人の国内流入制限が掛かったため、甚大な影響を受けました。	ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた外国人受け入れ体制の構築及び市内観光事業者との連携を図ります。
	外国人市内宿泊施設入込客数	人/年	269,960	276,709	20	単年	実績値 2,729 達成率 1.0%	—	—	—	—	政府による、外国人の国内流入制限が掛かったため、甚大な影響を受けました。	ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた外国人受け入れ体制の構築及び市内観光事業者との連携を図ります。
	羽地の駅レジ通過者数	人/年	80,065	86,905	15	単年	実績値 85,166 達成率 98.0%	—	—	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大により県外観光客来場者数が大幅に落ち込む中、県内客を獲得することにより前年度より増加しています。	県内客、地元客の集客を強化します。
	わんさか大浦パーク訪問数	人/年	81,858	121,966	15	単年	実績値 88,611 達成率 72.7%	—	—	—	—	新型コロナウイルスの影響により、訪問者が少ない状況となりました。	コロナ対策を講じながら誘客活動を展開します。
	名護市やがじ農業体験施設体験者数	人/年	37	2,000	5	単年	実績値 4 達成率 0.2%	—	—	—	—	令和2年度より引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により修学旅行の中止や民泊受入が困難な状況となりました。	修学旅行生以外の体験メニューを検討します。

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
③マーケティングプロモーションの充実	<ul style="list-style-type: none"> 継続的なデータの取得・分析を実施し、来訪者のニーズに応じたプロモーション手法の構築を検討します。 地域のブランド育成・強化を図り、ブランドを活かしたプロモーションを実施します。 北海道日本ハムファイターズ春季キャンプの来場者数増を目的に、ファイターズホームゲームにおいて「名護スペシャルデー」を開催し、プロモーション活動を実施します。 						総括	E	—	—	—	【観光課】 継続的なデータ取得(宿泊施設、観光施設)のデータ収集は行っているものの、当データ等を活用したプロモーション手法の構築までは至っていない状況です。 姉妹都市等において、連携をとり、他課(企画政策課)の方で、ブランドを活かした観光プロモーション(4回)を実施しました。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により名護スペシャルデーの直接的なプロモーションは見送りました。 コロナ禍においても可能な範囲で、其々の取り組みについてマーケティングプロモーションを実施していきたいと思います。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	北海道日本ハムファイターズ春季キャンプ来場者数		人/年	28,950	30,000	50	単年	実績値 0	—	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、球団側の判断で無観客でのキャンプ実施となりました。	有観客で実施できるよう球団側と調整します。
	※現状値はR元年度						達成率 0.0%	—	—	—	—		
							ランク E	—	—	—	—		
観光協会ホームページアクセス数		回/年	295,470	301,400	15	単年	実績値 221,471	—	—	—	今年度、300,000件のページビュー数を目標としていましたが、新型コロナウイルスの影響で、イベントページ等がみられなくなった影響で221,471件となりました。	ホームページによる市内の観光地・観光施設・宿泊施設等の情報・各種イベント情報を掲載し、プロ野球キャンプ・賛助会員の紹介等に努めます。	
※現状値はR元年度						達成率 73.5%	—	—	—	—			
						ランク C	—	—	—	—			
国内外のプロモーション活動実績		件/年	8	10	20	単年	実績値 7	—	—	—	①枚方友好・交流都市物産展／やんばる名護マルシェinイオン具志川／やんばる・なごむんフェアin銀座わしたショップ本店／FOODSTYLE OKINAWA2022／②名護スペシャルデー(札幌ドーム)／ANA・名護市共同プロモーションを実施しました。 ※①企画政策課実施②観光課実施	企画政策課と連携し、観光プロモーションの強化を図ります。	
※現状値はR元年度						達成率 70.0%	—	—	—	—			
						ランク C	—	—	—	—			
名護市観光客の満足度調査		%	87.4	90.0	15	単年	実績値 0.0	—	—	—	調査未実施のため、分析には至っていない状況です。	R6年度に調査を実施する予定です。	
※現状値はR元年度						達成率 0.0%	—	—	—	—			
						ランク E	—	—	—	—			
						進捗状況 ↓							

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
④観光振興の推進体制の確立・強化	<ul style="list-style-type: none"> 地域(市民・事業者)の観光振興に対するコンセンサスを形成することで、市内の観光振興体制の強化を図ります。 産学官連携体制の構築や広域連携体制の充実を図ります。 						総括	E	—	—	—	【観光課】 産学官連携体制の構築として、有識者による懇話会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催ができませんでした。 令和4年8月より、本市に派遣された観光分野の専門人材を交え、「観光振興基本計画」に係る有識者懇話会において、観光振興基本計画の進捗状況を確認していきたいと思います。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
産学官連携による観光振興に向けた取組		件/年	1	2	100	単年	実績値 0	—	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、人を集めた会議等の開催が困難な状況にありました。	WEB会議などを活用し、関係機関との連携強化を図ります。	
※現状値はR元年度						達成率 0.0%	—	—	—	—			
						ランク E	—	—	—	—			
						進捗状況 ↓							

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
⑤スポーツコンベンションの推進	<ul style="list-style-type: none"> 21世紀の森公園内に、スポーツコンベンションの核施設となるサッカーラグビー場を整備します。 スポーツ合宿等の誘致を促進し、観光閑散期の観光振興を図ります。 						総括	E	—	—	—	【観光課】 スポーツコンベンション施設整備事業については、グラウンド1面が完成しました。引き続き、管理棟及びグラウンド整備を実施します。 合宿誘致については、新型コロナウイルスの影響で中止の団体がありました。新型コロナウイルス感染症拡大の状況を注視し、引き続きスポーツ合宿等の支援を行います。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	スポーツ合宿等実施件数		件/年	5	25	50	単年	実績値 12	—	—	—	新型コロナウイルスの影響で合宿の中止等がありました。	継続して誘致活動を実施します。
	※現状値はR元年度						達成率 48.0%	—	—	—	—		
							ランク D	—	—	—	—		
スポーツ合宿等実施人数		人/年	200	1,000	50	単年	実績値 89	—	—	—	新型コロナウイルスの影響で合宿の中止等がありました。	継続して誘致活動を実施します。	
※現状値はR元年度						達成率 8.9%	—	—	—	—			
						ランク E	—	—	—	—			
						進捗状況 ↓							

■評価結果と妥当性の検証

		検証(CHECK)	
自己評価		内部検証	
評価	あまり効果がなかった	外部検証	
課題	<p>【久志支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、観光の振興を図ることができませんでした。 <p>【屋我地支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により修学旅行が中止になったり、実施した学校でも民泊の受入ができなかった等があり、体験施設の利用ができない状況にありました。 <p>【羽地支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大により、観光客が減少するとともにイベント等も中止となり観光客の受入体制充実化を図る事はできませんでした。地元、県内容の集客強化として、県内容向けの商品充実化や地元高齢者向けに送迎サービスを行うなど工夫を行いました。 <p>【観光課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種イベントの中止・規模縮小実施や観光振興計画の有識者懇談会等の開催が見送られるなど、観光振興に対するコンセンサスを形成することができませんでしたが、ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた観光政策を構築する必要があります。 	<p>・久志支所、屋我地支所は具体的な課題抽出ができておらず、また、久志支所は今後の方針について、具体的ではないと思われます。目標達成度が軒並み低くなっており、そもそも当該目標のままの設定でいいのか疑問が残ります。</p> <p>・屋我地支所は今後の方針では情報の発信を強化し、ウイズコロナ・アフターコロナに向けターゲットを広げる取り組みがうかがえるため、実施に向けて取り組んではどうでしょうか。</p> <p>・施設整備が終着点ではなく、その施設をどう活用して活力あるまちづくりに繋げるかが重要だと思います。</p> <p>・設定された具体的取組の目標値が、コロナ禍前の状況を反映し設定されたものであるなら、「第2次観光振興基本計画」の見直しと合わせ、現状に沿った目標値や取組内容の再設定の検討も必要ではないかと思えます。</p> <p>・地域の意見等を踏まえ旅行会社等の実際に観光客のニーズを把握している者に、アフターコロナを見据えた市全体の観光資源を活かしたイベント企画やプログラムの作成を依頼し、計画のみではなく、実際にイベントやプログラム等を実施してもらってはどうか。</p>	<p>・コロナ禍では行動に制限があり、仕方ない部分もあったと思います。</p> <p>・観光データと自然観察・スポーツ・歴史文化等のイベントの時期を重ね合わせ、宿泊数が少ない時期には特別価格でのプロモーションを行ってはいかががでしょうか。</p> <p>・旅先納税の導入を検討してみてもどうでしょうか。全国的には北海道が先行していますが、先日、南城市でも開始したとの新聞報道がありました。</p> <p>※「旅先納税」とは、市外の方が本市を訪れたときに、スマートフォン上でふるさと納税ができ、返礼品として宿泊施設や飲食店等の加盟店で使える電子商品券を受け取れるというような取組です。</p> <p>・コロナの影響が落ち着いたら、方針どおり行えば良いと思います。</p> <p>・自己評価の課題や今後の方針の欄は、具体的な取組ごとに、自己評価の課題と今後の方針を記載できないでしょうか。一定の部分に関する自己評価になっていると思われるが、それで良いでしょうか。</p> <p>評価の妥当性</p> <p>改善に向けた助言</p> <p>・全体的にコロナにより観光行政がマイナス評価だったというのはとても残念です。しかしながら、コロナ前の環境で策定された「第二次観光振興基本計画」を実施出来なかった事については、そう悔やむ事でもないと思います。今後の方針に「見直し、検討を行う」とあるので、そこに期待します。回復に向けての観光客受け入れ態勢を整える事(人、交通)と、名護市への誘客アピールの強化(東にした発信力)と、観光客視点のインフラ整備、に注力して欲しいと思います。高速船が開始された事はとても喜ばしい事ですので、それが更に発展し名護が北部観光の拠点となる基礎づくりにはとても貢献したと感じていますし評価すべきと思います。</p> <p>・③マーケティングプロモーションの充実④観光振興の推進体制の確立・強化 名護市の観光の在り方について行政と事業者でじっくり話し合い目指すゴールへ向けての戦略を立てる機会を設けてください。今後の名護交通ターミナル整備や、北部のテーマパーク、世界自然遺産など、北部の玄関口としての名護市の観光のあり方を市場調査や戦況分析をした上で、名護市の強みを皆が共通認識として持つくらいに議論したいと思っています。マーケティングが先で、プロモーションはそれについてくるものと考えた方が良いと思います。</p> <p>・⑤スポーツコンベンションの推進 これは名護市の強みです。サッカーラグビーの大会や合宿を、官民一体となって誘致しましょう。21世紀の森公園のビーチ、公園を含めての充実は、名護市の顔として、あらゆる面でけん引力となると感じています。</p>
対応	<p>【久志支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二見以北地域拠点施設の機能強化を図り、観光の振興に貢献します。 <p>【屋我地支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験施設の内容等をアピールするためのHP作成・運用やSNS等の活用が必要で。 ・修学旅行や観光客だけでなく、農業を始めたい人(本格的な人はもちろん趣味程度も含めて)が体験できるメニューを検討します。 <p>【羽地支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント、商品情報など情報発信が弱いので、今後はHP、SNSを活用し外部への情報発信強化に努めます。地元客サービスの拡充として高齢者への移動販売等を検討します。また、施設来場者へのアンケート調査を実施し、観光客、地元客のニーズ把握し、今後の施設運営、イベント開催に活かします。 <p>【観光課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた本市観光政策の課題抽出を行い、令和2年度に策定された「第2次観光振興基本計画」の見直し検討を行います。 ・本市に派遣された観光分野の専門人材の知見や助言を教授し、課題解決や観光政策に取り組みます。 	<p>評価の妥当性</p> <p>改善に向けた助言</p>	

■検証結果を踏まえた改善方針

		対応方針(ACTION)
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【観光課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に策定した「第二次観光振興基本計画」新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、計画の進捗や目標値など、観光を取り巻く環境の変化に対応した取り組みが必要であると考えておりますので、計画の見直しも含め、旅先納税やマーケティング、プロモーションなどの取組についても検討していきます。 ・今後の連携した取組として、令和4年8月1日、本市や北部広域の地域経済の活性化や地域振興を図ることを目的に、本市と株式会社JTB沖縄・株式会社JTBとの連携に関する協定を交わしました。協定締結により、双方の強みを生かし「自然とまちが融合した魅力あふれるやんばる観光拠点名護の構築」を目指し、同時に、JTBから本市に派遣された観光分野の専門社員(名護市観光マーケットデベロッパー)の知見や助言をいただきながら、観光施策の推進に、事業者(名護市観光協会等)と連携(意見交換の場を構築)を図りながら、取り組んでまいりたいと思います。 <p>☆本市と株式会社JTB沖縄連携事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)魅力ある観光地創造による滞在促進に関すること (2)多彩な受け入れ体制の充実による交流人口の拡大に関すること (3)北部広域周遊の起点となるマーケティングやプロモーションに関すること (4)関係機関との連携による観光振興推進体制の確立・強化に関すること (5)その他、市の施策に関すること <p>☆名護市観光マーケットデベロッパー(JTB派遣社員)職務</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)観光を取り巻く環境の変化に対応した、より実効性ある振興計画への見直しに関すること (2)観光施設や関連機関等との連携を図る渉外窓口に関すること (3)名護市を中心とした北部12市町村の広域観光ルートの開拓業務にかんすること (4)将来的な北部12市町村の発展に向けた観光振興活動に関すること <p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価につきましては、基本方針ごとの取組について行っておりますが、具体的な取り組みごとの状況・課題、対応についても分かりやすいように様式を検討します。 	

基本目標 1. 安心して働ける活力あるまちをつくる 【産業振興、雇用・就労】

基本方針 (2) 農業の振興



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
①農業振興に向けた支援体制の強化	・名護市を取り巻く農業環境に対応するべく、農畜産物被害等への対応や新たな技術の活用を含めた機械化農業の基盤整備による効率化など、関係団体とも連携しながら 農畜産業の経営安定を図るための支援に取り組みます。 ・農業規模拡大を希望する農業者等に対し、農地の貸付け、遊休農地の解消に対する支援等を行うことで、農地の流動化を促進します。	ランク	A	—	—	—	【農業政策課・園芸畜産課】 ・名護市鳥獣被害対策協議会によるワイヤーメッシュ設置や捕獲鳥獣の買取り事業を実施できたので今後も継続していきます。農業用無人車による労力軽減やIoTを活用したイノシシの捕獲実証等を視察できたので、今後も情報収集に努めたいと思います。 ・前年に比べて遊休地の面積は減少しましたが、今後も継続的な農地利用が図られるよう努めます。							
		進捗状況	→											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		土地改良区内における遊休農地の面積	ha	128	120	100	総計	実績値	92					継続的な農地利用の確保が必要です。
						達成率	130.4%	-	-	-				
						ランク	A	-	-	-				
						進捗状況	→							

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
②農家の担い手育成	・新規就農者に対し農業用施設及び機械等の導入や就農直後の経営確立を図るための事業等による支援を行いながら、関係機関と協働で技術指導や経営指導等の営農支援、農地の集積・集約を図り、農業の担い手の確保・育成に取り組みます。	ランク	E	—	—	—	【農業政策課】 ・農業の担い手確保・育成に関しては、新規の青年等就農計画策定者はいなかったものの、19名の新規就農者に対し関係機関と連携して営農指導等を行い、農業経営確立に向けた支援を図ることができました。							
		進捗状況	→											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		青年等就農計画の策定者数	人/年	3	3	100	単年	実績値	0					青年等就農計画の認定基準を満たす新規就農者がいなかったため策定者数が伸びませんでした。
						達成率	0.0%	-	-	-				
						ランク	E	-	-	-				
						進捗状況	↓							

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
③自然環境に配慮した農業生産基盤の整備	・農作業の効率化・省力化を図るとともに、農業を持続的に展開するために、農業施設の基盤整備および適切な維持管理を実施します。 ・また、農村における生活環境の改善のほか公共水域の水質保全を図るため農業集落排水施設の整備を促進します。	ランク	E	—	—	—	【農業政策課】 ・R3年度は当初40m区間の整備を予定していましたが、計画を上回る延長の整備を行いました。							
		進捗状況	↗											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		令和3～6年度 農道整備延長(累計)	m	-	2,060	100	累計	実績値	52					当初計画を上回る延長の整備を推進しました。
						達成率	2.5%	-	-	-				
						ランク	E	-	-	-				
						進捗状況	↗							

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
④農業の多様性を活かす活動の促進	・地域の農産物を活かした6次産業化等の取組により、名護産農産物等の消費拡大の推進を図ります。 ・また中山間地の多面的機能の確保、農業に親しむ機会の創出などの農業が持つ多様性を活かす活動を促進します。	ランク	E	—	—	—	【農業政策課・園芸畜産課】 ・6次産業化支援拠点施設の活用は例年水準となっておりますが、名護産農林水産物等の消費拡大の推進を目的とした名護産農林水産物等消費拡大推進懇談会を設置し、関係団体の連携体制の強化を図ることができました。得られた意見を今後の事業に展開していきます。 ・農業の多様性を活かす活動の促進については、中山間地での取組支援や市民農園の貸付けにより中山間地の維持や農業への理解を深める取り組みを図ることができました。							
		進捗状況	↗											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		畜産まつり来客数	人/年	1,400	1,800	100	単年	実績値	0					コロナウイルス感染拡大の影響により畜産まつりが中止となりました。
						達成率	0.0%	-	-	-				
						ランク	E	-	-	-				
						進捗状況	↓							

■評価結果と妥当性の検証

検証(CHECK)			
自己評価		内部検証	外部検証
評価	比較的效果があった	評価の妥当性・改善に向けた助言 ・農地の担い手の確保については、色々な媒体を活用し積極的にPRする必要があると思われます。	外部検証 ・令和3年度達成度と令和3年度進捗に関する評価がかけ離れていて解りづらいので改善できないでしょうか。 ・農地の流動化を促進するためには、農地の出し手の掘り起こしと担い手の確保を課題としてあげていますが、今後も継続し取り組むことで効果が高まると思います。 ・農協としても新規組合員就農者への営農指導強化を協力します。 ・ファーマーズ等を活用した取組強化も必要ではないでしょうか。
課題	【農業政策課・園芸畜産課】 ・農地の流動化の促進については、農地の出し手の掘り起こしと担い手確保が課題となっています。		
対応	【農業政策課・園芸畜産課】 ・国・県における遊休地対策事業の活用、農地中間管理事業を活用及び人・農地プランで地域での話し合いを通じて、農地の出し手掘り起こしと担い手を確保し遊休地の解消を図ります。		

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	【企画政策課】 ・達成率については、R6年度を基本とする目標値に対し、実績値が目標値にどれだけ近づいたか、という点を自動計算で算出し客観的に評価しています。最終的に100%(以上)を目指すため、指標によっては計画期間途中の評価が低く現れる場合もあることから、最終年度以外は参考値として扱います。 ・進捗度については、KPIの設定のない取組や、目標年度に至る過程や事業の経過など、数値に現れない内容を考慮して、三段階(矢印)で主観的に評価し、その根拠について備考欄に記載します。計画期間中の評価においては、この進捗状況をもとに課題や改善方針を検討します。 ・上記の2点の特徴から、二つの評価が必ずしも一致しないことが生じております。 【農業政策課】 ・農地の流動化につきましては、人・農地プランの継続的な取組を進め、今後も引き続き遊休地の解消に努めて参ります。 ・新規就農者の確保・育成につきましては、本市としても喫緊の課題であると考えており、新規就農者の営農確立に向けて農業協同組合の専門的な知見からの技術・経営指導等の御協力をお願いいたします。 ・消費拡大の推進につきましては、「名産産農林水産物等消費拡大推進懇談会」において農業のみならず林業、水産業とも連携しながら分野をクロスオーバーした消費拡大推進の取組を進めて参ります。今後の取組において、ファーマーズ等を活用した消費拡大イベントを図っていきたく考えておりますので御協力をお願いいたします。

基本目標 1. 安心して働ける活力あるまちをつくる 【産業振興、雇用・就労】

基本方針 (3) 林業・漁業の振興



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)										
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)					
①自然と調和した森林資源の保全	・地球温暖化防止、国土保全、水源かん養、生物多様性の保全、木材等の物質生産等の多面的機能を有している森林を管理(造林事業)しつつ、既存の森林資源を保全・利活用し、持続可能な森林資源循環型林業の構築を目指します。 ・森林病害虫防除を実施し、森林の保全に努めます。						総括	E	—	—	—	【農林水産課】 本市では、本市所有林において、毎年、林齢50年以上となっている森林の更新を行っています。令和3年度も1.0haの森林において収穫を行い、収穫地で造林を実施しました。 ・森林病害虫が確認されたリュウキュウマツについては、沖縄型森林環境保全事業(一括交付金)を活用し、補助金の範囲内で対応可能な防除を実施しました。 ・今後も引き続き、計画どおりに事業を進め、地球温暖化対策等につなげていきます。					
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応				
	市有林において森林の持つ様々な機能を発揮するための継続的な森林整備(令和3年~6年度・累計)						実績値	1				年間1haの森林整備を継続して行っていく計画となっています。	計画どおりの整備を継続します。				
単位 ha						現状値(R2)	-	4	100	累計	ランク	E	-	-	-	進捗状況	→

取組・指標(PLAN)							実績(DO)															
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)										
②新たな林産物の研究・開発の促進	・農林水産課造林事業により整備した森林について、収穫適齢期を迎えた森林資源の更なる活用を図るため、沖縄県や林業事業者等と共同により、効率的な収穫伐採を推進するとともに、新たな林産物の研究・開発に取り組みながら森林の再整備につながるよう努めます。						総括	B	—	—	—	【農林水産課】 本市所有林において、森林事業者と連携し、持続可能な森林資源循環型林業を行うため、効率的な収穫伐採を目指し、収穫に要する経費と、木材販売で採算がとれるよう実証を行っています。現在、林産物はキノコ菌床に使用するオガ粉への利用が主であり、収穫量と見合う利用となっています。将来的に、使用できる収穫量に見合った新たな林産物の開発については、森林事業者と意見交換等行っていますが、現在はオガ粉利用で木材に余裕がないことから、まだ品目が決定してない状況です。今後も引き続き、森林事業者と調整を行います。										
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応									
	林業事業者によるキノコ生産用オガ粉の生産量						実績値	287.5				令和3年度末現在におけるオガ粉出荷量は、令和2年度オガ粉出荷量に比べ上昇していますが、大型のキノコ生産施設が令和3年度に老朽化を理由に閉鎖されたことから、今後減少する見通しとなっています。	新規のオガ粉販売先確保や、新たな林産物の開発を進めています。									
単位 t/年						現状値(R2)	198.0	350.0	100	単年	達成率	82.1%	-	-	-	ランク	B	-	-	-	進捗状況	↗

取組・指標(PLAN)							実績(DO)															
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)										
③水産基盤の整備・保全	・安定した漁業活動が行えるよう、漁港施設の長寿命化や再整備に取り組むとともに、機能拡充に努めます。						総括	A	—	—	—	【農林水産課】 漁業者の所得向上を目的に、漁業集落に対し補助を行い、イカ産卵床30基、浮魚礁1基、サメ駆除、魚食普及イベント(魚の無料配布2回、魚のさばき方・料理教室)、体験漁業、高付加価値化による商品開発を実施しました。 また、漁協が購入する監視カメラ設置に対する助成や、漁業者が漁船建造等を行う際に支援を行いました。 今後も引き続き、水産振興が図れるよう、漁業関係者に対し支援を行います。										
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応									
	名護市 管理5漁港のうち長寿命化及び拡充基本構想策定実施数(再整備・累計)						実績値	3				補助事業で対応可能な市管理漁港の老朽化調査に基づく再整備及び機能拡充等を考慮した整備計画を策定しました(仲尾次漁港、汀間漁港、辺野古漁港)。今後、策定された計画に基づき整備を行います。	目標値である3漁港が完了し、今後は策定された計画に基づき整備を行います。									
単位 漁港						現状値(R2)	2	3	100	累計	達成率	100.0%	-	-	-	ランク	A	-	-	-	進捗状況	↗

取組・指標(PLAN)							実績(DO)															
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)										
④漁家の経営の安定化及び担い手の育成	・浮魚礁の設置、イカ産卵床の設置、魚食普及、体験漁業、高付加価値化等に取り組む漁業集落に対する支援を実施します。 ・また漁業組合員に対し、漁船・装備品・漁具等の購入に対する助成並びに漁業協同組合事業に対し支援が行えるよう取り組んでいきます。						総括	B	—	—	—	【農林水産課】 漁業者の所得向上を目的に、漁業集落に対し補助を行い、イカ産卵床30基、浮魚礁1基、サメ駆除、魚食普及イベント、体験漁業、高付加価値化による商品開発を実施しました。 また、漁協が購入する監視カメラ設置に対する助成や、漁業者が漁船建造等を行う際に支援を行いました。 今後も引き続き、水産振興が図れるよう、漁業関係者に対し支援を行います。										
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応									
	名護漁港水産物直販所の来客数						実績値	85,371				新型コロナウイルス感染症の影響により利用客が横ばいから減少傾向にあります。今後、来客者が安心できる感染対策を行うしつつ、魅力ある商品の販売など行っていけるよう指定管理者と調整を行っています。	感染対策を行いつつ、魅力のある商品開発やサービスができるよう指定管理者と調整していきます。									
単位 人/年						現状値(R2)	87,893	100,000	100	単年	達成率	85.4%	-	-	-	ランク	B	-	-	-	進捗状況	→

取組・指標(PLAN)							実績(DO)								
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)			
⑤漁港の利活用	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港の未利用地の利用を促進するとともに、観光、商工業との連携により、水産物の消費拡大を目指します。 ・名護漁港水産物直販所を中心に、活気のある漁港づくりに取り組んでいきます。 ・「名護湾沿岸基本計画」に基づき、中心市街地を含む名護漁港周辺エリア一帯がやんばるの玄関口として機能するよう、国道58号を含め、一帯のまちづくりについて、交通結節点及び物産拠点の整備に係る事業手法検討及び関係機関調整、住民説明等を行います。 ・高速船の受入環境整備として、名護漁港内に浮桟橋を整備します。 						ランク	B	—	—	—	【農林水産課】 ・名護漁港水産物直販所においては、R2年度の来客数が87,893名、R3年度来客数が85,371名と新型コロナウイルス感染症の影響から、沖縄県への観光客数が減少している影響もあり、名護漁港水産物直販所への来客が減少していますが、アクリル板の設置や入店時のアルコール消毒の実施など、感染対策を実施し、地元客の利用につなげることができました。影響は最小限に抑えています。 今後とも来客者が安心して利用できる環境づくりや、魅力ある商品の提供などについて指定管理者と調整を行い、水産振興が図れるよう取り組んで行く必要があります。	R3年度 取組(ふりかえり)		
	進捗状況	→				備考	対応								
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		備考	対応	
名護漁港水産物直販所の来客数(再掲)	人/年	87,893	100,000	100	単年	達成率	85.4%	—	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により利用客が横ばいから減少傾向にあります。	感染対策を行いつつ、魅力のある商品開発やサービスができるよう指定管理者と調整していきます。			
						ランク	B	—	—	—					
						進捗状況	→								

■評価結果と妥当性の検証

検証(CHECK)			
自己評価		内部検証	
評価	比較的效果があった		
課題	<ul style="list-style-type: none"> 【農林水産課】 ・林業に関しては、地球温暖化対策等を目的に、市有林における林齢の高い森林の更新を計画的に行ってい、森林が持つ機能を十分発揮できるよう、継続して取り組むとともに、事業を実施する林業従事者の後継者育成にも取り組む必要があります。 ・水産業に関しては、これまでと同様の支援を継続しつつ、魚食普及活動等により消費拡大を図っていくことが水産振興につながっていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林病虫害対策事業については、駆除範囲が狭い場合や他市町村が同時に駆除しなければ効果が少ないのではないのでしょうか。北部市町村が一斉に実施することができれば大きな効果があるのではないかと思います。 ・人材育成については、職場体験学習だけではなく、例えば、その学習のなかで森林組合等が主催するチェーンソーの資格講習などの企画を実施するなど、若年者に対し興味を持たせることから始めてみてはどうでしょうか。 ・魚食普及活動はマンネリ化しているように感じます。新たな取り組みも考える必要があるのではないのでしょうか。 	<p>外部検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚食普及のイベントが定期的に行われており、その成果が徐々に表れてきていると感じます。 ・自己評価の課題の中で、林業従事者の後継者育成を課題として挙げていますが、R3年度の取組の中でどの部分に関連するのか、記載できないでしょうか。 ・同様に水産業に関して普及活動等により消費拡大を図っていくとありますが、R3年度の取組のところで記載できないでしょうか。
対応	<ul style="list-style-type: none"> 【農林水産課】 ・今後、森林整備や収穫に必要な作業道の整備計画策定及び、将来の担い手確保につながる森林事業者と共同で行う職場体験の実施、県産材木材の普及啓発などに取り組んで行く必要があります。 ・水産業に関しては、これまでと同様の漁業活動につながる支援等を継続しつつ、名護漁港水産物直販所を主とした魚食普及活動等により消費拡大を図っていくことが水産振興に寄与するため、漁協と連携し取り組んでいきます。 	<p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p>	<p>外部検証</p>

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<ul style="list-style-type: none"> 【農林水産課】 ・現在県内で実施されている森林病虫害対策事業は、主に沖縄県が一括交付金を活用している事業となっており、市町村は国道や県道沿いの被害木の除去及び公共施設のリユウキュウマツへの薬剤の樹幹注入を実施しています。松林などは沖縄県が国から割り当てられた予算内で対応しています。全国的に国の森林病虫害対策に係る補助金の割り当て額が減少している状況にあります。 ・人材育成については、今後、森林組合等と調整を図りながら取り組んでいきます。 ・魚食普及活動は、これまで主にマグロの解体ショーや無料配布等を実施してきましたが、令和3年度から魚のさばき方・調理授業を市内小学校で行っています。今後は親子で魚のさばき方や調理などを体験できるイベント等を検討しています。 ・林業従事者の後継者育成については、森林組合と連携し、令和6年度から実施していく予定となっています。 ・令和3年度に実施した魚食普及活動は、魚の無料配布を2回、魚のさばき方・料理教室を1回実施しました。

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	課題	内部検証	外部検証
比較的效果があった	<p>【商工・企業誘致課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントやセミナー等が開催できずしてした。 地域資源を活用した商品開発の支援を3事業者に対し実施しましたが、ふるさと納税の返礼品登録に繋がらなかったため、今年度も引き続き支援を実施します。 	<p>・KPIで支援を「実施」することを設定していますが、実施した支援による「効果」についてはなかなか見えていない部分があるように思います。</p> <p>①中小企業・小規模企業等への支援・育成の充実の振り返りに記載のある補助メニューについて、補助執行率が減になっているという部分に着目し、整理が必要と考えました。評価の表し方についても考えていく必要があると思います。</p> <p>・名護漁港やコミュニティバス等と連携して無料駐車場から送迎する等で利用しやすくなるのではないのでしょうか。</p> <p>①中小企業・小規模企業等への支援・育成の充実の補助メニューの中で、雇用や地域資源を活用した商品開発等の補助がありますが、③地域資源を活用した特産品開発と販路拡大の取組においても、特産品開発も継続とあります。①中小企業・小規模企業等への支援・育成の充実の補助執行率が減との事もあるため、同様の支援策の場合は統一性を図るか、整理をしてはどうでしょうか。</p>	<p>②中心市街地への商業の集積・活性化と機能の拡充に関して、「名護市営市場及び産業支援センター入居企業雇用者数」のKPI達成率は、R3年度実績値/R6年度目標値で計算すると、達成率が81.3%となります。EではなくB評価となるのではないのでしょうか。それで行くと、②中心市街地への商業の集積・活性化と機能の拡充の最終評価は達成率75.7%となり、C評価となります。</p> <p>・旅先納税の入を検討してみてもどうでしょうか。全国的には北海道が先行していますが、先日、南城市でも開始したとの新聞報道もありました。</p>
対応	<p>【商工・企業誘致課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商工会や観光協会等の関係機関と連携しながら、イベントやセミナー等を開催し、地域経済の活性化に繋がる取り組みを図っていきます。 企画政策課や観光課が実施している観光プロモーションとも連携しながら、特産品の販促物販活動を展開し、地域事業者の販路拡大に繋がります。 ふるさと納税の返礼品登録数を増やし、また物産展等でのPRを行い、寄付額増に向けて取り組んでいきます。 		

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【商工・企業誘致課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施した支援による「効果」について、各種補助金を使用した中小企業・小規模企業に対し毎年アンケート調査を実施しており、その中で事業の継続雇用・営業の確認や当事業の実施によって得られた効果等について、回答をいただいているところです。事業者からは、「人件費の負担軽減につながった」、「商品の売り上げ増加につながった」などの声がありました。アンケート調査の結果を踏まえながら、引き続き中小企業・小規模企業者に対する支援に取り組んでいきます。 中小企業・小規模企業に対する補助メニューで補助執行率が減になっている部分について、前段にも記載しておりますが事業者に対するアンケート調査の結果を踏まえながら、事業内容の整理を検討していきたいと考えております。 「名護漁港やコミュニティバス等と連携して無料駐車場から送迎する等で利用しやすくなるのでは」という助言について、賑わいのあるまちづくりの中で市街地の再開発も進められていることから、担当部署とも連携しながら人の流入について検討していきたいと考えております。 中小企業・小規模企業への支援・育成の補助メニューにある商品開発は市内の地域資源を活用した商品開発、販路開拓等を行う事業者への支援事業、地域資源を活用した特産品開発と販路拡大の取り組みに関する補助は、専門的な知識や製造・分析技術によるハンズオン支援を実施し、新商品開発だけでなく、ブラッシュアップした既存商品等の販路構築支援を行うための事業補助となっており、事業の目的・内容が異なることから分けて整理しています。補助メニューについては、商工会とも連携しながら利用者がどのメニューに該当するかをフロー化するなどして、補助メニューの照会を行っていききたいと考えております。 ②中心市街地への商業の集積・活性化と機能の拡充の「名護市営市場及び産業支援センター入居企業雇用者数」について、委員ご指摘のとおり、現在の「累計」の評価から「単年」の評価に修正し、算出方法(式)を下記のとおり修正します。 <ul style="list-style-type: none"> ●修正前：(実績値-現況値)÷(目標値-現況値)=-326.7% ●修正後：実績値÷目標値=81.3% 今年の5月よりふるさと納税のシェア拡大を目的に、商工会や観光協会等と連携し、名護市ふるさと納税シェア拡大チームを発足しています。7月にはふるさと納税の先進地である北海道滝川市の職員を講師として招き、市内事業者へシェア拡大に向けた取り組み事例や新たな返礼品の開発について紹介する「メニュー提案セミナー」を開催しました。現在、ふるさと納税の拡大を目指すためポータルサイトを増やす取り組みを行っているところで、旅先納税の導入についても、今後の取り組みの一つとして検討していきます。

基本目標1. 安心して働ける活力あるまちをつくる 【産業振興、雇用・就労】

基本方針(5) 雇用の創出と就労支援の充実



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)								
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)			
①産業を創出するための人材育成	・企業ニーズに適合した人材育成が可能な各種講座を実施し、企業への安定した人材の供給及び中核人材の育成を図りながら、企業の成長とともに地域住民の雇用創出に努めます。 ・社会情勢の変化に応じて、一般就職者や学生層への就労支援を推進し、新規雇用が創出される環境を構築します。 ・子ども達が将来の産業の担い手となるよう、教育委員会と連携し、キャリア教育の実施を推進します。						総括	A	—	—	—	【商工・企業誘致課】 ・名護市商工高等学校の生徒を対象に各学年に即したキャリア教育を実施し、生徒が金融・情報関連産業の関心を深めるとともに、進出している企業への就職を意識させるため、生徒の就労観、勤労観を育成しました。また、一般求職者向けの講座や特区内企業就職者向けの研修を実施しました。企業のニーズに適合した人材育成を継続して行うことで、企業の成長とともに雇用創出を図っていく必要があります。			
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	進捗状況	↑				備考		対応	
	金融・IT人材育成講座の参加者数	人/年	394	668	50	単年	個別実績値	897				目標値を上回る結果となりました。		引き続き取組を推進します。	
							達成率	134.3%	-	-	-				
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	進捗状況	↑							
	ハローワークとの連携により、特区へ就職した人数	人/年	51	51	50	単年	個別実績値	40				令和2年度に締結した名護市雇用対策協定に基づき、令和3年度事業計画を策定し、ハローワークで特区企業専用掲示スペースへの求人票掲示や、相談窓口及び電話・郵送等により求人情報提供を行う等、ハローワークと連携して雇用施策に取り組みました。		令和3年度事業計画の評価を行い、令和4年度の事業計画の実施に向けて取り組んでいきます。	
							達成率	78.4%	-	-	-				
							ランク	C	-	-	-				
							進捗状況	→							
②金融・情報通信関連企業の立地促進	・金融・情報通信国際都市形成計画(第3次基本計画)に基づく事業の推進を図ることで、金融及び情報通信関連企業の立地を促進します。 ・経済金融活性化特区に該当する事業活動への支援を行います。						総括	D	—	—	—	【商工・企業誘致課】 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年行っている県外への企業誘致活動ができませんでしたが、県内で行われたイベントやオンラインでの企業誘致セミナーに参加することで企業誘致に繋がる取組を行いました。前年度から緩やかに雇用者数は増えていますが、目標値には達しておらず、今後も継続して企業誘致に取り組んでいく必要があります。			
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	進捗状況	↓				備考		対応	
	金融・情報通信産業推進事業における立地企業雇用者数	人/年	1,202	2,500	100	単年	個別実績値	1,233				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年行っている県外への企業誘致活動ができませんでした。		引き続き取組を推進します。	
							達成率	49.3%	-	-	-				
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	進捗状況	↓							
	市内創業者数(累計)	件	205	345	100	累計	個別実績値	254				産業支援センターや市営市場への入居及び、融資・保証に係る計画書作成等の相談や支援を継続して行いました。		商工会と連携しながら、引き続き取組を推進します。	
							達成率	35.0%	-	-	-				
							ランク	D	-	-	-				
							進捗状況	→							
③新たな起業への支援	・商工会等の創業支援機関と連携し、創業希望者に対して各種支援(事業計画作成支援等)を実施します。						総括	D	—	—	—	【商工・企業誘致課】 ・商工会と連携し、創業希望者に対して産業支援センター・市営市場への入居や店舗改装に関する相談、融資・認定に係る計画書作成等の支援を実施し、192件の相談があり、49件が創業に繋がりました。融資や保証に関する相談や支援に対する要望もあることから、継続して支援を行っていききたいと思います。			
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	進捗状況	→				備考		対応	
	市内創業者数(累計)	件	205	345	100	累計	個別実績値	254				産業支援センターや市営市場への入居及び、融資・保証に係る計画書作成等の相談や支援を継続して行いました。		商工会と連携しながら、引き続き取組を推進します。	
							達成率	35.0%	-	-	-				
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	進捗状況	→							
	市内創業者数(累計)	件	205	345	100	累計	個別実績値	254				産業支援センターや市営市場への入居及び、融資・保証に係る計画書作成等の相談や支援を継続して行いました。		商工会と連携しながら、引き続き取組を推進します。	
							達成率	35.0%	-	-	-				
							ランク	D	-	-	-				
							進捗状況	→							

■評価結果と妥当性の検証

検証(CHECK)			
自己評価		内部検証	外部検証
評価	比較的效果があった	・特になし	
課題	<p>【商工・企業誘致課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった講座がありました。また、県外企業への誘致活動においては、対面で折衝できる機会がなく、例年とおりの誘致活動ができませんでした。 	<p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p>	<p>外部検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口を増やさないという雇用を満たすことが出来ないと考えられます。 ・キャリア教育についてはスケジュール化し、仕事の役割毎に各企業(役所も含む)に打診しても良いのではないのでしょうか。 ・ハローワーク名護では、名護市(特区関係、保育関係等)のイベントやPRについて、ハローワークを利用する求職者へ情報提供を行っており、今後も継続していく予定です。求職者にとって有効的な案内となるよう、十分な周知期間を確保する必要があるため、引き続き早い段階での資料等の提供をお願いしたいと思います。 ・我々もPDCAサイクルを推進していかなくて、常に新しいことを取り入れていこうとしますが、なかなか結果に結びつかないといった面もあります。効果の高かったことなどを参考にしたいので、情報提供いただければと思います。 ・保育士の助成金など良い制度があるので、それらの制度についてもぜひ情報提供していただければと思います。 ・青年会議所の実施したアンケートによると、学生は特区の存在を知らないという結果がみられました。名護市には働く場があるので、ぜひ若い方にも様々な形で、分かりやすい具体的なアピールが出来るものがあれば、情報提供いただければよいのではと思います。
対応	<p>【商工・企業誘致課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県の実施する県外での企業誘致セミナーや県外大型イベントに出展することにより、県外の企業と折衝し、進出意向のある企業を名護市へ招聘することで、名護市への進出を促進します。また、継続して人材育成を行い、企業誘致を促進し、雇用創出の増加を図ります。 		

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立小・中学校で行っている職場見学・職場体験については、市内外の多くの企業にご協力いただいております。スケジュール感を含め実施フローを作成し、各企業へ説明及び受入依頼を行っております。 <p>【商工・企業誘致課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求職者向けのセミナーやイベント等のお知らせについて、今後は周知期間が十分確保できるよう早い段階で情報提供できるよう取り組んでいきます。引き続き、特定非営利活動法人NDAと連携しながら、ハローワークとの情報共有を図っていきます。 ・情報通信産業の企業が集まる県外イベントに参加し、市の企業誘致の取組をPRしております。そこで進出意向のある企業を名護市に招聘し、施設の視察や既に進出している企業との交流会を通して、進出のイメージとなる取組を行っています。その取組の結果、県外イベントで折衝のあった企業や招聘セミナーに参加した企業の進出が年平均2社となっております。 ・経済金融活性化特別地区の立地企業を紹介するjobbookをNDAの取組として県内高校、専門学校、大学等に配布し、学生・求職者の方に周知しております。また、市民のひろばに「特区で働こう」として、年4回の特集記事を設けており、市及びNDAの取組の紹介や立地している企業の紹介などを行っています。沖縄県産業振興公社の出張窓口を名護市で開催しており、商工会などを通して周知を行っているところです。

基本目標2. 暮らしやすく安全・安心な環境をつくる【都市基盤、生活環境、安全・安心、防災・救急】

基本方針(1) 自然と共生するまち



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
①自然環境と調和した土地利用の適正な規制・誘導	・名護市の有する豊かな自然環境の保全を基軸としながら、自然環境と調和した土地利用の誘導を図るため、策定から10年余り経過した「都市計画マスタープラン」を見直し、土地利用の適正化に努めます。 ・白地地域においては、各種法令等に基づき適正な土地利用の規制・誘導に努め、都市部と自然環境のバランスの取れた土地利用を進めます。	ランク	—	—	—	—	【都市計画課】 ・名護市都市計画マスタープラン改定に向けて、全体構想・都市づくり方針の検討、地域まちづくり方針の検討等を行うため、作業部会及び策定委員会を開催し、R3年度の業務目標として設定していた案の作成を行うことができました。 ・次年度は案を基に、地域住民の意見を収集し反映させた名護市都市計画マスタープラン改定業務に取り組んでいきます。							
		進捗状況	→											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		KPIの設定なし		—	—	—	—	実績値					計画どおりに業務スケジュールを進めることができました。	引き続き改定業務に取り組みます。

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
②自然環境の保全・回復に向けた取組の推進	・市民による海岸清掃活動や、自然保全・再生活動を促進しつつ、必要な支援を行いながら、地域と行政の協働による自然環境の保全・回復に努めます。 ・集中豪雨等により浸水している普通河川(喜知留川・安部ナート川)の災害防止を図りつつ、自然とふれあうことができる河川整備を実施します。	ランク	E	—	—	—	【建設土木課】 ・普通河川整備事業(喜知留川)で護岸工法の見直しが生じたため、令和3年度に予定していた護岸延長が完了していない状況です。 ・普通河川安部ナート川整備事業は、実施設計が完了しています。 引き続き、整備を推進します。 【環境対策課】 ・市民による海岸清掃活動の支援(ボランティアごみ袋の配布)は例年通り実施できましたが、軽石漂着の影響で市の海岸漂着ごみ回収処理業務(委託)は軽石回収業務(委託)へ変更を余儀なくされたため、本来予定していた海岸漂着ごみは回収できませんでした。							
		進捗状況	↓											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		特定外来生物ツルヒヨドリ生育面積	m ²	81,661	48,996	33.3	総計	実績値	89,985				令和2年度時点と比較し生育面積が拡大しています。防除は土地所有者で行うものですが、思うように防除が進まず繁茂が確認された土地所有者に対しては防除の実施を促す通知文を送付しています。	区への除草剤配布や新たに繁茂が確認された土地の管理者に通知文を送付し、防除を促します。
海岸漂着物等の処理量	トン/年	19.93	18.00	33.3	単年	実績値	204.00				令和3年度は軽石の大量漂着があったため、漂着ゴミではなく軽石の回収を行いました。	軽石の漂着状況を適正に判断し事業を実施します。		
						達成率	-9537.3%	-	-	-				
						ランク	E	-	-	-				
						進捗状況	→							
河川整備計画延長に対する河川整備済み延長の割合(令和3年度～令和6年度実施)	%	-	70.08	33.3	単年	実績値	0				護岸工法の見直しがあり、進捗に遅れが生じています。	引き続き、事業を推進します。		
						達成率	0.0%	-	-	-				
						ランク	E	-	-	-				
						進捗状況	↓							

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	あまり効果がなかった	内部検証	外部検証
課題	<p>【建設部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画運用のための土地利用方針であるため、成果目標や成果指標で業務内容を評価検証することは困難となっています。現在、策定スケジュールに遅れなく業務を行えています。 ・護岸工法の見直しが必要となりました。(喜知留川) ・事業用地の確保(用地買収・物件補償)(喜知留川・安部ナート川) <p>【環境対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽石の漂着状況次第で海岸漂着ごみ回収処理業務実施の可否が左右されます。 	<p>・特になし</p>	<p>外部検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽石の漂流・漂着(海域・海岸・河川等)行政の縦割りが軽石撤去作業に支障を来しています。現在も撤去されていない箇所もあります。 ・行政の縦割りを無くし、災害時には即対応できるような部署の設置を望みます。
対応	<p>【建設部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民意見を反映させた名護市都市計画マスタープラン改定業務を推進します。 ・護岸工法の見直しを早急に行い、河川整備を実施します。(喜知留川) ・達成状況の向上にむけ、用地買収・物件補償を推進します。(喜知留川・安部ナート川) <p>【環境対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽石の漂着状況を見極めながら、海岸漂着ごみ回収の実施について判断していきます。 	<p>評価の妥当性 ・ 改善に向けた助言</p>	<p>評価の妥当性 ・ 改善に向けた助言</p>

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【環境対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当課が実施する海岸漂着ごみ回収の事業は、管理者に代わり海岸漂着ごみを回収する意味合いでは無く、ボランティア清掃活動推進のためボランティア清掃で回収できなかった海岸漂着ごみを回収するものです。加えて、県によると、軽石は海岸漂着ごみではないとされているため、当課の事業は軽石を除く海岸漂着ごみを回収することを想定しております。 <p>【農林水産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸法に基づき、海岸は各管理者が設置されており、施設運営に支障が生じる範囲で各管理者は対応しています。海岸保全施設などが設置されていない天然海岸などは、軽石が撤去されていない状況にあります。 ・市が管理する漁港海岸の部分について、対応可能な範囲で撤去しています。 <p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時には災害対策本部等を設置し、関係各課と情報を共有し、対応について連携を図っているところであり、

基本目標2. 暮らしやすく安全・安心な環境をつくる【都市基盤、生活環境、安全・安心、防災・救急】

基本方針(2) 道路・交通ネットワークの充実



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)							
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)		
①計画的かつ効率的・効果的な道路整備及び適切な維持管理の推進	「名護市都市計画マスタープラン」及び「名護市道路整備プログラム」に基づき、道路整備の有効性や必要性、地域の意見等を考慮しつつ、透明性及び公平性を確保しながら、より計画的かつ効率的・効果的な道路整備を推進します。 ・道路法改正に伴い法定化された橋梁、トンネル等の定期点検事業、及び定期点検結果を踏まえた「長寿命化修繕計画」の策定事業を行い、「名護市道路整備プログラム」と当該計画の双方を勘案し、橋梁等、各道路施設の補修、架け替え事業など維持管理を計画的かつ効率的・効果的に実施します。 ・市民の生活環境の改善を図るため、市道や里道の傷んだ舗装や側溝などについて、「名護市道路補修計画」に基づき、修繕業務を行い、計画的かつ効率的・効果的な維持管理に努めます。						総括	D	—	—	—	【建設部】 ・事業中5路線のうち、2路線についてR3年度で完了します。残り3路線については、沖縄振興公共投資交付金を活用し事業を進めていますが、要望額より交付額が少ない状況であるため、北振事業へ事業メニューの組み換えを行い事業費を確保し進捗を図っています。 ・整備計画総延長に対し、令和3年度は、延長536mの道路整備を完了しており、ほぼ順調に進んでいます。引き続き、整備を進めていきます。		
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応	
	名護市道路整備プログラム内で計画された都市計画道路整備済み延長の割合	%	34.36	42.73	50	総計	実績値	39.31	—	—	—	事業中5路線のうち、2路線についてR3年度で完了します。残り3路線については、要望額より交付額が少ない状況のため、北振事業へ事業組み換え進捗を図ります。	引き続き事業を推進します。	
	名護市道路整備プログラム内で計画された道路整備済み延長の割合	%	31.09	45.56	50	総計	実績値	34.82	—	—	—	大北1号線286m、羽地東中央線180m、屋我地4号線70m、合計536mが整備済みとなっています。 ※5009m(整備済)/14386m(計画延長)≒34.82%	引き続き事業を推進します。	

取組・指標(PLAN)							実績(DO)							
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)		
②安心・快適な道路環境の整備	災害の防止、安全・円滑な交通の確保、良好な景観の形成を図るため、電線を地下に埋設することやその他の方法により、道路上の電柱又は電線の撤去を推進します。 ・歩行者の安全を確保するための歩道設置及び災害防除事業など、安心・快適な道路環境の整備を実施します。 ・生活環境等の安定向上を図る必要のある地域の住民の生活環境等の改善を図るため、道路及び排水路の整備を実施します。						総括	E	—	—	—	【建設部】 ・整備計画総延長に対し、令和3年度は、延長30mの整備が完了しています。令和3年度は、実施設計や用地買収が主な事業内容であったことから、目標進捗状況には、数値として反映されていませんが、ほぼ順調に進んでいます。引き続き、整備を進めていきます。 ・国道58号無電柱化事業(喜瀬～幸喜区間)について、名護市負担分の宅内引き込み工事に伴う設計委託費をR4年度に沖縄電力へ負担予定となっています。		
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応	
	国道58号名護喜瀬幸喜地区の電線共同工事に伴う宅地引き込み件数(令和3～6年度実施)	件	—	26	2	総計	実績値	0	—	—	—	R4より名護市負担分の設計が実施される予定となっています。	引き続き取組を推進します。	
	道路整備計画延長に対する整備済み延長の割合(令和3～6年度実施)	%	—	50.48	98	単年	実績値	3.00	—	—	—	東江原線30mが整備済みとなっています。令和4年度からは、名護100号線の整備も開始することから、ほぼ順調です。 ※30m(整備済)/1139m(計画延長)≒3%	引き続き事業を推進します。	

取組・指標(PLAN)							実績(DO)							
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)		
③公共交通の利便性の向上	公共交通空白地及び不便地域の解消に向け、実証実験を実施し、公共交通の利便性向上に向けたバス路線の再編を検討します。						総括	E	—	—	—	【政策推進課】 ・バス路線の再編に向けて、名護市街地周辺及び二見以北地域を対象エリアとしてコミュニティバスの実証実験を実施しました。 ・引き続き、公共交通不便地域の解消に向けて、コミュニティバスの実証実験を実施しつつ、バス路線の再編若しくは廃線に向けてバス事業者と調整を行います。 【屋我地支所】 ・通学支援により、校外区の児童生徒が増え、複式学級の解消、買物等支援により生活環境、利便性の向上が図られています。 ・登校支援については、バスに乗車できる枠の上限に達しており、これ以上の新規の受入ができない状況になっています。		
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応	
	市内公共バス路線の再編(令和3～6年度実施)	路線	—	2	20	総計	実績値	0	—	—	—	名護市地域公共交通計画に今後の施策として定め、展開を図っていきます。	コミュニティバス実証実験を実施します。	
	市内公共バス路線の再編準備件数(令和3～6年度実施)	路線	—	9	80	総計	実績値	0	—	—	—	名護市地域公共交通計画に今後の施策として定め、北部市町村連携交通会議で議論を行っています。	連携交通会議で引き続き協議していきます。	

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	十分な効果があった	内部検証	外部検証
課題	<p>【建設部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費の計画的な確保、予算の計画的な執行が課題となっています。 ・補助事業においては、補助金内示額が低い状況にあります。 ・事業用地の確保が必要です(用地買収・物件補償)。 ・無電柱化事業について事業者と負担金額について協議を行う必要があります。 <p>【政策推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験において、ノンステップバスにて実施することができない状況です。 ・停車地として設定しましたが、利用頻度が少ない箇所があります。 <p>【屋我地支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの老朽化により、廃車せざるを得ない状況になった場合は、通学支援を打ち切ることになり、校区外の児童生徒に影響が出ると考えられます。 ・買物支援については、午後の時間も対応して欲しいという要望があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋我地支所において、通学支援や買物支援のニーズがあるように思えるので、一部妥当性が無いと判断しています。 ・屋我地のバスについては、児童生徒や地域への影響も検証し、必要に応じて新たな取組を検討すべきではないでしょうか。 ・③「公共交通の利便性の向上」について、課題として「利用頻度が少ない箇所」があり、今後の方針としては「公共交通利用者の増加に努めます」とあります。「利便性の向上」という取組の目的が達成されたかを測るには、利用者の増という指標に加え、実際に利用している人が使いやすくなったと感じているか、という質的な分析もあると効果的ではないでしょうか。また、利用者の増についても、既に利用している人の利用回数が増えた場合と、新たに利用する人が増えた場合とで、空白地・不便性のいずれへのアプローチができていないか(又は、更なる取組が必要か)が分析できるのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの老朽化だけで通学支援事業を廃止するのは妥当でないと考えられます。小中一貫校にする時、校区外児童生徒の受け入れ条件であれば廃止するのは適切ではないと思われれます。 ・自己評価において、達成度の低い事業などがあり、課題も多いので、評価が適切ではないと考えられます。
対応	<p>【建設部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費の計画的な確保を行い、用地取得状況を鑑みた発注・施工箇所等を綿密に計画し、予算の計画的な執行に努めます。 ・補助予算が毎年、要求額を下回ることから、事業期間や目標値の修正が必要です。 ・達成状況の向上にむけ、用地買収・物件補償を推進します。 ・無電柱化事業についてR4年度の設計分の負担金額を沖繩電力と協議していきます。 <p>【政策推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行ルート、ダイヤの検証を行いつつ、路線バスとの連携を図り、公共交通利用者の増加に努めます。 <p>【屋我地支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後バスの老朽化も踏まえ通学支援・買物支援については、コミュニティバスとの連携も含め、事業継続について検討していきます。 	<p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p>	<p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p>

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【屋我地支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度からスタートしたやがじ交通移動支援事業は、屋我地地域の交通弱者の支援として買物支援を行う傍ら屋我地ひるぎ学園へ通う地域外の児童生徒の通学支援を目的にマイクロバス(25名乗り)×1台・ワゴン車(9名乗り)×1台で対応していますが、通学支援に関しては、利用者の需要が高く、希望者全員を申し受けることができない状況となっています。それに加えバスの経年劣化も重なり、今後、継続して運行するには他部署との連携や新たな体制、取り組みも必要であると考えております。例えば市街地で実施予定のコミュニティバスや路線バス等との連携など関係部署と相談をしつつ、検討して行きたいと思えます。 <p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名護市立小中学校のスクールバスの運行は現在、東江中学校、緑風学園、真喜屋小学校で実施しておりますが、あくまでも学校の統合により閉校となった校区に住む児童生徒の登下校の負担軽減を目的に行っているものです。小規模特認校の屋我地ひるぎ学園は、学校の統合によるものではなく、かつ、屋我地小中学校の校区に住む児童生徒の通学に新たな負担を及ぼすものではありません。また、お子さんを校区外の地域から小規模特認校である屋我地ひるぎ学園へ入学・転学させる場合、希望する保護者には申請の際に“保護者自らの責任と負担においてお子さんを通学させること”が必要条件であることを説明し、それが出来ること、順守することを約束した世帯に対し入学・転学を許可しているところです。 <p>【建設部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度が低い事業については、補助企業費の予算配分額が低い事が原因となっています。 ・事業中の街路5路線のうち、2路線についてR3年度で完了する予定となっています。残り3路線については、沖繩振興公共投資交付金を活用し事業を進めていますが、要望額より交付額が少ない状況であるため、別の補助事業メニューの組換えを行うことで、事業費確保の目的がたつた為進捗が見込める状況となっています。 <p>【政策推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内路線バスである2路線の再編とその他9路線の再編準備を評価指数としていますが、それら再編に向けた取組としてコミュニティバスの実証実験を実施しています。再編に向けて令和3年度に実施した実証実験については、利用数が増加していることもあり、再編に向けた効果としては十分あったということで評価しています。

基本目標2. 暮らしやすく安全・安心な環境をつくる【都市基盤、生活環境、安全・安心、防災・救急】

基本方針(3) 快適な居住環境の整備



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
①都市基盤の整備	・策定から10年余り経過した「都市計画マスタープラン」を見直し、都市計画決定された長期未着手の公共施設の必要性を検討します。 ・「名護市都市計画マスタープラン」に基づき、市民の快適な居住環境確保、市民生活の快適性・利便向上につながるための宅地整備事業を推進します。						総括	—	—	—	—	【建設部】 ・名護市都市計画マスタープラン改定に向けて、全体構想・都市づくり方針の検討、地域まちづくり方針の検討等を行うため、作業部会及び策定委員会を開催し、R3年度の業務目標として設定していた案の作成を行いました。 ・次年度は案を基に、地域住民の意見を収集し反映させた名護市都市計画マスタープラン改定業務に取り組みます。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	KPIの設定なし						実績値	—	—	—	—	計画どおりに業務スケジュールを進めることができました。	引き続き改定業務に取り組みます。
	KPIの設定なし						達成率	—	—	—	—		
KPIの設定なし						ランク	—	—	—	—			
KPIの設定なし						進捗状況	→						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
②景観行政の推進	・「名護市景観計画」に基づき、名護市の魅力的な景観の保全・創造等に取り組むとともに、景観計画や景観づくりに関する情報の提供・発信等に取り組みます。						総括	—	—	—	—	【建設部】 ・コロナ禍による緊急事態宣言等により、区長会で名護市景観計画に基づく景観行政の説明を自粛しました。 ・窓口や電話問い合わせについては、引き続き名護市景観計画に基づく景観行政手続きの説明を行い、情報提供に努めます。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	KPIの設定なし						実績値	—	—	—	—	名護市景観計画に基づく景観行政について、情報提供を行うことができませんでした。	引き続き情報提供に努めます。
	KPIの設定なし						達成率	—	—	—	—		
KPIの設定なし						ランク	—	—	—	—			
KPIの設定なし						進捗状況	→						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
③公園の整備推進と維持管理の充実	・「名護市都市計画マスタープラン」及び「名護市みどりの基本計画」に基づき、引き続き安全性に配慮した親しみのある公園整備を推進します。 ・区画整理や開発行為等で生み出された公園用地の整備、年数が経過した公園へ時代背景に合致した遊具の新設や再整備を模索し新たな市民の憩いの場の創設を目指します。 ・「公園施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した遊戯施設等の改築・更新整備を進めることで公園利用者へのサービス向上、安全・安心な公園利用の促進を図ります。						総括	E	—	—	—	【建設部】 ・都市公園事業の採択要件である、人口一人当たりの公園面積10㎡/人以下の要件を名護市は超えている状況で、都市公園事業では新規公園整備が出来ない状況であるため、防衛事業において新規事業を実施する計画で、R3年度より取り組んでいます。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	都市計画区域人口当たり都市公園面積						実績値	19.55	—	—	—	公園整備面積は増えていますが、人口が増えているため、実績はマイナスとなっています。	都市公園事業以外の事業において公園整備を進めます。
	都市計画区域人口当たり都市公園面積						達成率	-30.8%	—	—	—		
都市計画区域人口当たり都市公園面積						ランク	E	—	—	—			
都市計画区域人口当たり都市公園面積						進捗状況	→						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
④総合的・計画的な住宅政策の推進	・市営住宅整備につきましては「名護市住生活基本計画」に基づき整備を行っていきます。 ・「名護市空き家等対策計画」に基づき、市、地域、事業者が連携し推進を図ります。						総括	E	—	—	—	【建設部】 ・市営住宅整備に関しては、予定戸数12戸の工事発注を行い事業を推進しています。 ・「名護市空き家等対策計画」に関しては、空き家等の利活用の推進として、累計8件の空き家改修支援事業を実施しています。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	住宅整備戸数(累計)						実績値	879	—	—	—	令和3年度目標戸数に達していない状況です。	引き続き計画を推進します。
	住宅整備戸数(累計)						達成率	0.0%	—	—	—		
住宅整備戸数(累計)						ランク	E	—	—	—			
住宅整備戸数(累計)						進捗状況	→						
名護市空き家住宅改修支援事業(累計)						実績値	8	—	—	—	令和3年度目標件数に達しています。	引き続き取組を推進します。	
名護市空き家住宅改修支援事業(累計)						達成率	14.3%	—	—	—			
名護市空き家住宅改修支援事業(累計)						ランク	E	—	—	—			
名護市空き家住宅改修支援事業(累計)						進捗状況	→						

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	比較的效果があった	内部検証	外部検証
課題	<p>【建設部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画運用のための土地利用方針であるため、成果目標や成果指標で業務内容を評価検証することは困難となっています。現在、策定スケジュールに遅れなく業務を行うことができています。 景観計画に基づく景観行政の手続きについて、情報提供に努めます。 事業費の計画的な確保が必要です。 市営住宅整備については遅れが生じていますが引き続き推進していきます。 「名護市空家等対策計画」が地域に浸透していないとの指摘があります。 	<p>・特になし</p>	<p>外部検証</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少に向かっていくなかで市営住宅の戸数を増やすべきでしょうか？ ZEH(ゼッチ)は国からの補助金もありますが、快適な居住環境の整備の観点から名護市独自の補助金体制を検討してはどうでしょうか。 ※「ZEH(ゼッチ)」とは、net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略語で、家庭で使用するエネルギーと、太陽光発電などで創るエネルギーのバランスをとって、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする家のことです。家全体の断熱性や設備の効率化を高めることで、夏は涼しく冬は暖かいという快適な室内環境を保ちながら省エネルギー化をめざしています。 名護市は旧民家での空き家対策の必要性も将来的に高くなると見られるので、地域住民向けと併せて住宅業者への説明会開催等も検討してみてもどうでしょうか。 市内のアパート等の空きが増えていると聞くことから、市営住宅を新規に作る場合と、空き家となっているアパート等を民間から借り受けて活用した場合とで費用対効果を比較検証することにより、新規で市営住宅を作るのと、空き家を活用するのとどちらが良いのかについて検討出来るのではないのでしょうか？市営住宅を増やすよりも民間のアパートを市が借り受けて市営住宅並みの家賃で貸すといった検討も必要であると考えられます。 名桜大学でも空き家対策プロジェクトという学習を立ち上げて、空き家の所在・分布についてデータベース化を行い、トライアルで県外の方々にもオンラインで説明しつつ、ニーズ調査も行ってみました。その結果、「情報が少なすぎる」、「自分たちが知りたい情報が十分に得られない」というご意見がみられました。ターゲットに合わせた情報を掲載した空き家のデータベースを作成し、名護市のホームページで常に関覧出来る仕組みづくりが出来ると良いのではないのでしょうか。
対応	<p>【建設部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民意見を反映させた名護市都市計画マスタープラン改定業務を推進します。 コロナ禍の状況を踏まえながら、名護市景観計画に基づく景観行政について、情報提供に努めます。 都市公園事業で取り組めない新規公園事業を、他の財源を活用し整備を進めます。 市営住宅整備戸数に関して引き続き推進していきます。 空家等対策計画に関して、啓発チラシやパンフレット等を作成しHPに掲載するほか、公共施設の窓口や各区などへの配布により幅広く周知に努めます。 	<p>評価の妥当性 ・改善に向けた助言</p>	

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【建築住宅課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の必要戸数につきましては「名護市住生活基本計画及び名護市営住宅等長寿命化計画」において定めております。今年度、計画の見直しをおこなう予定となっており、市営住宅の必要戸数につきましても、国の定める基準により算出します。市営住宅の供給戸数につきましては見直しの結果に基づき判断してまいります。 住宅の新築やリフォームについて、ZEH支援事業やこども未来住宅支援事業など国が行っている補助制度がありますが、本市では空き家を改修し活用することにより、住宅の質の向上を目的として、空き家改修工事費の一部を補助する「名護市空き家住宅改修支援事業」を実施しております。そのほか、関連事業として目的はそれぞれ異なりますが、「名護市高齢者いきいき住宅改修助成事業」「名護市介護保険居宅介護(介護予防)住宅改修事業」「名護市障がい者住宅改修費給付事業」などに取り組んでいます。 地域住民や住宅業者への説明会については、空家等対策に関連する各種専門分野の民間支援団体と連携し、開催を検討いたします。 市営住宅供給の取組を進めるなかで、社会情勢、要支援世帯の動向を見極め、必要に応じ借上公営住宅による供給の検討を行っていきます。 本市では適切な管理が行われていない空家等を把握するため、市内全域を調査・データベース化し、空家等の所有者に対して意識啓発や指導・助言等を行っているところではありますが、データベース等の情報閲覧に関しては、所有者等の個人に関する情報であることから行っておりません。空き家の売却又は賃貸等を希望する所有者等から申込みを受けた情報を、本市への定住等を目的として空き家の利用を希望する者に対し紹介する「空き家バンク」の開設を今後検討していきたいと考えております。

基本方針（4）上・下水道の充実



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)																													
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)																								
①上・下水道の健全な運営	・上下水道事業経営戦略に沿った事業運営を行います。 ・安全・安心な水の安定供給を行うため、水質検査計画を策定し、水質の定期検査を行い、水質基準を満たしていることを確認します。 ・公共用水域の快適な生活環境の確保を図るため、下水道整備区域から排出される汚水を下水処理場にて関係法令に定める水質項目・水質環境基準内に処理し放流します。						総括	D	—	—	—	【経営課】 ・下水道事業の経費回収率の目標値を達成するためには、下水道使用料の見直しが必要となります。令和3年度は、令和4年度以降の下水道使用料改定に向けた取組を検討しました。経常収支においては、令和3年度決算において、下水道施設の維持管理費支出が増加したことに伴い経費回収率が減少しました。今後も物価上昇などによる影響を受け費用の抑制は厳しくなるものとみられ、下水道使用料改定の取組を進めるとともに経費節減策の検討等を行うことで経費回収率の向上を図りたいと思います。 ・また、水道事業において水質検査計画を策定し、計画に基づき定期水質検査を行いました。検査結果は水質基準を満たしており、今後も水質検査計画を策定して定期水質検査を継続したいと思っております。下水道事業では、下水道放流関係法令に基づいて水質検査を行いました。検査結果は水質環境基準内にあり、今後も関係法令に基づき水質検査を継続したいと思っております。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標(KPI)</th> <th>単位</th> <th>現状値(R2)</th> <th>目標値(R6)</th> <th>ウエイト</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(下水道)経費回収率</td> <td>%</td> <td>68.1</td> <td>92.5</td> <td>50</td> <td>総計</td> </tr> <tr> <td>定期水質検査回数(上水道)</td> <td>回/年</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>25</td> <td>単年</td> </tr> <tr> <td>定期水質検査回数(下水道)</td> <td>回/年</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>25</td> <td>単年</td> </tr> </tbody> </table>						重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	(下水道)経費回収率	%	68.1	92.5	50	総計	定期水質検査回数(上水道)	回/年	12	12	25	単年	定期水質検査回数(下水道)	回/年	4	4	25	単年	進捗状況	→				備考
重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価																															
(下水道)経費回収率	%	68.1	92.5	50	総計																															
定期水質検査回数(上水道)	回/年	12	12	25	単年																															
定期水質検査回数(下水道)	回/年	4	4	25	単年																															
							個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																									
							実績値	65.2	—	—	—	令和3年度の経常費用が令和2年度に比較し増加したことが影響し経費回収率は減少しています。																								
							達成率	-12.0%	—	—	—																									
							ランク	E	—	—	—																									
							進捗状況	→																												
							実績値	12	—	—	—	目標どりの結果となりました。																								
							達成率	100.0%	—	—	—	引き続き取組を継続します。																								
							ランク	A	—	—	—																									
							進捗状況	→																												
							実績値	4	—	—	—	目標どりの結果となりました。																								
							達成率	100.0%	—	—	—	引き続き取組を継続します。																								
							ランク	A	—	—	—																									
							進捗状況	→																												

取組・指標(PLAN)							実績(DO)																																			
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)																														
②計画的な拡充整備及び施設更新	・市民へ安全・安心で安定した水の供給を図るため、計画的な拡充整備や老朽化施設の更新及び施設の耐震化に取り組みます。 ・市内の公衆衛生並びに公共用水域の水質を将来にわたり持続させるため、下水道施設の計画的な更新及び地震対策、未普及地域の解消のための拡充整備に取り組みます。 ・名護市衛生センターの老朽化に伴い、名護下水処理場に新たにし尿受入施設の整備を行い、汚水処理施設の広域化、共同化を図ります。 ・集中豪雨の増加に伴う浸水被害軽減のため、雨水排水施設の整備や老朽化施設の更新及び耐震化に取り組みます。						総括	E	—	—	—	【工務課】 ・水道施設について、道路改良工事との同時施工による配水管の新設や仲尾次地区の老朽管路の更新を行いました。また、久辺配水池の建設工事に着手しました。 ・下水道施設について、老朽化による汚泥脱水機の更新や安和・山入端地区の未普及地域解消のための拡充整備、山田原水幹線工事を行いました。 ・し尿受入施設の整備について、詳細設計を行いました。 ・浸水対策として、港川雨水幹線の現況調査を行いました。 ・有収率を向上させるために行う夜間漏水調査について、公共道路工事等に伴う水道管切り直し工事の増加や悪天候の理由により計画どおり実施できませんでした。																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標(KPI)</th> <th>単位</th> <th>現状値(R2)</th> <th>目標値(R6)</th> <th>ウエイト</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(水道)基幹管路耐震適合率</td> <td>%</td> <td>16.8</td> <td>19.0</td> <td>30</td> <td>総計</td> </tr> <tr> <td>(水道)有収率</td> <td>%</td> <td>91.8</td> <td>93.2</td> <td>10</td> <td>総計</td> </tr> <tr> <td>(下水道)普及率</td> <td>%</td> <td>69.9</td> <td>71.3</td> <td>30</td> <td>総計</td> </tr> <tr> <td>(下水道)整備率</td> <td>%</td> <td>60.9</td> <td>64.1</td> <td>30</td> <td>総計</td> </tr> </tbody> </table>						重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	(水道)基幹管路耐震適合率	%	16.8	19.0	30	総計	(水道)有収率	%	91.8	93.2	10	総計	(下水道)普及率	%	69.9	71.3	30	総計	(下水道)整備率	%	60.9	64.1	30	総計	進捗状況	→				備考
重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価																																					
(水道)基幹管路耐震適合率	%	16.8	19.0	30	総計																																					
(水道)有収率	%	91.8	93.2	10	総計																																					
(下水道)普及率	%	69.9	71.3	30	総計																																					
(下水道)整備率	%	60.9	64.1	30	総計																																					
							個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																															
							実績値	16.8	—	—	—	現在、優先度の高い配水管の新設や基幹管路以外の更新工事が主な整備となっており、基幹管路の耐震化工事を行っています。																														
							達成率	0.0%	—	—	—	優先度の高い新設工事後、基幹管路の耐震化を行います。																														
							ランク	E	—	—	—																															
							進捗状況	→																																		
							実績値	91.3	—	—	—	有収率を向上させるために行う夜間漏水調査について、公共道路工事等に伴う水道管切り直し工事の増加や悪天候の理由により計画どおり実施できませんでした。																														
							達成率	-30.4%	—	—	—	引き続き取組を継続します。																														
							ランク	E	—	—	—																															
							進捗状況	→																																		
							実績値	70.1	—	—	—	目標へ向けて微増となりました。																														
							達成率	13.9%	—	—	—	引き続き取組を継続します。																														
							ランク	E	—	—	—																															
							進捗状況	→																																		
							実績値	60.9	—	—	—	R3における汚水管渠の整備について、幹線整備や老朽管渠の更新を行うものであったため、整備率は現状維持となっています。																														
							達成率	0.0%	—	—	—	引き続き取組を継続します。																														
							ランク	E	—	—	—																															
							進捗状況	→																																		

取組・指標(PLAN)							実績(DO)										
具体的取組		具体的取組の内容					総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)					
③国際協力の推進		・名護市はこれまで、大洋州諸国からの水道技術習得のための研修員の受け入れや、サモア水道公社への技術協力を行っております。今後も、JICA課題別研修の受け入れや「沖繩連携」によるサモア水道公社維持管理強化プロジェクト・フェーズ2(CEPSO2)への短期専門家派遣等、引き続き国際協力に取り組みます。					ランク	—	—	—	—	【工務課・経営課】 ・新型コロナウイルス感染拡大により海外からの研修生の渡航制限により来日による研修に変えて、オンラインによる研修を行いました。また、CEPSO2においても新型コロナウイルス感染拡大により短期専門家の派遣が延期になっています。					
		進捗状況						→									
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応			
	KPIの設定なし	—	—	—	—	—	実績値	—	—	—	—	R3は、JICA課題別研修がオンラインにより実施され、講師とし	引き続き取組を継続します。				
							達成率	—	—	—	—	て2科目の講義を行いました。					
							ランク	—	—	—	—						
							進捗状況	→									

■評価結果と妥当性の検証

検証(CHECK)			
自己評価		外部検証	
評価	比較的効果があった	内部検証	外部検証
課題	<p>【工務課・経営課・施設課】</p> <p>①上下水道の健全な運営に当たり、下水道事業の経費回収率の向上のために料金改定の検討を開始しました。一方でさらなる経費節減策等も必要となります。</p> <p>また、上水道事業の水質検査項目においては、天候の状況によって原水水質が悪化する傾向にありますが、適正な水処理を行い供給される水の水質基準を満たす必要があります。</p> <p>②下水道事業においては、継続して水質環境基準内で処理・放流するため経年劣化した施設改修及び機器更新の必要があります。</p> <p>・下水道事業については、国への予算要望額に対して配分額が減額されたことから事業が長期化しています。</p> <p>・港川雨水幹線について、整備方法を維持管理者である建設部と調整を行う必要があります。</p> <p>③国際協力については、新型コロナウイルス感染状況により研修生の受け入れ等が左右されます。</p>	<p>・特になし</p> <p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p>	<p>・経年劣化による施設改修や機器の更新を行っていますが、いつまでも一部改修では限りがあると思われます。30年・40年後は処理場全体の改修が必要と考えられます。移転場所の確保が必要ではないでしょうか。</p> <p>・移転場所については市民会館駐車場用地を確保しておくことも必要です。</p> <p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p>
対応	<p>【工務課・経営課・施設課】</p> <p>①下水道事業の経費回収率向上にむけ、今後も令和6年度に新料金体系への移行ができるよう取組を進め、また、上下水道事業の水質基準を満たす適正な水処理が行えるよう、定期水質検査を継続します。</p> <p>②計画的に事業効果を発現させるため北部振興事業を活用します。</p> <p>・港川雨水幹線について、関係機関等との調整を行い整備方法を検討します。</p> <p>③国際協力について、JICA等関係機関と調整を図り、実施方針を検討します。</p>		

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【工務課】</p> <p>・現在、既存施設の老朽化対策や耐震性能の向上に向けた施設整備を行っておりますが、今後は下水処理場の建て替えを行う必要があると思われます。その際には、下水処理場の運用を継続しながら現地での建て替えが可能であるか検討を行う必要があります。</p> <p>・名護下水処理場に隣接する市民会館駐車場を下水処理場の建て替え用地としての可能性はあるかと思えます。当該土地の土地利用について、関係部署と調整を図る必要があると思われます。</p>

基本目標2. 暮らしやすく安全・安心な環境をつくる【都市基盤、生活環境、安全・安心、防災・救急】

基本方針（5）安全・安心なまちづくりの推進



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
①交通安全対策の推進	・年4回の交通安全運動を実施するとともに関係機関・団体と連携し、交通安全施設の整備・維持管理に取り組みます。						総括	C	—	—	—	【総務部総務課】 ・年4回の交通安全運動を実施しました。 ・安全施設の管理については、スクールゾーンの標識の修繕を実施しました。 ・横断歩道の表示については、沖縄県公安委員会に修繕の要望を提出していますが、未修繕箇所が残存しています。 ・事故件数の急激な減少については、コロナ過での人流抑制も関連があると予測されます。 ※規制標識・横断歩道は沖縄県公安委員会のみ設置可能	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	沖縄県警 交通白書より人身事故件数(現状値H28-R1までの平均)	件/年	206.25	132.33	100	単年	実績値 148.00 達成率 78.8%	—	—	—	—	令和3年度の実績値が目標を大幅に上回る結果となりましたが、その要因として、昨今のコロナ過における人流の鈍化による影響とも推測できます。	引き続き取組を推進します。
※現状値H28-R1までの平均 ※実績値は過去4年間の平均						ランク	C	—	—	—			
						進捗状況	↑						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
②防犯対策の強化	・名護地区安全なまちづくり協議会など各種団体の活動支援や、ちゅらさん運動の推進、各種防犯に関する取組を実施します。 ・地域の防犯対策強化や夜間の安全性確保のため、市設置街灯の管理の継続や自治区等へ街灯設置に係る経費及び電気使用料の一部を補助し、防犯対策に取り組みます。						総括	B	—	—	—	【総務部総務課】 ・コロナ過中において例年通りとはいかないものの、関係機関と連携し各種ちゅらさん運動への活動支援を行いました。 ・次年度、防犯カメラの設置に向けた調整を関係機関と行いました。 【地域力推進課】 ・地域の防犯対策強化や夜間の安全性確保のため、市設置街灯の維持・管理に努めるとともに、各自治会等のLEDへの取り換えや新規設置、電気使用料の一部の補助を行いました。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	沖縄県警 犯罪統計書より刑法犯認知件数(現状値H28-R1までの平均)	件/年	327.75	274.33	100	単年	実績値 282.00 達成率 85.6%	—	—	—	—	令和4年度防犯カメラ設置に向けて、関係機関との調整の進捗状況が進展しました。	引き続き取組を推進します。
※現状値H28-R1までの平均 ※実績値は過去4年間の平均						ランク	B	—	—	—			
						進捗状況	↑						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
③野犬・野良猫・ハブ・害虫等の対策強化	・地域住民及び事業者の求めに応じて、野犬、ハブの捕獲、ハチの巣の駆除、野良猫のTNR活動への支援を強化していきます。						総括	A	—	—	—	【環境対策課】 ・ハブの捕獲、ハチの巣の駆除、野良猫のTNR活動については地域住民及び事業者からの依頼数の増加もあり、目標値を大きく上回る結果となりました。安定した事業展開に努めていきたいと思っております。 ・野犬の犬糞捕獲数は、犬糞捕獲器の増設を行い、稼働数を上げましたが目標値を下回る結果となっています。今後、動物愛護管理センターと連携して、野犬の捕獲を行い、野犬頭数の減少に努めていきたいと思っております。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	ハブの捕獲数(年平均)	匹	1,286	1,200	25	単年	実績値 1,765 達成率 147.1%	—	—	—	—	捕獲器の増設があり、捕獲数が目標値を上回る結果となりました。	継続して取組を推進します。
※現状値H28-R1までの平均 ※実績値は過去4年間の平均						ランク	A	—	—	—			
						進捗状況	↑						
ハチの巣の駆除件数(年平均)	件	116	100	25	単年	実績値 245 達成率 245.0%	—	—	—	—	依頼数が増加し、目標値を上回る結果となりました。	継続して取組を推進します。	
						ランク	A	—	—	—			
						進捗状況	↑						
野犬の捕獲数	頭/年	97	100	25	単年	実績値 55 達成率 55.0%	—	—	—	—	野犬の発見者及び地権者からの依頼により犬糞捕獲器の設置を行っています。今年度は犬糞捕獲器を新たに1器購入し稼働数を上げましたが、目標値には届きませんでした。	継続して取組を推進します。	
						ランク	D	—	—	—			
						進捗状況	↓						
避妊去勢した野良猫の件数	匹/年	189	200	25	単年	実績値 592 達成率 296.0%	—	—	—	—	市民へTNR活動が広まったこともあり、目標値を上回る結果となりました。	継続して取組を推進します。	
						ランク	A	—	—	—			
						進捗状況	↑						

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	課題	内部検証	外部検証
十分な効果があった	<p>【総務部総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 横断歩道表示の修繕が難航しており、修繕が必要な箇所が残存しています。 <p>【環境対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 野犬の糞を増やし稼働率を上げても、捕獲数が増えないことがあります。野犬の数自体が減少し、捕獲数が増えることは逆に好ましいことではないかと思われれます。 <p>【地域力推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会等が管理する電柱が木柱で、取換の際も木柱への交換が多く腐食する危険性が常に残っています。 	<p>①交通安全対策の推進において、市民要望がある横断歩道の表示の未修繕箇所がありますが、十分な効果があったと評価してよいでしょうか。</p> <p>①交通安全対策の推進の横断歩道表示の修繕については、沖縄県公安委員会へ要望しても効果が出ない難しい面もありますが、今後も関係機関と粘り強く調整をしていく必要があると考えられます。</p>	<p>野犬は以前より数が減っていると思われます。野犬より猫が増えすぎて迷惑しており、市民会館から野球場までの海岸沿いを調査してもらいたいと思います。猫にエサをやる方もいて猫のふんで迷惑している家もあります。</p> <p>猫を捕獲して避妊手術をできないでしょうか。</p> <p>主要道路への進入交差点等を確認し、防犯カメラ設置の検討を行ってみたいでしょうか。</p> <p>法律で猫は捕獲できないと聞いていますが、特別区域を指定して捕獲することは出来ないのでしょうか。</p>
対応	<p>【総務部総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策及び防犯対策の強化については、関係機関との調整を密に連携し、横断歩道表示等の維持管理、防犯カメラの設置を進めていきたいと思います。 <p>【環境対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続して、ハブ・野犬の捕獲、ハチの巣の駆除、野良猫の避妊去勢手術の支援に取り組みます。 <p>【地域力推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市管理の街灯の維持及び各自治会等が管理する街灯の修繕、新規設置、電気使用料の一部の補助を行うことにより、市内全域の街灯の維持につながり、地域の防犯強化、夜間の安全の保持を図ります。また、LED街灯への取り換え補助をすることにより、各自治会等の電気使用料の削減にも寄与していきます。 	<p>評価の妥当性 ・改善に向けた助言</p>	<p>評価の妥当性 ・改善に向けた助言</p>

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【環境対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 猫の苦情対応については、猫が敷地に入りこくなる方法が記されたビラを相談者に配布しております。餌やりを止めさせる権限が餌やりが行われている敷地の管理者にしかないことから、管理者による敷地内での餌やり禁止看板作成も支援しています。また、猫に餌を与える際のルールを記したビラを苦情地の周辺に直接投函する対応も実施しております。 <p>【環境対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当課では公益財団法人どうぶつ基金が実施している「さくらねプロジェクト(野良猫の無料避妊去勢手術助成)」を令和2年度から活用し、令和2年度に189匹、令和3年度に592匹の避妊去勢手術を支援しております。 動物愛護法では、猫を捕獲する特別区域を指定することはできません。 <p>【総務部総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度においては、防犯カメラを4基設置予定であり、そのうち2基を交差点に設置予定(1基は設置済み)。今後も関係機関と調整を行いながら設置を進めていきたいと思います。

基本目標2. 暮らしやすく安全・安心な環境をつくる【都市基盤、生活環境、安全・安心、防災・救急】

基本方針(6) 防災・救急体制の充実



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)								
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)			
① 消防・防災体制の整備・充実	・火災発生時に円滑な消火活動を行うため、計画的、効率的に耐震型の消防水利を整備します。併せて予防保全も考慮した維持管理を行い、消防力の充実強化に取り組みます。 ・市民の生命・財産を災害等から守るため、ソフト、ハード両面から体制を強化します。						総括	D	—	—	—	【消防本部】 ・消防水利設置事業による新規消防水利を4基設置予定でしたが、水道管塗料メーカーによる不適切行為により消火栓管材の出荷停止がありました。年度内で事業完了に至りませんでした。道路整備、開発行為等により消防水利を4基整備しました。また、既存の消防水利については適宜、点検を行い不備があった物については修繕を行いました。			
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考		対応	
	消防水利整備率	%	62.0	64.3	100	総計	実績値	63.0				繰越となった消火栓設置が、令和4年6月で整備完了となり、消防水利整備率の上昇が確実な状況です。		引き続き取組を推進します。	
							達成率	43.5%	-	-	-				

取組・指標(PLAN)							実績(DO)								
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)			
② 救急救助体制の充実	・小学生以上を対象に救命講習会を開催し応急手当の知識と技術を有する市民を広く育成します。併せて事業所等におけるAED保有率増加に取り組み、救命率の向上を図ります。 ・大規模・多様化する火災や自然災害等の各種災害から、市民の生命と財産を迅速・的確に守るため、施設、装備、資機材の高度化を図り、計画的に整備します。 ・急病人等が発生したときに、救急車が到着するまでの間、近くにいる市民が救命処置を行える環境を整えます。						総括	D	—	—	—	【消防本部】 ・救命講習の開催においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い救命講習の開催ができない状況があり、講習数42回、受講者数415名となっています。市民等における救命処置実施率は60%となっています。 ・消防関係車両3台を整備予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による部品調達が遅れ2台が繰越となり、1台のみの整備となりました。 ・市民等が救命処置を行える環境整備については、市内コンビニエンスストアへのAED設置が88%となっています。			
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考		対応	
	バイスタンダーによる一時救命処置実施率 ※バイスタンダーとは救急現場に居合わせた人	%	58.0	80.0	50	単年	実績値	60.0				新型コロナ禍の中で前年度よりバイスタンダーによる救命手当実施率の上昇がみられます。		引き続き取組を推進します。	
							達成率	75.0%	-	-	-				

取組・指標(PLAN)							実績(DO)								
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)			
③ 地域防災力の向上	・多発する自然災害への対処において、自主防災組織の設立を促し、地域における連携の強化を図り、共助、自助の体制を整えます。 ・災害発生時、要配慮者の避難を支援する体制を整えるため、関係課と連携をとり取り組みます。 ・水災害警戒区域内の要配慮施設における、避難確保計画の作成や避難訓練を促進します。 ・ハザードマップの更新や避難所の確保、備蓄品の整備を図り、自然災害に備えた体制強化に取り組みます。						総括	E	—	—	—	【総務部総務課】 ・自主防災組織の設立に向けた説明会等を実施し、新たに三原区に自主防災会を結成させることができましたが、まだ組織率は低い状況にあります。 ・消防団・自主防災組織等連携促進支援事業を活用して、防災の学習会や避難所開設訓練等を実施し、防災への意識向上を図る取組が実施できました。 ・ハザードマップの更新や、避難所の感染症対策の備品整備を行い災害対策強化の取組が実施できました。 ・水災害警戒区域内の要配慮者施設の避難確保計画作成の状況を把握することができず、作成の促進に取り組むことができませんでした。			
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考		対応	
	自主防災組織の設立数	区	12	28	100	総計	実績値	13				自主防災組織について興味を持つ区長はいましたが、結成に至ったのは1区のみでした。		自主防災組織の活動の紹介や、結成の重要性の説明会等を行います。	
							達成率	6.3%	-	-	-				

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	比較的效果があった	内部検証	外部検証
課題	<p>【総務部総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織設立が55区内13区の状況であり、自助、共助の体制作りの重要性を各区に促していく必要があります。 ・要配慮者施設の避難確保計画の作成状況の把握が必要です。 <p>【消防本部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防施設について新型コロナウイルス感染症の影響を受け一部整備が滞りましたが、全体的な整備計画は進捗しており、【防災・救急体制の充実】に十分に寄与していると考えられます。 ・講習時に講習者同士が密になる状況があります。感染拡大時には資機材の貸し出しもできないため、オンラインでの開催も難しい状況でした。 	<p>②救急救助体制の充実の救命講習に関しては、コロナの終息がなかなか見られないことから、ウイズコロナを見据えて、オンラインのリモート講習会ができるように工夫してはどうでしょうか。</p> <p>・関係課との連携について 要配慮者を把握している担当課との個別避難計画策定における情報共有や、福祉避難所の具体的な運営等について、庁内関係課で協議の場が持てるとういのではないのでしょうか。(地域防災計画の見直しにおけるヒアリング等の活用)</p>	<p>『課題』に自助、公助とありますが、自主防災組織なので自助、共助ではないでしょうか？</p> <p>・要配慮者施設とは、障害児(者)と理解して良いのでしょうか？ だとすると、災害発生時の要配慮者は、障害者だけではなく、基礎疾患を持った人やがん治療中の方もいるので、併せて検討する必要があります。さらに、要配慮者は、施設だけではなく地域の中で生活している方もいるので、自主防災組織の活動として、地域で生活している要配慮者への対応も検討してはどうでしょうか？</p> <p>・地域防災力の向上について、看護のカリキュラムが改正され、災害看護学の充実が図られたので、大学との連携も重要ではないでしょうか。また、防災士の資格者や、まちの減災ナース指導者の認定者などの人材発掘をし、活用していくことも考えられるのではないのでしょうか。</p>
対応	<p>【総務部総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の活動内容や必要性を区長会等で説明し結成を促します。 ・関係課と連携して、要配慮者施設へ避難確保計画の作成を促します。 <p>【消防本部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防施設整備については消防車両更新計画等を基に計画を継続します。 ・消防水利は消火栓に偏ることなく防火水槽の整備も必要です。 ・救命講習に関しては、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、依頼のあった事業所等へは開催日程の調整を積極的に行い開催ができるよう努力していきます。 	<p>評価の妥当性 ・改善に向けた助言</p>	<p>評価の妥当性 ・改善に向けた助言</p>

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『課題』の「公助」を「共助」に訂正させていただきます。 <p>・施設以外の要配慮者へは個別避難計画の作成を関係課と連携を図っているところであります。個別避難計画の作成、及び自主防災組織で情報を共有するためには、プライバシー保護の観点から、本人の同意が必要となるため、要配慮者から同意が得られるよう取り組んでいるところであります。</p> <p>【健康増進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力の向上について、昨年度より、名城大学看護学科との連携を図り正規職員保健師を対象に災害時における保健師活動について講義及びグループワークを実施し、防災対策に取り組んでいるところであります。保健師自身の災害に特化したスキルアップだけでなく、災害時の連携や活動の内容・方法を平時より共有することで有事の際の速やかな体制構築に役立てていきたいと考えております。 <p>【消防本部警防課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内コンビニエンスストア全店舗にAEDの設置を予定しています。AED設置については、AED設置の適正配置に関するガイドラインを参考にしています。(現場から片道1分以内の配置 誰もが24時間いつでもアクセス可能な配置 わかりやすい場所への設置等をふまえて設置しています。)

基本目標3. 誰もがいきいきと暮らせる支え合いのある地域をつくる【健康・福祉】

基本方針(1) 健康づくりの推進



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)		実績(DO)													
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)								
①ライフステージに応じた市民の健康づくり	乳幼児期に健やかな生活習慣を身に付けられるよう生活習慣確立に向けて保健指導を実施します。 ・基本健康診査(住民健診)、特定健康診査の結果に基づく特定保健指導(保健師・栄養士等)を実施します。 ・生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、特定健康診査受診率向上のため、多様な健診方法を実施します。 ・定期予防接種を推進します。 ・公立沖縄北部医療センターの整備に向けて名護市にできることを 着実に取り組み、新型コロナウイルス感染症への対応を含め、市民が安心していつでも医療を受けられる体制づくりを図るため、関係機関(県、医療機関、消防等)と連携して参ります。	総括	B	-	-	-	【健康増進課】 ・新型コロナウイルス感染症の影響(まん延防止等重点措置)の中でも、コロナ対策することでそれぞれの事業が遂行できました。 ・ただし、一部の(検)診などでは、コロナ感染するのではないかと不安などによる受診控えがありました。								
		進捗状況	→												
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応	
		乳児健康診査受診率	%	86.9	90.0	14	単年	実績値 86.2 達成率 95.8%					まん延防止等重点措置の中でコロナ対策することで健診を遂行することができ、受診率は前年度とほぼ同じくらいでした。	継続して取組を推進します。	
				※現状値はR元年度				ランク	B						
								進捗状況	→						
		1歳6ヶ月健康診査受診率	%	90.7	92.0	14	単年	実績値 85.3 達成率 92.7%					まん延防止等重点措置の中でコロナ対策することで健診を遂行できましたが、受診控えがなりました。	継続して取組を推進します。	
				※現状値はR元年度				ランク	B						
								進捗状況	↓						
		3歳健康診査受診率	%	86.0	90.0	14	単年	実績値 83.2 達成率 92.4%					まん延防止等重点措置の中でコロナ対策することで健診を遂行できましたが、受診控えがなりました。	継続して取組を推進します。	
			※現状値はR元年度				ランク	B							
							進捗状況	↓							
	特定健康診査受診率	%	39.7	47.0	14	単年	実績値 31.1 達成率 66.2%					まん延防止等重点措置により集団健診の日程を変更したことによる市民の健診に対する受診意欲の低下がありました。また、コロナに対する不安感から受診控えがありました。	継続して取組を推進します。		
			※現状値はR元年度				ランク	C							
							進捗状況	↓							
	保健指導実施率	%	62.1	66.1	14	単年	実績値 20.8 達成率 31.5%					まん延防止等重点措置により集団健診日程の延期に伴い、健診結果説明会開催時期の遅れが生じたため指導率低下となりました。	継続して取組を推進します。		
			※現状値はR元年度				ランク	D							
							進捗状況	↓							
	予防接種率(麻疹・風しん混合ワクチン1期)	%	92.8	93.2	15	単年	実績値 90.6 達成率 97.2%					接種期限前に個別に勧奨はがきを通知し、接種率の向上に努めていますが新型コロナ流行の影響で接種率がやや低下しました。	継続して取組を推進します。		
			※現状値はR元年度				ランク	B							
							進捗状況	→							
	予防接種率(麻疹・風しん混合ワクチン2期)	%	91.8	92.2	15	単年	実績値 86.9 達成率 94.3%					未接種者への個別勧奨はがきが8月と1月に通知しました。保育園や幼稚園へのチラシ配布を依頼しました。新型コロナ流行の影響で接種率がやや低下しました。	継続して取組を推進します。		
			※現状値はR元年度				ランク	B							
							進捗状況	→							

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
②地域と一体となった健康づくりの支援	生活習慣病予防や食生活改善を図るため、伝達講習会を実施します。 ・産前・産後サポート事業を通して、妊婦が気軽に参加できる場所を提供し、妊婦の時から地域とのつながりを持てるようにします。 ・健診受診勧奨や健康づくりを地域一体となって実施するため、地区組織活動の充実を図る研修会等を実施します。	総括	D	-	-	-	【健康増進課】 ・新型コロナウイルス感染症の影響(まん延防止等重点措置)などによる事業の自粛等がありました。							
		進捗状況	↓											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		食生活改善推進協議会の地区活動回数	回/年	13	15	25	単年	実績値 12 達成率 80.0%					まん延防止等重点措置などにより地区活動の自粛がありました。	継続して取組を推進します。
				※現状値はR元年度				ランク	B					
								進捗状況	↓					
		妊娠・出産包括支援事業における支援件数	件/年	-	240	25	単年	実績値 32 達成率 13.3%					新型コロナ感染状況により、6回予定が半分の3回となりました。妊娠中に集団形式だと参加しづらい可能性があります。	オンライン開催を検討します。
				※現状値はR元年度				ランク	E					
								進捗状況	↓					
		保健推進員の受診勧奨率	%	53.0	65.0	25	単年	実績値 55.0 達成率 84.6%					電話での受診勧奨に対する対象者の反応が良い結果となりました。保健推進員がいない地域もあるため、引き続き周知・募集を行います。	継続して取組を推進します。
			※現状値はR元年度				ランク	B						
							進捗状況	↑						
	母子保健推進員の乳児全戸訪問件数	件/年	112	200	25	単年	実績値 69 達成率 34.5%					新型コロナウイルス感染症の影響により訪問実績は低下しました。	継続して取組を推進します。	
			※現状値はR元年度				ランク	D						
							進捗状況	↓						

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	比較的效果があった	内部検証	外部検証
課題	<p>【健康増進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過でも健(検)診などの受診控えなどを減少させるための感染予防対策の徹底と周知に課題があります。 	<p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「比較的效果があった」という自己評価は、「集団検診はコロナの影響であった一方で、個別の健診は一定程度行えたため」とのことですが、これが今のKPIでは見えづらいため、それがみえるようKPI等も今後検討していく必要があると思います。 ・スマホ(ネット)などを利用した健康プログラム等、集団ではなくてもコロナに対応しゲーム感覚でできる健康づくりプログラムを作成し、特定健診でメタボ予備軍となった方などに結果通知と合わせダイレクトに広報してはどうでしょうか。 ・保健指導や妊産婦支援に関しては、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた対応の検討も必要と考えられます。例えば、オンライン相談形式の導入等、事業実施に伴うコロナ対応補助メニュー導入の検討などをおこなってはどうか。 	<p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証や助言を行ううえで、自己評価に記載された課題や今後の方針に対しての意見や助言を述べるべきなのか、それ以外の部分での助言も含めてよいのか迷う部分がありました。 ・自己評価では健診の受診率向上のみにコメントがありますが、重症化を防ぎいきいきと暮らしていくためには、受診後の対応が大切です。保健師による声掛けで2次健診を促しているとは思いますが、成果がみえるような形で進められると良いと思います。官民一体とならなくとも出来ないこともあると思うので、健康づくりに関しても少し取組を進められると良いと思います。 ・「②地域と一体となった健康づくりの支援」について、公民館で毎月行われている朝いちの活動のなかで、名桜大学の看護学生等が健康測定会を10年以上続けていますが、これらの健康測定会に参加されている住民の健診受診率が向上しているのか、データがないために検証が出来ていない状況にあります。既存の活動が行政の実施している健診とどう関連しているのかを検証していくことも大切ではないかと思えます。 ・まち全体の健康づくりの視点でいくと、特定健診を受けたら10ポイント、住民健診を受けたら10ポイント、健康イベント等のボランティアに参加したら5ポイント付与する等、ポイント制をまちづくりに活用し、そのポイントを地域の企業等で消費活動につながるようしくみづくりが出来ると、そのシステムのなかでまち全体の健康増進につながっていくようなことも出来るのではないのでしょうか。
対応	<p>【健康増進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未受診者に対する周知、啓発を実施することで、健(検)診率の向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診等については、未受診者対策事業の分析結果を生かし、対象者を明確にした効果的な対応策を期待します。 	

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【健康増進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過によって実施できなかった事業については、コロナ対策(ソーシャルディスタンスなど)することで、実施していきます。 ・未受診者対策については、分析結果を生かした受診勧奨を実施していきます。 ・特定健康診査及び住民健康診査等の受診結果を基に健康課題の分析、評価を実施しており、今後はその健康課題や住民の声も基に適切な情報発信ができるよう民間委託業者や市公式SNS等を活用し、各ライフステージに合った情報を提供していく予定です。また、関係機関と連携しながら集団健康教育(妊婦、中学生とその保護者、中年期、高齢者)を継続実施していきます。 ・毎年、各区ごとの特定健診受診率(国保のみ)を分析し、その結果を区長や地域の保健推進員等に公表し、住民が継続して健康診査を受診してもらえるようインセンティブ制を活用しご協力をいただいております。また、地域の保健推進員や介護関係者等へ各区ごとの健診・医療・介護の現状について研修を開催しております。外部委員より助言のありました官民一体となった取り組みについては、現在個人情報の観点から検証できていない状況にあります。今後、どのような取組ができるのか検討していきたいと思えます。 ・地域と一体となった健康づくりの支援として、健康ポイント事業を実施しております。これは職域や住民健診等の健康診断やがん検診を受診した方に対して、ポイントを付与し、一定のポイントを貯めた方は、抽選にて市営市場で使用できる商品券を配布しております。引き続き、利用者へアンケートを行い改善に努めてまいります。

基本目標3. 誰もがいきいきと暮らせる支え合いのある地域をつくる【健康・福祉】

基本方針(2) 高齢者への支援



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
①地域包括ケアシステム体制の充実	・地域包括支援センターの拡充及び機能強化を図るとともに、高齢者個人の生活課題への対応から地域課題をふまえた施策の検討に至るまで多職種間の連携の場となる地域ケア会議等を実施し、地域での支え合い体制の充実に努めます。 ・住民同士の支え合い等のインフォーマルな活動を行う地域人材の確保・育成を、生活支援コーディネーターを中心に行います。						総括	B	—	—	—	【介護長寿課】 ・地域包括支援センターの拡充及び機能強化のため、令和3年度は新たに名護市街地に2ヶ所(名護第1、名護第2)地域型包括支援センターを委託設置しました。 ・地域ケア会議については、地域ケア個別会議、自立支援型地域ケア個別会議を実施しました。 ・地域型包括支援センターの委託がスタートしたばかりという事もあり、地域課題の抽出や検討が十分機能を果たせていない部分もあります。 ・DVD視聴によるシニア支援者養成講座を開催し、シルバー人材センターのお助け会員を7名養成しました。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	重要業績評価指標(KPI) 単位 現状値(R2) 目標値(R6) ウェイト 評価 重度要介護(要介護3以上)の高齢者の居宅介護、在宅介護サービスの利用率 %/年 58.4 63.7 100 単年						実績値	58.0	—	—	—	多職種間での連携やサービスの充実により重度要介護状態となっても在宅生活の継続が図れていると思われます。	引き続き取組を推進します。
	達成率 ランク 進捗状況						達成率	91.1%	—	—	—		

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
②高齢者の生きがいのづくりの支援	・市民が高齢期においても、生きがいを持って生き活きと生活していくことができるよう、地域活動、スポーツ・学習活動、就労等様々な分野での支援対策を進めます。						総括	E	—	—	—	【介護長寿課】 市老連にてイベント開催の検討・協議しましたが、新型コロナウイルスの感染リスク、重症化しやすいと言われている高齢者への感染拡大を危惧し、イベント中止を余儀なくされています。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	市老連の主要イベント参加者数 単位 現状値(R2) 目標値(R6) ウェイト 評価 人/年 778 780 100 単年						実績値	174	—	—	—	芸能大会の代替事業としてぬり絵コンテストを実施しました。	感染対策と並行して生きがいづくり(イベント)を開催します。
	達成率 ランク 進捗状況						達成率	22.3%	—	—	—		

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
③適切な介護保険事業の運営	・事業所指導・監督業務、事業所指定業務、介護給付費適正化事業を通し、適切な介護保険事業の運営に努めます。						総括	E	—	—	—	【介護長寿課】 ・事業所への指導・監督業務は、新型コロナウイルスの影響により出来ませんでした。 ・介護給付費の適正化を図るために、医療情報との実合・縦覧点検、ケアプラン点検、介護給付費通知を実施します。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	介護事業所への実地指導件数 単位 現状値(R2) 目標値(R6) ウェイト 評価 件/年 3 10 100 単年						実績値	1	—	—	—	新型コロナウイルスの影響により、実地指導が出来ませんでした。	感染状況を踏まえつつ、取組を推進します。
	達成率 ランク 進捗状況						達成率	10.0%	—	—	—		

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
④介護予防事業の推進	・新75歳到達者へ心身機能の状態等を確認する基本チェックシートを送付し、介護予防対象者の把握に努めます。 ・高齢者や住民の介護予防への関心が高まるよう、各種教室やパンフレット、ラジオ放送などを通じて、介護予防に関する知識や情報、介護予防の必要性の普及に取り組みます。 ・住民を主体とするいきいき百歳体操やミニデイサービス等の介護予防事業をさらに普及させ、身近な場所での実施に取り組みます。 ・介護予防出前講座を実施し、介護予防の基本的な知識の普及を図り、高齢者の生活機能の向上に取り組みます。 ・いきいき健康長寿教室を実施し、運動機能維持・向上に加え、栄養改善、認知症予防等の介護予防の知識を普及し、地域における通いの場などのサポートを行う支援者を確保することに取り組みます。						総括	C	—	—	—	【介護長寿課】 ・新75歳到達者406名に基本チェックリスト送付しました。返信者269件のうち、基本チェックリスト該当者は131名でした。 ・介護予防の普及啓発については、R3年6月に全世帯へ介護予防パンフレットを配布し、介護予防の必要性について、周知を図りました。 ・介護予防出前講座については、R2年度より開催数を増やし全34回(19区)で実施しました。参加者数は延べ432人で、R2年度より200人増加しました。 ・いきいき健康長寿教室については、R2年度に比べて開催数、参加者数ともに増加し開催しました。R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、教室開催が1クールのみの実施でしたが、R3年度は感染防止を図りつつ開催数を3クールに増やしたことから、参加者数の増加を図ることができました。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	要介護度の維持・改善率 単位 現状値(R2) 目標値(R6) ウェイト 評価 %/年 52.0 66.0 80 単年						実績値	37.0	—	—	—	コロナの影響を受け、臨時的な措置で更新した方が反映されていないため、維持・改善率が伸びませんでした。	引き続き取組を推進します。
	達成率 ランク 進捗状況						達成率	56.1%	—	—	—		
いきいき健康長寿教室参加者数(年間) 単位 現状値(R2) 目標値(R6) ウェイト 評価 人/年 12 90 10 単年						実績値	57	—	—	—	コロナ禍で密を避けるために、教室参加者人数を減らして実施しました。	引き続き、参加者人数を減らして対応します。	
達成率 ランク 進捗状況						達成率	63.3%	—	—	—			
いきいき健康長寿教室実施箇所数(年間) 単位 現状値(R2) 目標値(R6) ウェイト 評価 箇所/年 1 2 10 単年						実績値	3	—	—	—	計画通り実施できました。	引き続き取組を推進します。	
達成率 ランク 進捗状況						達成率	150.0%	—	—	—			

取組・指標(PLAN)		実績(DO)											
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)						
⑤在宅医療・介護の連携	・地域の医療介護の現状把握、課題の抽出と対応策の検討を行い、切れ目のない在宅医療と在宅介護の充実が図れるよう提供体制の強化や連携に関する相談や情報提供の支援を行います。 ・また、住民自身が主体的に適切な選択ができるよう在宅医療について地域住民への啓発活動も行って在宅医療・介護への理解を促進していきます。	ランク	D	—	—	—	【介護長寿課】 ・在宅医療・介護を支援する相談窓口を設置し、担当コーディネーター1名を配置しました。 ・切れ目のない在宅医療・在宅介護の充実が図れるよう、入退院支援の手引きや資源リストを作成し、HPページへの掲載、医療、福祉の関係機関へ配布、周知を行いました。 ・また、多職種合同研修の開催、ACPIについて地域への周知活動を実施し、コロナ禍における在宅での支援体制等についてニーズ把握、関係機関との調整に取り組みました。						
		進捗状況	→										
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考
介護支援連携指導実施者数(人口10万人に対する数値)	人/年	158	470	100	単年	実績値	156					医療機関と介護福祉事業所の連携が図られつつあります。しかし、統一的な連携には不十分な状況です。	引き続き取組を推進します。
						達成率	33.2%	—	—	—	—		
						ランク	D	—	—	—	—		
						進捗状況	→						

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	比較的效果があった	内部検証	外部検証
課題	<p>【介護長寿課】</p> <p>①包括センターの拡充・機能強化に関しては、コロナ禍による人手不足により、人材確保が困難との理由から、受託法人の選定が難航しています。地域ケア会議に関しては、地域課題の分類、抽出が出来ていないことが課題となっています。また、入退院支援の手引きを作成していますが、活用している機関にバラツキがあり、関係機関で統一的な活用までには至っていないことが課題となっています。</p> <p>②生きがいづくりは対面活動が主でしたが、コロナ禍で対面活動の難しさを感じています。</p> <p>③事業所指導に向けて、実地指導マニュアルを作成する必要があります。また、介護給付費適正化を図るため、点検件数を増やす必要があります。</p> <p>④交通手段がなく、介護予防事業に通えない高齢者がいます。</p>	<p>・②高齢者の生きがいづくりの支援については、新型コロナの影響でイベント中止となり、進捗が順調でないということと、他の取組では、ほぼ順調であることから、比較的效果があった評価になると考えられます。</p>	<p>・自己評価において、達成度の低い事業などがあり、課題も多いので、評価が適切ではないと考えられます。</p> <p>・市民の健康づくりは、今後の名護市にとって最重要課題であると思うので、市ホームページやSNS、FMラジオ番組などでの普及啓発に予算をかけて取り組んで欲しいと思います。</p> <p>・要介護にならないための介護予防や、若い頃からの健康づくりについては、今後の少子高齢化対策として重要な政策です。健康づくりに関するPRについては、まだ少し足りておらず、ソフト事業についても力点を置いて、いろいろな取組を検討していただければと思います。</p>
対応	<p>【介護長寿課】</p> <p>①今後も受託可能法人との調整を継続し、羽地・屋我地地区への地域型包括支援センターへの委託設置を目指します。地域ケア会議については、ケア会議の機能が果たせるよう、地域型包括、関係機関へケア会議の趣旨、活用方法について周知を図ります。また、地域課題分類ができるよう分類表の作成に取り組むとともに、手引きの内容見直し及び活用促進に向けて周知活動を実施します。</p> <p>②感染対策と並行して生きがいづくり(イベント)を開催します。また、対面活動以外の生きがいづくりを検討します。</p> <p>③事業所指導に向けては、実地指導マニュアルを作成し、実施件数の増加を図ります。介護給付費適正化を図るため、点検件数を増やし、事務処理上の請求誤りと算定要件の解釈について事業所への周知を強化します。</p>	<p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p>	<p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p> <p>・今、子どもたちに対しては給食費無償など良い方向で進められていると思いますが、高齢者に向けた取組や補助等が少ないと感じられます。ミニデイや100日体操などで健康管理を行う方向で進んでいますが、コロナの影響で参加者が増減を繰り返しています。子どもたちに対する取組ももちろん重要ですが、高齢者に向けた対策も考えていただければありがたいと感じています。</p>

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【介護長寿課】</p> <p>・高齢者の生きがいづくりの支援「適切な介護保険事業の運営」については、新型コロナウイルスの感染状況に応じて庁内調整を行い、高齢者の健康があって成り立つという認識のもと、新型コロナウイルスの感染リスクや重症化しやすいと言われている高齢者への感染拡大防止優先の観点から、高齢者向けイベントや事業所への指導・監査については中止判断と実施していません。そのためR3年度達成度は「E」となっていますが、その判断自体は適切であると考えられます。しかしながら、ご助言頂いたとおり自己評価の妥当性については取組の中止によって十分な効果が得られたとは言えないことや、他の具体的取組についてはほぼ順調に取り組めていることも考慮して、「十分な効果があった」から「比較的效果があった」に修正いたします。</p> <p>・事業所への指導については、集団指導のあり方を工夫し、又、新型コロナウイルス対応上、国から通知される介護保険制度や臨時的な取り扱いにかかる通知やその解釈などを市ホームページを活用し事業所へその都度、周知し適正な介護サービス提供に繋げているところですが、一方で取り組めていない課題には期間内の達成に向けて推進していきたいと思っております。</p> <p>・市内コミュニティFMラジオを活用した情報発信は、現在一般介護予防事業において普及啓発に関する予算を確保し、市包括支援センター職員が認知症や運動、社会参加等をテーマに介護予防の普及啓発に取り組んでいます。また、介護予防カレンダーを作成し、市内の高齢者へ配布を行いました。今後は市ホームページ等での普及啓発にも取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>・高齢者への取組については、コロナ禍においても感染対策を講じながら地域で介護予防教室を実施し、元気な高齢者や地域住民が介護予防に関心を持ち、介護予防活動等の担い手として関わられるような取り組みを進めているところです。また、いきいき百歳体操等の住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進していきたいと思っております。</p> <p>また、補助金等の取組については、市内の老人クラブの活動を支援するための補助金交付や、高齢者の社会参加や生きがいづくり推進を目的としたシルバー人材センターに対する補助金交付、住民主体の通いの場の運営に対する助成金事業を実施しており、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>高齢者に向けた新たな取組の実施については、他市の情報収集を行い、本市でも実施可能な取組があれば検討していきたいと考えています。</p> <p>【健康増進課】</p> <p>・市民への健康づくりに関する周知としましては、現在、市ホームページ及び健康だより(年4回発行)などを活用して実施しております。さらに、健診未受診者対策としまして、令和3年度より民間委託による未受診者の分析を行い、その方にあった受診勧奨を年2回ほど実施しております。</p>

基本目標3. 誰もがいきいきと暮らせる支え合いのある地域をつくる【健康・福祉】

基本方針(3) 障がい者(児)への支援



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
①障がい者(児)への理解の促進	障がいのある人もない人も等しく活動できる共生社会の実現を目指し、障がいに関する広報啓発活動や学習、各種行事、地域活動等を通じて、市民の福祉意識を醸成します。						総括	D	—	—	—	【社会福祉課】 ・市広報紙にて合理的配慮や手話に関する記事の掲載、話紹介コーナーの掲載(R3年9月号～)を開始し、啓発を図りました。 ・名城大学看護学科からの依頼により、一部の学生向けに手話に関する講義を実施できました。 ・市民向け手話講座を4クールの開催計画していましたが、コロナ感染拡大防止の影響により、2クールのみの開催となりました。	
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	市民手話講座の参加者数	人/年	26	40	100	単年	15	37.5%	—	—	—	コロナ感染拡大防止の影響により、講座開催数4クールの計画で2クールのみの開催となりました。	感染防止を徹底しつつ、継続していきます。
							達成率	37.5%	—	—	—		
							ランク	D	—	—	—		
							進捗状況	↓					

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
②社会参加・交流促進	障がい者スポーツ大会の実施、各種イベントでの障がい者関係団体の取組紹介・手話通訳者等の派遣などにより、障がい者の社会参加や交流を促進します。 ・障がい者等が、日常生活または社会生活を営むことができるよう、そのニーズを踏まえた受入れ・対応が行える体制を整えます。						総括	E	—	—	—	【社会福祉課】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スポーツ大会等のイベント開催自粛のため、評価できない状況です。	
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	名護市障がい者スポーツ大会の参加者数	人/年	158	160	100	単年	0	0.0%	—	—	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スポーツ大会等のイベントの開催自粛のため、評価できない状況です。	感染状況を確認の上、実施体制の検討します。
							達成率	0.0%	—	—	—		
							ランク	E	—	—	—		
							進捗状況	↓					

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	課題	内部検証	外部検証
あまり効果がなかった	【社会福祉課】 ・手話の普及啓発に関して、市広報紙への記事掲載により講座受講申込者数などで例年に比べ反響があったものの、コロナ感染拡大防止の影響により計画どおり実施できませんでした。	・「計画どおり実施できなかった。」は課題ではなく、今後の方針の「コロナ過でも実施できるよう工夫をすることが必要。」が課題と思われる。 ・今後の方針は、その課題に対し、例えばリモートやHPで動画を配信して手話の講座などできないか検討してはどうでしょうか。	・特になし
【社会福祉課】 ・講座やイベントなどに関して、コロナの影響により中止となるなど、計画どおりに実施できない部分が多々発生しています。これらについて、代替案やコロナ禍でも実施できるよう工夫が必要です。	評価の妥当性・改善に向けた助言	評価の妥当性・改善に向けた助言	

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	【社会福祉課】 ・手話の普及啓発に関して、HPを活用して手話に関する情報を発信していきます。 ・今後の講座やイベント等について、コロナ等により通常開催が困難となる場合には、webを活用するなど代替案を検討します。

基本目標3. 誰もがいきいきと暮らせる支え合いのある地域をつくる【健康・福祉】

基本方針(4) 誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
①地域での支え合いによる福祉の推進	・高齢者等の相談支援をより適切に行えるよう、区福祉推進員、民生委員などの地域の相談員、社会福祉協議会コーディネーター等との連携により、身近な地域での相談体制の推進を進めます。また、高齢者が気軽に相談できるよう包括支援センター等の相談窓口の周知を図ります。 ・地域で暮らす高齢者を含む様々な住民が互いにつながりを持ちながら地域で暮らし続けられるよう、庁舎内関係各課との連携を図ります。 ・現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれがある方への自立を促進するため、生活するうえで困っていることの総合相談窓口相談支援員を配置します。						総括	A	—	—	—	【社会福祉課、介護長寿課、生活支援課】 ・高齢者の相談支援に関しては、毎月1回、地域型包括支援センター・在宅介護支援センター連絡会に社会福祉協議会のコーディネーターも参加し、連携を図っています。地域包括支援センター等の相談窓口の周知に関しては、市民のひろばやホームページに掲載し、周知を図っています。 ・庁舎内関係各課との連携に関しては、「地域包括ケアシステム」をテーマに地域支援ネットワーク会議を開催しました。地域型包括支援センター職員及び庁舎内関係各課職員(社会福祉課、生活支援課、健康増進課、子育て支援課)が参加し、連携を深めることができました。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	民生委員数	人	88	92	30	総計	実績値	93	—	—	—	令和2年度中に県へ民生委員として推薦した1人が令和3年4月1日に委嘱されました。また令和3年度中に4人を県に推薦し、4人委嘱がありました。	区等へ候補者の推薦を依頼します。
	民生委員充足率	%	80.7	84.4	30	単年	実績値	85.3	—	—	—	令和2年度中に県へ民生委員として推薦した1人が令和3年4月1日に委嘱されました。また令和3年度中に4人を県に推薦し、4人委嘱がありました。	区等へ候補者の推薦を依頼します。
民生委員相談件数	件	4,078	4,260	40	単年	実績値	5,151	—	—	—	高齢者に関する相談・支援件数が増加しました。	民生委員協議会との連携を確保します。	

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
②福祉に関する支援体制の充実	・「住みながら地域とともに生きる社会の実現」に寄与する各種事業を実施している名護市社会福祉協議会の運営等を補助します。						総括	A	—	—	—	【社会福祉課】 ・名護市社会福祉協議会運営補助金を交付しています。 ・毎月1回、名護市社会福祉協議会と定例会を持ち、情報交換や連携を図っています。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	地域福祉コーディネーター相談対応件数	件	168	170	100	単年	実績値	528	—	—	—	電話対応、来所対応、訪問対応が増加しました。	社会福祉協議会との連携を確保します。
							実績値	310.6%	—	—	—		

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	課題	内部検証	外部検証
十分な効果があった	【社会福祉課、介護長寿課、生活支援課】 ・庁内関係部局との連携について、複雑化している世帯のケースの対応について、連携が図れていないこともあり、まだまだ連携が不十分な状況です。	・特になし 評価の妥当性・改善に向けた助言	・特になし 評価の妥当性・改善に向けた助言
	【社会福祉課、介護長寿課、生活支援課】 ・包括ケアシステム構築のため、庁舎内関係各課及び地域の関係団体との会議の場を開催し、連携強化を図ります。		

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	・特になし

基本目標3. 誰もがいきいきと暮らせる支え合いのある地域をつくる【健康・福祉】

基本方針(5) 社会保障等の充実



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
①国民健康保険事業の健全な運営と後期高齢者医療保険制度の円滑な運営	・国民健康保険事業の健全な運営を図るため、被保険者の納税によって制度が維持されていることや、自らの健康維持が医療費の抑制につながるなど、国保制度への市民の理解を深める広報活動等に取り組むとともに、国保財政の健全化に向けて取り組みます。 ・沖縄県後期高齢者医療広域連合が運営する後期高齢者医療制度の下で、高齢者の方が安心して医療を受けられるよう支援します。						総括	B	—	—	—	【国民健康保険課】 ・国保制度の広報活動として、当初納付書発送時に「国保税ミニガイド」を同封、被保険者証切り替え発送時に「国保ポケットガイド」「ジェネリック医薬品希望シール」を同封し、国保制度の広報活動を行いました。 ・被保険者証とともに、後期高齢者医療制度についてのパンフレットや、ジェネリック医薬品の案内、限度証・減額証の案内を送付、市民のひろばや健康だよりで広報を行いました。	
	重要業績評価指標(KPI)						進捗状況	→					
	後発医薬品利用率(国保一般)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	%		91.05	91.85	100	単年	90.00	98.0%	—	—	—	後発医薬品を利用した場合の軽減見込額が記載された通知書の発送や被保険者証切り替え発送時にジェネリック医薬品希望シールを同封することにより、目標値に近い値となっています。	継続して取組を推進します。

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
②困窮世帯等への自立支援	・離職・廃業又は休業等で収入減少等により経済的に困窮し、住宅を失う恐れのある方に対し、就労活動を行うことを条件に一定期間、家賃相当額を支給します。 ・住まいがなく、生活に困窮している方に対し、一定期間、宿泊場所や食事を提供します。 ・ひきこもりや長期の休職期間等により、すぐに就労活動等ができない方に対して、就労活動の前段階としてパソコン入力や美文字訓練等を実施します。 ・収支のバランスがあてない方に対し、家計簿をつけさせ収支の視覚化を図り、支出を抑えるための具体的なアドバイスを行います。 ・市内大学の一角を借り、ボランティアの大学生による学習支援教室を実施します。学習支援教室までの送迎を行っており、距離とお金の問題で塾に通えない子らへの支援を担っています。						総括	A	—	—	—	【生活支援課】 ・自立相談支援については、前年度とほぼ横ばいの相談件数となっており、相談内容により「住居確保給付金」、「一時生活支援」、「家計改善支援」、「就労準備支援」の各プログラムを実施することができました。また、各関係機関と調整し、適切な支援先へ繋ぐことができました。 ・住居確保給付金については、支給決定者に対し、支給の遅滞なく適切に給付金を支給することができました。 ・一時生活支援については、宿泊場所を再検討し、コロナ禍でも対応可能な宿泊場所を確保することができました。 ・就労準備支援については、就労準備プログラムのとおり実施することができました。 ・家計改善支援については、収支のバランスを図りながら、支援者に無理のない家計改善計画を示し、計画どおり実行できるようなアドバイスや助言を行うことができました。 ・コロナ禍の中で一定期間、学習支援教室を開催できないこともありましたが、感染症対策を徹底することで、学習支援教室を開催することができました。	
	重要業績評価指標(KPI)						進捗状況	→					
	学習支援教室(ひゅあ)による高校進学率(経常的に学習支援教室に通所できない児童を対象)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	%/年		100.0	100.0	100	単年	100.0	100.0%	—	—	—	令和4年3月末時点では29名中27名の高校進学が決定しており、2名が進路未決定となっていました。卒業後の後追い支援の結果、進路未決定であった2名も進学先が決定しました。	目標値を達成できるよう引き続き支援を行っていきます。

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	課題	内部検証	外部検証
比較的効果があった	【国民健康保険課】 ・国保財政の健全化に向けて、適切な受診を啓発するなど、引き続き医療費の適正化に努めていく必要があります。 【生活支援課】 ・家計改善支援の支援者数が少ない状況にあります。積極的に支援に繋げる工夫を行っていますが、当該支援は困窮状態の改善に対して遅延的な支援メニューとなっているため、本人の同意が得られにくいといった点があります。	・特になし 評価の妥当性・改善に向けた助言	・困窮世帯等への自立支援に関して、2名の進路未決定者についても、卒業後の後追い支援の結果、進学先が決定したとあるので、R3年度の実績値を100%として評価をAとしてはいかがでしょうか。
対応	【国民健康保険課】 ・国保及び後期高齢保険については、引き続き、市民の理解を深めるための広報活動等に取り組む必要があります。 【生活支援課】 ・制度の周知徹底と丁寧な制度説明を行います。また、同意前の支援で当事者の寄り添った支援を行うことで信頼関係を築き、同意が得られやすい関係を構築します。		

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	【生活支援課】 ・困窮世帯等への自立支援のKPIについて、ご助言を踏まえて実績値を下記のとおり修正します。 ●修正前:実績値93% ●修正後:100%

基本目標4. 安心して子育てができる環境をつくる【子育て・教育】

基本方針(1) 児童・子育て家庭への支援



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)																																				
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)																															
①子どもの居場所づくり	・児童の安全・安心な居場所を確保するため、地域の実情をふまえた小学校区ごとの放課後児童クラブの設置に取り組むとともに、放課後児童クラブへの支援の充実を図ります。また、放課後児童クラブを利用する保護者の経済的負担軽減を図ります。 ・安全で清潔な居場所において、管理者の監督のもと、自活する力を養う食育活動、基礎的な生活習慣の指導、学習支援を通じた学習意欲の定着を目指した支援、職場体験や芸術活動等の学習体験を通じたキャリア形成等支援活動などを実施します。こどもの居場所の運営費等の補助を行います。 ・地域の方々の参加・協力を得ながら、小学校の余裕教室や地域の公民館等を活用した「子どもの家」事業を推進します。 ・子どもから高齢者までが集い、多世代交流を可能にする複合施設の整備を行います。また、施設の整備完了までの間は、労働福祉センターにて子どもの居場所を提供し、切れ目ない支援体制を継続します。						総括	A	—	—	—	【生活支援課】 ・コロナ禍の中、学習支援教室(くにむとや〜)を閉鎖することなく開催することができました。 ・学習支援教室では食育活動、生活指導、学習支援、キャリア形成支援、送迎支援を実施し、年間264日の開催と延べ2,323名の利用者数となりました。 ・また、市の補助金を活用した子どもの居場所を1箇所設置することができました。 【子育て支援課】 ・放課後児童健全育成事業については、「第2期名護市子ども・子育て支援事業計画」に則り定員数の拡充を進めています。計画の中間年にあたる今年度は実情と乖離がないかニーズ調査が必要です。 ・保護者の負担軽減については、放課後児童クラブへの運営補助金の適正運用を促しつつペースアップを行っています。 【地域力推進課】 ・子どもの家事業については、コロナ禍で活動が困難な箇所もありましたが、子どもの居場所を確保する事業は保護者等からも切望されていることもあり、サポーターの皆さんに協力を求め、可能な限り開所し事業実施を図りました。																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標(KPI)</th> <th>単位</th> <th>現状値(R2)</th> <th>目標値(R6)</th> <th>ウエイト</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後児童健全育成事業・定員数</td> <td>人/年</td> <td>758</td> <td>905</td> <td>25</td> <td>単年</td> </tr> <tr> <td>学習支援教室(くにむとや〜)の延べ参加人数</td> <td>人/年</td> <td>754</td> <td>754</td> <td>25</td> <td>単年</td> </tr> <tr> <td>こどもの居場所の箇所数</td> <td>箇所/年</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>25</td> <td>単年</td> </tr> <tr> <td>子どもの家箇所数</td> <td>箇所</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>単年</td> </tr> </tbody> </table>						重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	放課後児童健全育成事業・定員数	人/年	758	905	25	単年	学習支援教室(くにむとや〜)の延べ参加人数	人/年	754	754	25	単年	こどもの居場所の箇所数	箇所/年	5	8	25	単年	子どもの家箇所数	箇所	14	20	25	単年	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価																																					
	放課後児童健全育成事業・定員数	人/年	758	905	25	単年																																					
	学習支援教室(くにむとや〜)の延べ参加人数	人/年	754	754	25	単年																																					
こどもの居場所の箇所数	箇所/年	5	8	25	単年																																						
子どもの家箇所数	箇所	14	20	25	単年																																						
						実績値	813				1クラブ減、1クラブ増であるが定員数は増加しました。	継続して取組を推進します。																															
						達成率	89.8%	—	—	—																																	
						ランク	B	—	—	—																																	
						進捗状況	→																																				
						実績値	2,323				コロナ禍の影響もありましたが、学習支援教室の開催を中止することなく常時開催することができました。	感染対策を徹底しながら引き続き取組を推進します。																															
						達成率	308.1%	—	—	—																																	
						ランク	A	—	—	—																																	
						進捗状況	↑																																				
						実績値	6				市の補助金を活用する子どもの居場所を1カ所を設置することができました。1年度で1箇所を増やすペースで目標値の達成を図りたいと思います。	引き続き取組を推進します。																															
						達成率	75.0%	—	—	—																																	
						ランク	C	—	—	—																																	
						進捗状況	↗																																				
						実績値	12				コロナ禍における開所不可箇所が発生しました。	感染対策を講じ可能な限り開所してもらえよう促進します。																															
						達成率	60.0%	—	—	—																																	
						ランク	C	—	—	—																																	
						進捗状況	→																																				

取組・指標(PLAN)							実績(DO)																		
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)													
②子育て家庭、児童への支援	・妊産婦等の実情把握を継続的にを行い、妊娠・出産・育児に関する相談に応じ、必要な情報提供や助言、保健指導を実施します。また、保健、医療または福祉の関係機関との連携調整を行います。 ・必要に応じて支援プランを作成し、地域の実情に応じた母子保健・子育て支援体制づくりを推進します。 ・産後ケア事業を通して、心身の不調や育児不安等の支援が必要な産婦や乳児に対し、助産師等専門職のケアを受けることで子育て支援の充実を図ります。						総括	B	—	—	—	【健康増進課】 ・妊娠届出・母子手帳交付を機に、妊産婦や乳幼児の実情を電話・来所相談や家庭訪問、健康診査等で継続的に把握し、必要な保健指導・情報提供ができました。 ・産後ケア事業を開始しました。心身の不調だけでなく、授乳が上手くいかないことで育児不安となっている方の利用も多くなりました。産婦の心身の状態に合わせたセルフケアの指導が実施できました。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標(KPI)</th> <th>単位</th> <th>現状値(R2)</th> <th>目標値(R6)</th> <th>ウエイト</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母子健康包括支援センター相談支援件数</td> <td>件/年</td> <td>449</td> <td>1,000</td> <td>100</td> <td>単年</td> </tr> </tbody> </table>						重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	母子健康包括支援センター相談支援件数	件/年	449	1,000	100	単年	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価																			
	母子健康包括支援センター相談支援件数	件/年	449	1,000	100	単年																			
							実績値	842				妊娠・出産の身体の変化だけでなく、生活の変化に応じた相談(仕事・家事育児の支援者の有無、経済面、サービス利用等)の相談にも対応できました。	継続して取組を実施します。												
						達成率	84.2%	—	—	—															
						ランク	B	—	—	—															
						進捗状況	→																		

取組・指標(PLAN)							実績(DO)																								
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)																			
③保育サービス及び保育環境の充実	・延長保育事業、一時預かり事業等、多岐にわたる保育ニーズへの対応や、待機児童解消に向け、名護市保育士等緊急確保事業等の保育士確保事業、小規模保育事業所等の整備等の実施、保育士正規雇用化促進事業等により保育サービス及び保育環境の充実を図ります。						総括	B	—	—	—	【保育幼稚園課】 ・新型コロナウイルスの影響により、保育サービスの利用控えがあり、数値上はBランクとなっています。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標(KPI)</th> <th>単位</th> <th>現状値(R2)</th> <th>目標値(R6)</th> <th>ウエイト</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長保育促進事業(延長保育事業利用者見込み)</td> <td>人/年</td> <td>1,317</td> <td>1,035</td> <td>50</td> <td>単年</td> </tr> <tr> <td>一時保育延べ利用者数(幼稚園含む)</td> <td>人/年</td> <td>26,254</td> <td>42,938</td> <td>50</td> <td>単年</td> </tr> </tbody> </table>						重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	延長保育促進事業(延長保育事業利用者見込み)	人/年	1,317	1,035	50	単年	一時保育延べ利用者数(幼稚園含む)	人/年	26,254	42,938	50	単年	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価																									
	延長保育促進事業(延長保育事業利用者見込み)	人/年	1,317	1,035	50	単年																									
	一時保育延べ利用者数(幼稚園含む)	人/年	26,254	42,938	50	単年																									
						実績値	1,164				令和2年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響とみられる利用者の減少がありました。	継続して取組を実施します。																			
						達成率	112.5%	—	—	—																					
						ランク	A	—	—	—																					
						進捗状況	→																								
						実績値	26,263				新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者が伸びませんでした。	継続して取組を実施します。																			
						達成率	61.2%	—	—	—																					
						ランク	C	—	—	—																					
						進捗状況	→																								

取組・指標(PLAN)						実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容					総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
④児童虐待やDVの防止と適切な支援	・子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、実情の把握、情報の提供、相談等への対応、関係機関との連絡調整その他の必要な支援を行うため、子ども家庭総合支援拠点を整備し運営します。					ランク	B	—	—	—	【子育て支援課】 ・児童福祉法の改正に伴い、令和4年度は体制整備を行います。新規の相談件数も伸びているため、ニーズは高い状況にあります。	
						進捗状況	→					
						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
						実績値	8,449				令和4年度に子ども家庭総合支援拠点の整備を行い体制を整えています。新規相談件数も増加しており、ニーズが高い状況にあります。	継続して取組を実施します。
重要業績評価指標(KPI)		単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	達成率	ランク	進捗状況			
子ども家庭総合支援拠点 対応件数		件/年	7,000	8,500	100	単年	99.4%	B	→			

■評価結果と妥当性の検証

自己評価			内部検証			外部検証		
評価	比較的效果があった		評価の妥当性	改善に向けた助言		評価の妥当性	改善に向けた助言	
課題	<p>【健康増進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子包括支援センターが認知されることで、相談件数の増加が予想され、それに対応する人員不足(専門職不足)が課題となります。 <p>【生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習支援教室の支援スタッフの経常的な確保が必要です。 居場所運営に対する市の補助金活用が当たって、申請条件に合致する団体が少ない状況にあります。 <p>【子育て支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画どおりに進んでいますが、実情と乖離がないかニーズ調査が必要です。 <p>【保育幼稚園課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの動向により、目標としている需要の推測が困難な状況にあります。 新型コロナウイルスの影響により、一時預かり保育事業(一般型)の実施設がありませんでした。 <p>【地域力推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でも事業が実施展開できるよう工夫や対策を検討する必要があります。 		<p>基本目標の数値目標である合計特殊出生率・出生数の向上に、保育サービス・環境の充実に関する取組が繋がっているのかを計るためには、KPIに待機児童に関する指標があった方が、より適切に評価できるのではないのでしょうか。</p> <p>現在のKPIにおいて具体的取組(事業)を追加するのか、目標値自体を追加し、評価に関する記載の中で進捗管理を行っていくのか、個別の案件に応じて検討する必要があります。</p> <p>①子どもの居場所づくりにて、零細規模の事業者の経営統合等による組織規模の拡大・強化により経営体制を強化することによって、補助金の適正運用を図り、保護者負担の軽減につなげられるのではないのでしょうか。</p> <p>関係機関との連携について 個別事例の連携に加え、関係部署との定期的な会議(課題の共有・対応策の検討)が必要ではないのでしょうか。</p>		<p>子どもと関わる保育士や支援者が、子どもとその家族との関わりの中で困難感を抱えていることもあるので、それらへの対応も必要ではないでしょうか。</p> <p>補助金の不正受給に関する事案があったため、令和4年度以降の監査体制等を強化して取り組んで欲しいと思います。</p>			
対応	<p>【健康増進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、相談に対する対応を実施していきたいと思えます。 <p>【生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援スタッフを雇用するための予算確保に向けて検討します。 市の補助金に関して、市の広報等や支援員を通じた情報発信により引き続き、掘り起こしを行っていきます。 <p>【子育て支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後児童健全育成事業については、第2期名護市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しによるニーズ調査を行いクラブの適正数を把握し必要に応じて増クラブ等についてすすめていきます。 また、補助金の適正運用について、毎月の会計報告とともに中間監査等を実施し、保護者の負担軽減につなげていきます。 <p>【保育幼稚園課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時預かり保育事業(一般型)を公立の緑風こども園で実施することについて、検討を行います。 その他事業の進捗については概ね順調であるため、継続実施に努めていきます。 <p>【地域力推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での事業実施方法を模索します。 		<p>評価の妥当性</p> <p>改善に向けた助言</p>		<p>評価の妥当性</p> <p>改善に向けた助言</p>			

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【保育・幼稚園課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士が子どもや保護者との関係で悩み事を抱えた場合は、保育園の主任保育士(主幹保育教諭)や園長に相談し、問題を解決していくことになります。それでも悩みが解決しない場合、例えば保育園の方針や上司と考えが合わないなどが考えられますが、沖縄県の委託先であるNPO法人の沖縄県保育士・保育所総合支援センターにおいて実施しています。保育士や保育園向けの相談支援事業を利用することもできます。市の独自の取組としては、保育士向け研修の案内・実施や、特別支援に係る専門員を配置し、当該専門員による保育園の巡回指導により、保育士の支援を行っています。 <p>・待機児童数については、KPIを新たに追加するのではなく、振り返りの欄等で下記の例のように毎年進捗を記載します。</p> <p>【4月1日時点の待機児童数】</p> <p>現状値(R2年):82人、目標値(R6年):0人 実績値(R3年):65人、達成率:20.7% ※達成率算出式(実績値-現況値)÷(目標値-現況値)</p> <p>【子育て支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該補助金の適正運用については、令和3年度より毎月の会計報告を提出してもらっているところ。令和4年度以降は、毎月の報告書を滞りなく提出するとともにその中身をしっかりと精査したうえで概算払いの2回目(12月)の支給をすることとしています。

基本目標4. 安心して子育てができる環境をつくる【子育て・教育】

基本方針(2) 家庭教育と幼児教育の充実



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)		実績(DO)											
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)						
①家庭や地域の教育力の向上	・毎年1月の教育月間において、教育関連講演会・イベントを開催し、市民の教育に対する意識と関心を高めます。 ・1月第3日曜日の「名護市教育の日」の周知を行います。 ・地域において主体的に家庭教育支援に取り組めるよう地域家庭教育支援チームの設置を図ります。 ※地域家庭教育支援チームとは、各地域において地域人材が主体となり、家庭教育に関する学びや交流の機会の提供を行います。	総括	E	—	—	—	【教育委員会総務課】 ・市民のひろば、ホームページ及び名護市市民会館・名護市当市場の大型電光掲示板を活用し周知しました。 ・各種関連事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。 ・教育の日の実施に当たって、社会教育団体等(33団体)へ協賛依頼し、連携を図りました。 ・教育功労者表彰及び児童生徒等表彰については、被表彰者同意を得たうえで、氏名を市民のひろばへ掲載しました。 【学校教育課】 ・家庭教育の講座等を企画・開催し人材の発掘と育成をし地域家庭教育支援チームの設置に向け取り組んできましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で講座等の企画が少ないなか、1チームの設置につなげました。						
		進捗状況	→										
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	地域家庭教育支援チーム設置数(累計)	チーム	1	13	90	累計	実績値 達成率 ランク 進捗状況	2 8.3% E →	- - - -	- - - -	- - - -	コロナ禍で思うような活動ができないなかではありましたが、新規で地域家庭教育支援チームの立ち上げができました。	コロナ禍でできる活動を模索し引き続き推進します。
教育の日関連イベントの参加者数	人/年	253	600	10	単年	実績値 達成率 ランク 進捗状況	0 0.0% E ↓	- - - -	- - - -	- - - -	新型コロナの影響により、教育の日関連イベントがすべて中止となりました。	感染症対策に留意した形でのイベントの開催を模索します。	

取組・指標(PLAN)		実績(DO)											
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)						
②幼児教育の充実	・市内の全保育者対象の研修会、専門指導員や外部講師等による保育参観及び保育研究会を行い、教育・保育の質の向上を図ります。 ・市内の全保育者対象の特別支援教育研修会を行い、特別な配慮を要する園児の指導内容や指導方法について理解を深めるなど、保育者の特別支援教育に関する資質向上を図ります。 ・市内幼稚園は、臨床心理士や作業療法士等の外部講師による訪問指導や保護者面談を、また、保育施設においては専門指導員による訪問観察や保護者面談を行い、専門機関と連携を図りながら特別な配慮を要する園児の個々の状態や発達の段階に応じた支援を充実させていきます。 ・ことばの発達が気になる未就学児に対し、個人指導や集団行動、相談指導を行い、発音の改善や成長を援助します。	総括	B	—	—	—	【子育て支援課】 ・コロナ感染拡大の影響で、R2年度は11日の開所でありましたが、R3年度は56日の開所と大幅に増加しました。 ・ことばの教室の開所期間中は指導延数、教育相談数が減少しましたが、電話相談で対応しました。今後感染防止を徹底しつつ安定的な開所を目指します。 【保育・幼稚園課】 ・市内の全保育施設(37園)からの参加率が78%でした。コロナ感染拡大の影響の中ではありましたが、ほとんどの研修会が実施できました。また、感染拡大防止の為、オンライン研修を実施しました。回を重ねる毎にオンラインの研修会への参加もスムーズになりましたが、初期は接続の不具合が出たり、出席確認、講師との打ち合わせ等に課題が見られました。次年度オンライン研修を行う場合の課題解決を行いたいと思います。						
		進捗状況	→										
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	就学前施設の研修への参加率	%	84.0	100.0	50	単年	実績値 達成率 ランク 進捗状況	78.0 78.0% C →	- - - -	- - - -	- - - -	コロナの影響で参集型の研修会は実施できずオンラインで行いました。各施設によりオンラインの接続状況や感染症教が異なるため施設数への影響がありましたが、一つのパソコンで複数人が参加する園もあることからコロナ禍での研修としては効果があったと思われます。	・早めの周知と感染症対策の徹底を行います。
幼児ことばの教室 実施箇所数	箇所	1	1	50	総計	実績値 達成率 ランク 進捗状況	1 100.0% A ↓	- - - -	- - - -	- - - -	コロナの影響でR3/8/24からR3/9/30までの26日間と、R4/1/7からR4/2/21までの30日間休所しました。	感染防止を徹底しつつ安定的な開所を目指します。	

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	比較的效果があった	内部検証	外部検証
課題	<p>【教育委員会総務課】 教育の日の周知については、例年通り行うことができましたが、より効果的な周知方法について、引き続き検討が必要です。</p> <p>【学校教育課】 コロナ禍において、講座等の企画が少ない状況にありました。</p> <p>【子育て支援課】 ・新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言が発令されたため、感染症拡大防止の観点から56日間閉所としました。 ・外部環境により閉所になる場合があります。</p> <p>【保育・幼稚園課】 ・研修方法として1度だけオンラインと対面のハイブリッド研修を実施しましたが、担当職員だけでは対応ができませんでした。(教育委員会に協力してもらいました)</p>	<p>・「教育の日」の周知については、これまでの方法以外も検討する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>・関連事業がコロナ禍で中止となりますが、リモート等での実施を検討する必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>・「市内の保育者向け研修」について、コロナの影響によるハイブリッド化の対応をした結果、参加者へのアンケートで「役に立った」という意見が多かったことから、狙った取組の効果がある程度確保されたことを確認している点が評価できると思います。</p> <p>・「市内の保育者向け研修」の評価指標が「研修への参加率」となっています。参加するだけの評価ではなく質的な部分での評価方法を検討できないでしょうか。</p>	<p>・幼児教育の充実に関して、保育者等対象の研修会の内容について、現場の保育士からの研修内容の要望も取り入れてははいかがでしょうか。</p>
対応	<p>【教育委員会総務課】 今後も、各家庭や地域において「教育の日」の周知徹底に努めるとともに、イベントの開催方法については、より多くの方に参加いただけるよう会場、来場者参加型のイベントを検討していきます。</p> <p>【学校教育課】 コロナ禍でできる取組を模索し活動を前へ進めます。</p> <p>【子育て支援課】 ・緊急事態宣言等で閉所となった場合は、引き続き電話相談を強化します。</p> <p>【保育・幼稚園課】 ・市内の保育者向け研修について、今後回数を増やして実施していきます。開催方法については、コロナウイルス感染症の影響を確認しながらではありますが、広い会場でできる限り対面での開催をしていきます。(コロナの影響が大きい時期にはオンラインで開催) ・研修後のアンケートでも「役に立った」という意見が多く今後も継続していきたいと思えます。</p>	<p>評価の妥当性 ・改善に向けた助言</p>	<p>評価の妥当性 ・改善に向けた助言</p>

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【保育・幼稚園課】 ・研修後の参加者アンケート結果や保育園等との情報交換における研修内容に関する要望などを参考に、次年度の研修内容について検討していきます。</p>

基本目標4. 安心して子育てができる環境をつくる【子育て・教育】

基本方針(3) 青少年の健全育成



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)																																																										
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)																																																					
①青少年の健全育成に向けた取組の充実	・市民がよりよい生活リズムの確立を図る中で、「青少年の深夜はいかい防止・未成年者飲酒防止」の決意表明をし、夜型社会の是正を大人自らが実践しつつ、「少年を守る日」「家庭の日」を中心に関係機関・団体と連携した市民一斉行動の推進を図るべく意識啓発活動を展開します。 ・学校や地域、関連部局との連携のもと、有害図書販売店や遊技場への立ち入り調査や「夏祭り・さくら祭り夜間街頭指導」、毎月第3金曜日「少年を守る日」のハトロール等を行い、青少年犯罪防止活動の推進を図ることで、青少年の健全育成に取り組みます。 ・名護市青少年育成協議会と各支部青少協との連携及び地域における関連機関等との連携による事業実施を支援します。						総括					R3年度 取組(ふりかえり)																																																					
							ランク	D	—	—	—	【屋部支所】 ・家庭・地域・屋部地区3校及び関係団体が相互に連携、情報共有し青少年の健全育成を図りました。 【久志支所】 ・青少協久志支部では、コロナウイルス感染拡大の影響により、スポーツ交流会や青少年育成者実践発表会は中止になりましたが、コロナウイルス感染防止対策を取りながら、図画・書道展や市制50周年事業、文集「まごころ」の発行を行うことができました。 【地域力推進課】 ・市民一斉行動は令和2年度から参集形式の大会を取りやめ、市公式YouTubeチャンネルでの動画配信や市内ラジオ局等メディアを活用して発信型の意識啓発活動を展開しています。令和3年度もコロナ禍でしたが、執行できました。 ・立ち入り調査である社会環境実態調査は実施しました。 ・青少協事業としては、少年の主張大会はビデオ審査実施と工夫して執り行いました。リーダー研修は緊急事態宣言等の発布により、実施不可でした。善行青少年等表彰事業は実施しました。																																																					
							進捗状況	→																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標(KPI)</th> <th>単位</th> <th>現状値(R2)</th> <th>目標値(R6)</th> <th>ウエイト</th> <th>評価</th> <th>個別</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>備考</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年健全育成市民一斉行動意識啓発動画視聴回数(延べ)</td> <td>回/年</td> <td>259</td> <td>1,459</td> <td>100</td> <td>単年</td> <td>実績値 527 達成率 36.1%</td> <td>527</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>市民一斉行動の浸透をどのように高めるかや配信動画企画内容検討の必要があります。</td> <td>PR方法と企画内容を検討します。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ランク D</td> <td>D</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>進捗状況 →</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応	青少年健全育成市民一斉行動意識啓発動画視聴回数(延べ)	回/年	259	1,459	100	単年	実績値 527 達成率 36.1%	527	—	—	—	市民一斉行動の浸透をどのように高めるかや配信動画企画内容検討の必要があります。	PR方法と企画内容を検討します。							ランク D	D	—	—	—									進捗状況 →	→												
重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応																																																					
青少年健全育成市民一斉行動意識啓発動画視聴回数(延べ)	回/年	259	1,459	100	単年	実績値 527 達成率 36.1%	527	—	—	—	市民一斉行動の浸透をどのように高めるかや配信動画企画内容検討の必要があります。	PR方法と企画内容を検討します。																																																					
						ランク D	D	—	—	—																																																							
						進捗状況 →	→																																																										
②地域の子どもは地域で育てる	・地域の方々の参加・協力を得ながら、小学校の余裕教室や地域の公民館等を活用した「子どもの家」事業を推進します。 ・「子どもの家」事業を担う地域人材の発掘や資質向上のための研修会等の機会提供を実施します。						総括					R3年度 取組(ふりかえり)																																																					
							ランク	C	—	—	—	【地域力推進課】 ・コロナ禍で活動が困難な箇所もありましたが、子どもの居場所を確保する事業は保護者等からも切望されていることもあり、サポーターの皆さんに協力を求め、可能な限り開所し事業実施を図りました。																																																					
							進捗状況	→																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標(KPI)</th> <th>単位</th> <th>現状値(R2)</th> <th>目標値(R6)</th> <th>ウエイト</th> <th>評価</th> <th>個別</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>備考</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもの家箇所数(再掲)</td> <td>箇所</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>100</td> <td>単年</td> <td>実績値 12 達成率 60.0%</td> <td>12</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>コロナ禍により、開所不可箇所が発生しました。</td> <td>感染対策を講じ可能な限り開所してもらえよう促進します。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ランク C</td> <td>C</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>進捗状況 →</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応	子どもの家箇所数(再掲)	箇所	14	20	100	単年	実績値 12 達成率 60.0%	12	—	—	—	コロナ禍により、開所不可箇所が発生しました。	感染対策を講じ可能な限り開所してもらえよう促進します。							ランク C	C	—	—	—									進捗状況 →	→												
重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応																																																					
子どもの家箇所数(再掲)	箇所	14	20	100	単年	実績値 12 達成率 60.0%	12	—	—	—	コロナ禍により、開所不可箇所が発生しました。	感染対策を講じ可能な限り開所してもらえよう促進します。																																																					
						ランク C	C	—	—	—																																																							
						進捗状況 →	→																																																										
③体験学習等の推進による人材育成事業の充実	・次代を担う青少年が市周辺の自然・歴史・文化に触れるとともに、異年齢や同世代の仲間と一緒に活動する「リーダー研修」を通じて、協調性、コミュニケーション力、あらゆることへの興味・関心、意欲を高め、自ら行動できる人材育成を行います。 ・地域、各団体及び学校と連携し、青少年の人材育成を支援します。						総括					R3年度 取組(ふりかえり)																																																					
							ランク	E	—	—	—	【屋部支所】 ・コロナ禍においてスポーツ大会等の事業が開催できませんでした。 【久志支所】 ・二見以北地域森林体験事業(名護市子ども夢基金)を活用し緑風学園の総合学習支援を中心に地域の自然、歴史文化等の体験学習を実施しました。																																																					
							進捗状況	↓																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標(KPI)</th> <th>単位</th> <th>現状値(R2)</th> <th>目標値(R6)</th> <th>ウエイト</th> <th>評価</th> <th>個別</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>備考</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふるさと・未来・絆リーダー研修の参加者の実施前と実施後アンケートによる意識変容度</td> <td>%</td> <td>—</td> <td>100.0</td> <td>100</td> <td>単年</td> <td>実績値 0.0 達成率 0.0%</td> <td>0.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>事業実施不可のため実績なしとなります。</td> <td>次年度以降事業実施に向けて企画を検討します。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ランク E</td> <td>E</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>進捗状況 ↓</td> <td>↓</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応	ふるさと・未来・絆リーダー研修の参加者の実施前と実施後アンケートによる意識変容度	%	—	100.0	100	単年	実績値 0.0 達成率 0.0%	0.0	—	—	—	事業実施不可のため実績なしとなります。	次年度以降事業実施に向けて企画を検討します。							ランク E	E	—	—	—									進捗状況 ↓	↓												
重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応																																																					
ふるさと・未来・絆リーダー研修の参加者の実施前と実施後アンケートによる意識変容度	%	—	100.0	100	単年	実績値 0.0 達成率 0.0%	0.0	—	—	—	事業実施不可のため実績なしとなります。	次年度以降事業実施に向けて企画を検討します。																																																					
						ランク E	E	—	—	—																																																							
						進捗状況 ↓	↓																																																										

■評価結果と妥当性の検証

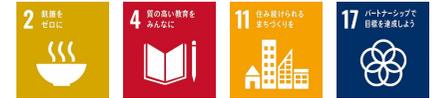
自己評価		検証(CHECK)		外部検証	
評価	比較的效果があった	内部検証		外部検証	
課題	<p>【久志支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二見以北地域森林体験事業これまでは緑風学園を中心とした事業となっており、今後は久辺小・中学校での実施も検討する必要があります。 <p>【地域力推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民一斉行動意識啓発については、コロナ禍でも実施できる体制は確立できましたが、浸透させるためのPRに関しては方法を検討していく必要があります。 ・コロナ禍でも事業が実施展開できるよう工夫や対策を検討する必要があります。 	<p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成率について計算上マイナスが出るのは仕方がないですが、「マイナスの結果について問題ないと評価して良いのか」ということと、「なぜマイナスが出て今後どう対応していくのか」について、評価の部分で明確にしておく必要があります。 ・今後、事業の選択・集中がより求められていくなかで、自らの業務の振り返りが重要ではないでしょうか。 ・最終目標の設定はされていますが、計画書上は毎年度の目標設定がないことで、指標によっては効果の現れ方に違いがあり、進捗状況や達成見込みが見えづらい場合があります。必要に応じて自己評価の中で記載することなども考えられます。 	<p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価において、達成度の低い事業などがあり、課題も多いので、評価が適切ではないと考えられます。 		
対応	<p>【久志支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二見以北地域森林体験事業を久辺小・中学校でも実施していきます。 <p>【地域力推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民一斉行動意識啓発のPR方法を模索します。 ・コロナ禍での事業実施方法を模索します。 				

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【地域力推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成度は令和6年度までの累積値となっているため、現況実績は低い積算となっております。コロナ禍において事業を執行する新規手法・体制が確立できたことをポイントに評価しております。 <p>【久志支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久志支所での取り組みは、コロナの影響で回数が半分になったこと、事業が緑風学園のみで行われており、今後は久辺小・中学校でも取組を広げていくという伸びしろの部分で自己評価は低くなりましたが、令和3年度の事業自体は、地域の自然体験をとおして効果的な事業を実施することができ、比較的效果があったとしています。

基本目標4. 安心して子育てができる環境をつくる【子育て・教育】

基本方針(4) 学校教育の充実



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
①学校教育内容の充実	・児童生徒に、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育むため、各種支援員と連携を図りながら、学びの一貫性を意識した授業改善を軸に取組の充実を図り、地域の将来の担い手となる人材の育成に努めます。 ・すべての児童生徒が安全・安心に学校生活を送れるように、特別に配慮を要する児童生徒の個々の状態や発達の段階に応じた支援を充実させていきます。 ・「名護市教育情報化推進計画」に基づき、児童生徒に多様な学習機会を設け、学ぶ意欲を高めるため、児童生徒の学習用端末を活用した学習活動を展開するGIGAスクール構想の充実を図ります。 ・教職員の校務等に係る負担軽減を図り、児童生徒に向き合う時間を確保するため、統合型校務支援システムの導入を図ります。 ・各課等の連携を図りながら、キャリア教育をとおして名護市の将来の担い手となる人材の育成を図ります。	総括					R3年度 取組(ふりかえり)							
		ランク	D	—	—	—	【学校教育課】 ・各種支援員と連携を図りながら、学びの一貫性を意識した授業改善を軸に取組の充実を図り、地域の将来の担い手となる人材の育成に努めました。 ・特別に配慮を要する児童生徒の個々の状態や発達の段階に応じた支援を行いました。 ・「名護市教育情報化推進計画」に基づき、GIGAスクール構想の充実を図りました。 ・統合型校務支援システムの試験導入を図りました。 ・各課等の連携を図りながら、キャリア教育をとおして人材の育成を図りました。							
		進捗状況	→											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		沖縄県学力到達度調査(中2)における平均正答率(県と市の差) 国語	ポイント	3.6	0.0	15	単年	実績値 3.0 達成率 16.7%	3.0 16.7%	—	—	—	予定どおり進捗しています。	引き続き取組を進めていきます。
		沖縄県学力到達度調査(中2)における平均正答率(県と市の差) 数学	ポイント	4.1	0.0	15	単年	実績値 5.0 達成率 -22.0%	5.0 -22.0%	—	—	—	予定より差が開いたものの、大きな差ではない状況です。	引き続き取組を進めていきます。
		自分にはよいところがあると答えた児童生徒の割合(自己肯定感)	%	77.0	81.4	14	単年	実績値 77.0 達成率 94.6%	77.0 94.6%	—	—	—	予定どおり進捗しています。	引き続き取組を進めていきます。
		将来の夢や目標をもっていると答えた児童生徒の割合	%	74.9	80.0	14	単年	実績値 76.0 達成率 95.0%	76.0 95.0%	—	—	—	予定どおり進捗しています。	引き続き取組を進めていきます。
		授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと答えた児童生徒の割合(学習意欲)	%	80.2	83.0	14	単年	実績値 80.0 達成率 96.4%	80.0 96.4%	—	—	—	予定どおり進捗しています。	引き続き取組を進めていきます。
		支援員の配置や校務支援システムの導入により業務が軽減され児童生徒と向き合う時間が増えた教員の割合	%	—	80.0	14	単年	実績値 0.0 達成率 0.0%	0.0 0.0%	—	—	—	支援員の配置及び校務支援システムの試行は導入済みです。教職員向けアンケートは未実施です(校務支援システムの導入期間が短く、効果測定が困難なため、令和3年度は未実施、令和4年度は実施予定)	引き続き取組を進めていきます。
	「名護市教育情報化推進計画」に基づく整備の進捗率	%	86.0	94.0	14	総計	実績値 91.0 達成率 62.5%	91.0 62.5%	—	—	—	予定どおり進捗しています。	引き続き取組を進めていきます。	

取組・指標(PLAN)		実績(DO)											
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)						
②地域とともにある学校づくり	・市立全小中学校においてコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を推進し、「学校・家庭・地域連携事業」の充実を図り、地域とともにある学校づくりを進めます。 ・コミュニティ・スクールを通して、地域資源や地域人材等との関わりを創出し児童生徒に地域・社会の担い手としての意識を醸成します。	総括					R3年度 取組(ふりかえり)						
		ランク	C	—	—	—	【学校教育課】 ・市立全小中学校に学校運営協議会の設置に向け取り組み、地域とともにある学校づくりを進めました。 ・職業人講話をはじめ様々な地域人材等と学校の関わる機会の創出を図りました。						
		進捗状況	→										
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	市立小中学校コミュニティ・スクール導入率	%	34.0	100.0	50	総計	実績値 76.0 達成率 63.6%	76.0 63.6%	—	—	—	予定どおり進捗しています。	引き続き取組を進めていきます。
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると答えた児童生徒の割合	%	50.3	60.0	50	単年	実績値 52.0 達成率 86.7%	52.0 86.7%	—	—	—	予定どおり進捗しています。	引き続き取組を進めていきます。

基本目標5. 楽しみのあるまちづくりによって人々の繋がる場をつくる【文化・交流、関係人口、人権・多様性】

基本方針(1) 社会教育の充実



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
①地域活動の支援	・女性会・青年会・子ども会等の社会教育団体については、時代に対応した組織のあり方や活動の内容について、各団体とともに考え、活動の活性化を支援します。 ・支所は、地域の拠点施設としての役割も担っており、各社会教育団体のニーズを把握し、活動を支援するとともに、他団体との連携体制を構築し、地域活動の拡充に取り組みます。						総括	B	-	-	-	【羽地支所】 ・各支所において、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図り、人数制限、オンラインなど工夫を凝らして青少年育成協議会支部活動の支援を行いました。 【屋部支所】 ・コロナ対策の上、青少年育成協議会屋部支部の各種会議の開催支援を行いました。 【久志支所】 ・新型コロナウイルスの影響により各種団体の事業を実施することができませんでした。 【地域力推進課】 ・各社会教育団体においては、コロナ禍で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発布により、活動の制限が続いたり、企画自体が困難な状況でした。そのような中でも動き続けるために、内容を模索し、工夫して対策を取りながら活動ができるよう指南・支援を行いました。 ・団体への指導者研修については、上記のとおりコロナ禍での動きの制限があったため、実施できませんでした。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	市女性会会員数	人	136	136	30	総計	実績値	136	-	-	-	コロナ禍で計画した事業実施が困難な状況でした。工夫してできる活動は推進しました。	団体からの相談に応じます。活動内容の指南を行います。
	市子ども会育成連絡協議会加盟団体数	団体	4	4	35	総計	実績値	3	-	-	-	コロナ禍で計画した事業実施が困難な状況でした。工夫してできる活動は推進しました。	団体からの相談に応じます。活動内容の指南を行います。
市青年ネットワーク連合会加盟団体数	団体	9	9	35	総計	実績値	9	-	-	-	コロナ禍で計画した事業実施が困難な状況でした。	社会教育委員会議で振興策の協議を行います。	

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
②公民館活動の充実	・公民館の各室を様々なサークル活動の場として提供することで、活動の継続性を支援します。また、講座等がより魅力的になるよう社会教育指導員とともに企画することで、多くの方に参加してもらえるよう、生涯学習の機会と活動の場の充実を図ります。 ・利用者が安全・安心で快適に活動できるよう、施設の修繕や備品の整備等を図ります。						総括	B	-	-	-	【地域力推進課】 ・まん延防止による会館時間の制限や休館により、特にサークルの利用が低調であり、サークル自体の解散も多く見られました。 ・公民館講座については2件の中止があり、参加者数が大幅に増えませんでした。	
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	名護中央公民館講座 参加者数	人/年	821	850	66	単年	実績値	635	-	-	-	コロナ禍の中、開催中止や外出控えにより思うように参加者が集まりませんでした。	引き続き興味ある講座を開催します。
	中央公民館サークル団体数	団体	48	50	34	総計	実績値	50	-	-	-	利用時間の制限により、サークル活動の停滞が見受けられました。	引き続き取組を推進します。

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)		外部検証	
評価	比較的效果があった				
課題	<p>【久志支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援団体活動については、新型コロナウイルス感染防止対策を行い実施することを最優先するとともに、国、県のガイドラインを確認し実施内容、日程変更など適宜行う必要があります。 <p>【地域力推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で団体活動について落ち込んだ部分をどのように改善に導けるか検討が必要です。 ・講座参加者数が目標未達であるため、講座のPR及び内容検討が必要です。 	<p>内部検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルの推進を進めるなかで、自己評価(課題、今後の方針)の記載が不十分な項目があると思われます。 ・今後、事業の選択・集中がより求められていくなかで、自らの業務の振り返りが重要となります。 ・②公民館活動の充実について、公民館講座参加者が少ない場合は一旦中止等の上、参加者意欲のある講座への転換が必要ではないでしょうか。 	<p>外部検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保所所・幼稚園・小学校低学年までの子供達と地域老人クラブが交流できる体験教室・読み聞かせ・ミニ運動会等を開催し、世代間交流する場を設けてはどうでしょうか。 		
対応	<p>【久志支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援団体活動については、新型コロナウイルス感染防止対策を行い実施することを最優先するとともに、国、県のガイドラインを確認し実施内容、日程変更など適宜行いながら実施するよう、状況の確認、情報提供も含め支援を行います。 <p>【地域力推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会の中で社会教育団体の振興策について協議します。 ・市民が興味を持つ新たな講座を開発したいと思います。 ・サークル活動のPR及び支援を強化します。 	<p>評価の妥当性 ・ 改善に向けた助言</p>	<p>評価の妥当性 ・ 改善に向けた助言</p>		

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【子育て支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、整備を計画している「多世代交流施設」において、多世代交流に活用してもらうように、各種事業等を行っている関係各課に働きかけていきたいと考えております。

基本目標5. 楽しみのあるまちづくりによって人々の繋がる場をつくる【文化・交流、関係人口、人権・多様性】

基本方針(2) 地域コミュニティの活性化



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)		実績(DO)											
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)						
①コミュニティ活動の充実	・コミュニティ活動の拠点となっている自治公民館の修繕に要する経費に対する補助や、財政基盤が脆弱な自治区に対して補助を行い、充実したコミュニティ活動の支援に取り組みます。 ・実施中の地域事業の目的の整理や検証を行い、事業と地域活動の自立化を支援し、時代のニーズに適した体制づくりを目指します。	総括	B	-	-	-	【久志支所】 ・定例の区長会を中心に、地域からの要望等に対応することができました。 【地域力推進課】 ・自治公民館等大規模修繕事業は、鏡平農集落総合管理施設のひび割れ、雨漏りの修繕を実施しました。 ・コミュニティ基盤強化補助事業では、過疎化、少子高齢化等による運営が困難な行政区に対し、活力ある地域づくりの推進のため、11区に補助金を交付し運営の支援を行いました。 ・ちばる地域提案事業は、稲嶺区の公民館に隣接する天洋森の整備のため補助金を交付しました。						
		進捗状況	→										
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	コミュニティ基盤強化補助事業補助団体数	団体	10	10	100	単年	実績値	11				財政基盤が脆弱な行政区が増えています。	経過を確認しながら、財政基盤の脆弱な行政区を支援します。
							達成率	90.9%	-	-	-		
							ランク	B	-	-	-		
							進捗状況	→					

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	課題	内部検証	外部検証
比較的効果があった	【久志支所】 ・地域力推進課との連携(コミュニティ助成事業等)が課題となっています。 【地域力推進課】 ・基盤強化補助金は、対象となる団体が増えつつあり、補助金の配分について課題が出ています。また、ちばる地域提案事業は財源の確保が難しく、事業実施が困難となってきています。	・ちばる提案事業について、今後の事業展開については事業の効果検証に基づき判断すべきではないでしょうか。 ・久志支所の今後の方針について、整備した備品を活用して具体的にどの様に活性化に結びつけるかを記載すべきではないでしょうか。 ・ちばる提案事業について、今後の事業展開については予算の有無にて判断するのではなく、実施要項等を含めた事業の見直しや、事業の効果検証に基づき判断すべきではないでしょうか。	・KPIの達成率の計算結果が正しくないのでは。達成率は、11/10=110%となり、評価がAとなるのではないのでしょうか。
対応	【久志支所】 ・コミュニティ助成事業を活用し、公民館で使用する備品などの購入を支援します。 【地域力推進課】 ・基盤強化補助事業は審査する際に算定方法についても検討が必要です。 ・自治公民館等大規模修繕事業は継続して取り組みます。 ・ちばる地域提案事業は、財源の確保が困難なため今後の実施について検討をしていく必要があります。	・「(2)地域コミュニティ活動の充実」という具体的取組を達成するうえで、今後、当該事業を継続実施するのか、もしくは既存事業を拡充していくのか十分な検討が必要です。 ・コミュニティ活動の充実について、公民館等の大型修繕や地域提案事業の補助など、活動する環境の整備支援は重要と考えます。同時に、それによって、実際にどれくらい活動が充実されたのか、といった部分も見えてくると、環境の整備支援がどれだけ役に立っているかが分かるのではないのでしょうか。(地域提案業を維持していく必要性を語る材料にもなるのでは。)	評価の妥当性 改善に向けた助言

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	【地域力推進課】 ・指標の数値は、補助を受ける団体数が維持もしくは減少することが望ましいため、算出方法(式)を「目標値÷実績値」とさせていただきます。 ・具体的には、補助金を交付する団体数が増えるということは、過疎化、少子高齢化等により財政基盤が脆弱な行政区が増えていることを示しており、「減少するほうが望ましい」と考えますので、コミュニティ基盤強化補助事業補助団体数の達成率については、90.9%としております。 ・ちばる地域提案事業は10年経過し、55の自治会のうち事業実施した自治会及び支部は18区、3支部と21団体、同じ自治会は複数回利用している状況もあり、半数以上の自治会が利用しておらず、55区の自治会に広く利用されておられません。これまで実施された事業が継続されているのか中止の状況なのかについて確認・検証を行い、事業内容の変更等について検討していきます。

基本目標5. 楽しみのあるまちづくりによって人々の繋がる場をつくる【文化・交流、関係人口、人権・多様性】

基本方針(3) スポーツ・レクリエーション活動の充実



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
①生涯スポーツの充実	・名護市スポーツ推進委員及びスポーツ審議会と連携して、市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりに取り組みます。 ・地域のスポーツ振興を担う名護市スポーツ推進委員の資質向上に努めます。						総括	E	—	—	—	【文化スポーツ振興課】 ・名護市スポーツ推進委員と協働し、各種スポーツ教室やイベント等を計画しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、多くが中止を余儀なくされましたが、一部の事業については、沖縄県感染防止対策方針に基づき感染対策を講じながら実施しました。 ・各種競技スポーツ団体等の活動支援として、助成費の支給や協力体制を図っていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県民体育大会派遣の中止を余儀なくされました。	
	重要業績評価指標(KPI) 単位 現状値(R2) 目標値(R6) ウェイト 評価						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	県民体育大会年間参加者数						実績値	0	—	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大により、県民体育大会が中止となり、大会への派遣ができない状況にありました。	派遣環境を整え、引き続きスポーツ団体等への支援・連携を図ります。
	※現状値はR元年度						達成率	0.0%	—	—	—		
						ランク	E	—	—	—			
						進捗状況	↓						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
②夢を育む競技スポーツの推進	・アスリートを招聘したスポーツ教室等を開催する等、特に子ども達が夢を持ってスポーツに取り組めるよう、スポーツの楽しさや達成感を実感できる環境づくりに取り組みます						総括	B	—	—	—	【文化スポーツ振興課】 ・名護市スポーツ振興協議会と協働し、子供達やその指導者を対象に、アスリート等を招聘した市民参加型スポーツ教室及び指導者講習会を計10回開催しました。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で開催件数が4回だったのに対し、対策を講じた結果件数が増えた形となりました。	
	重要業績評価指標(KPI) 単位 現状値(R2) 目標値(R6) ウェイト 評価						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	トップアスリートによるスポーツ教室年間開催件数						実績値	10	—	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大による影響と考慮されますが、感染対策や工夫を講じて積極的に実施した結果、令和2年度より開催件数が伸びています。	引き続き関係団体への支援・連携を図りながら、積極的な開催を目指します。
							達成率	83.3%	—	—	—		
						ランク	B	—	—	—			
						進捗状況	↑						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
③スポーツ施設の整備拡充	・21世紀の森体育館、名護市陸上競技場、名護市B&G海洋センタープール、真喜屋運動広場、羽地ダム多目的広場など、名護市が管理するスポーツ施設を利用者が安心して安全に使用できる環境づくりに取り組みます。 ・新たにスポーツ拠点施設及び武道場整備に向け取り組みます。						総括	C	—	—	—	【文化スポーツ振興課】 ・B&G海洋センタープールにおいては、大規模修繕業務が完了し、陸上競技場については大規模改修に向け、管理棟・スタンド部分の解体に着手し、他の体育施設においても、必要な修繕業務を実施できました。また、施設管理運営の適正化に向けては、指定管理者との定期的な調整会議を設定するなどし、住民サービスの資質向上に向け取り組みました。 ・武道場整備に向けては、基本計画を策定しました。	
	重要業績評価指標(KPI) 単位 現状値(R2) 目標値(R6) ウェイト 評価						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	スポーツ施設の利用者数(21世紀の森体育館、名護市陸上競技場、名護市B&G海洋センタープール、真喜屋運動広場、羽地ダム多目的広場)						実績値	102,902	—	—	—	令和2年度の実績値よりは利用者数は伸びたものの、新型コロナウイルス感染症拡大による施設の利用制限や大会・イベントの中止が相次いだ外的要因があったと思慮されます。	引き続き、施設の安全・安心利用に向け整備・管理を行い、施設の利用拡大を図ります。
							達成率	78.0%	—	—	—		
						ランク	C	—	—	—			
						進捗状況	↑						
名護市営球場(タビックススタジアム名護)の利用者数						実績値	18,322	—	—	—	令和2年度の実績値よりは利用者数は伸びたものの、新型コロナウイルス感染症拡大による施設の利用制限や大会、合宿の中止が相次いだ外的要因があったと思慮されます。	利用者が安全に安心して利用できるよう管理を徹底するとともに、関係部署と連携し、施設の利用拡大を図ります。	
						達成率	57.6%	—	—	—			
						ランク	D	—	—	—			
						進捗状況	→						

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)		外部検証	
評価	比較的效果があった	内部検証	・(3)スポーツ・レクリエーション活動の充実において、中学部活動の地域移行を国が進めようとしていることから、その対応を見据えた取組を行う必要があるのではないだろうか。	外部検証	・陸上競技場の移転。 ・名護市体育協会の解散による影響は、令和4年度での自己評価になるのでしょうか？
課題	【文化スポーツ振興課】 ・スポーツイベントの開催にあたってはコロナ禍の影響で当初の計画より実施できていない状況にあります。 ・既存のスポーツ施設において老朽化が著しい状況にあります。	評価の妥当性・改善に向けた助言		評価の妥当性・改善に向けた助言	
対応	【文化スポーツ振興課】 ・引き続きコロナ禍が続くことを見据え、感染症対策を図りつつ、引き続き沖縄県感染防止対処方針に基づいたイベント等の検討・導入が必要です。 ・スポーツ施設の整備に向け修繕計画を作成し、必要な予算確保に努めつつ、引き続き指定管理者との連携を図ります。	評価の妥当性・改善に向けた助言		評価の妥当性・改善に向けた助言	

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	【文化スポーツ振興課】 ・名護市陸上競技場の再整備については、名護市公共施設等総合管理個別計画において建物方針が建て替えと示されており、また、名護湾沿岸基本計画では、移転先を検討すると示されていることから、建て替えに加えて移転も含めた対応方針を前向きに進めたいと考えております。 ・NPO法人名護市体育協会が6月に解散したという報告を受けており、当初、スポーツ大会等の開催や、県民体育大会への派遣についての影響が懸念されておりましたが、スポーツ振興を担う新たな団体として名護市スポーツ協会が発足されたと伺っております。担当課としても、当団体と連携を図りながら本市のスポーツ振興及び競技力の向上を支援して参りたいと考えております。

基本目標5. 楽しみのあるまちづくりによって人々の繋がる場をつくる【文化・交流、関係人口、人権・多様性】

基本方針(4) 芸術・文化活動の充実



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
①伝統文化の継承と歴史的資料・文化財の保全・活用	・名護市に伝わる歴史的・文化的財産の保全を図るとともに、これまでの調査や「市民の市づくり」を通して得られた情報を活用し、教育普及活動や市民の文化活動の充実に努めます						総括	C	—	—	—	【文化課】 指定文化財の保存・活用を図るとともに、指定候補の文化財調査を実施しました。近年、基地内の文化財調査が増大するなか、予定されていた大浦崎収容所跡における仮設橋梁設置部(R2年度繰越分)の発掘調査を実施しました。 ・市史編さん事業において名護市史本編『自然と人 II』の編集及び発刊を行いました。また、児童生徒(小6～中3)の平和学習の充実に図るため『名護・やんばるの沖縄戦ガイドブック』を発刊し好評を得ています。	
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	埋蔵文化財に関する教育普及活動の実施回数	回/年	5	5	100	単年	3	60.0%	—	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当初予定していた出前授業数を下回る実績となりました。また、企画展や講演会の開催も予定していましたが、中止となりました。	感染防止を徹底しつつ、公開・活用の向上に努めます。

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
②博物館運営の充実	「名護・やんばる」地域の自然と、その中で育まれた歴史や文化を記録・保存して継承するとともに、「名護・やんばる」地域のフィールドミュージアムのコアとして利用者や観光客へ情報発信し、各地へ誘うガイダンス施設(アクセス・インフォメーション機能、基礎知識紹介、疑似体験の提供等)となる拠点を整備します。 ・観光客の増加が地域資源の荒廃や価値低下を招かないよう、地域の人々と良い関係を築くための総合的なガイダンスの提供を行います。 ・学校等と連携を図りながら、名護・やんばるの自然や歴史、文化に対する意識の啓発を図ります。						総括	E	—	—	—	【博物館】 ・沖縄北部促進事業費を活用し、「名護・やんばるの自然と文化拠点施設」の建築工事を実施しました。 実施事業：建築工事(教育施設課)、展示制作業務、やんばる歴史文化保存活用業務委託(文化課) 建築工事完了 ワークショップ棟、古民家 繰越業務 建築工事(博物館等)、展示制作業務、やんばる歴史文化保存活用業務委託	
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	新名護博物館(令和5年3月開館予定)の利用者数	人/年	—	32,000	100	単年	0	0.0%	—	—	—	開館予定R5.3のため実績なしとなります。	4年度中の完結及びR5.3月の「名護・やんばるの自然と文化拠点施設」のプレオープン予定となっています。

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
③図書館機能の充実	・レファレンスサービスの充実や学校司書との連携により、より便利で機能的な図書館を目指します。 ボランティアによるおはなし会、市民の要望に考慮した講座や講演会の開催、ブックスタート事業などにより、市民が本と親しむ機会を創出します。 ・施設・設備を適切に維持管理するとともに、移動図書館サービスの充実、自治公民館や企業へのセット貸出の推進、羽地地区センター図書室の充実などにより、だれにでも開かれた図書館を目指します。						総括	C	—	—	—	【中央図書館】 ・コロナ過でも学校司書との連携により資料提供を行なうことができました。また、学校司書研修会にも参加し、協同して子どもの読書活動を推進することの確認ができました。今後もさらに連携を深めたいと思います。 ・コロナ過により、おはなし会が中止となり、講座や講演会の開催を行なうことができませんでした。ブックスタート事業は、感染症対策に配慮しながら実施方法を工夫して行うことができました。 ・コロナ過により、利用制限を行わざる負えない状況がりましたが、臨時窓口を設置し、できる限り利用者の要望に応えられるよう努めました。今後は、感染症対策を徹底しながらさらなるサービスの向上と開かれた図書館を目指します。	
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	年間図書総貸出件数(中央図書館、移動図書館、羽地地区センター図書室の総計)	件/年	223,384	280,000	50	単年	234,685	83.8%	—	—	—	・コロナ過で臨時休館も本館、羽地地区センター図書室で臨時窓口を設置し貸し出しを行なうことができました。	引き続き利用者のニーズに応じた資料提供に努めます。

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
④芸術文化の振興	・市民が身近に芸術文化に触れる機会をつくるため「鑑賞型事業」「体験型事業」の場を提供します。また、アウトリーチ事業として学校や福祉施設等へ向向き、優れた舞台芸術に直接触れる機会を創出します。 ・地域芸術文化団体等と連携を図り、市民が芸術文化への関心度を高める機会を創出し、芸術文化あふれるまちづくりに努めるとともに、芸術文化の創造・交流・発信拠点施設の管理・運営の充実に努めます。						総括	D	—	—	—	【文化スポーツ振興課】 ・新型コロナウイルスの影響による長期の制限措置などにより演奏家を招いての「鑑賞型事業」は計画通りの実施が厳しい状況でした。「体験型事業」に関しては、芸術文化団体と連携を図り、沖縄県感染防止対応方針に基づき、感染リスクを最小限にするため対策を図りながら可能な限り事業を実施する方向へ進めました。また、アウトリーチ事業は、学校や福祉施設などのニーズに応え、感染防止対策を徹底して、魅力ある芸術文化に触れる機会をつくり、実施した事業の満足度は高い状況でした。	
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	自主芸術文化事業の実施回数(自主事業・子ども芸術支援事業・アウトリーチ事業含)	年/回	25	40	100	単年	14	35.0%	—	—	—	コロナの影響により実施できなかった事業が大半ではありましたが芸術文化団体や学校、福祉施設などと連携を図り、沖縄県対応方針に基づき、感染防止対策を講じながら実施ができた事業の満足度は高い状況でした。	感染防止対策を徹底し、引き続き取組を推進します。

取組・指標(PLAN)							実績(DO)							
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)		
⑤生涯学習機会の情報提供と生涯学習施設等の連携充実	市民のひろば・市ホームページを活用し、生涯学習に関する情報の発信を行います。						ランク	D	—	—	—	【地域力推進課】 中央公民館ホームページが見づらく、閲覧者数が伸びておらず、他の生涯学習機関との連携が取れていない状況にあります。		
							進捗状況	→						
	重要業績評価指標(KPI)		単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウェイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	名護市ホームページにおける生涯学習施設等(中央公民館・市民会館・文化課・図書館・博物館)のページ閲覧数		回/月平均	3,450	9,700	100	単年	実績値	4,019				生涯学習施設等の連携充実を図るために情報共有が望まれます。	情報共有を強化します。
							達成率	41.4%	—	—	—			
							ランク	D	—	—	—			
							進捗状況	→						

■評価結果と妥当性の検証

自己評価			検証(CHECK)		外部検証	
評価	比較的效果があった		内部検証		外部検証	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 【博物館】 <ul style="list-style-type: none"> ・繰越業務 建築工事(博物館等)、展示制作業務、やんばる歴史文化保存活用業務委託 【中央図書館】 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を徹底しながらも行えるサービスの提供に努め、利用者のニーズに対応した開かれた図書館運営改善に努めます。 【文化スポーツ振興課】 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症をはじめとする社会状況の変化等についても考慮に入れ、芸術文化団体が活動を継続し、充実させていくことが可能となるよう、必要な対策や支援策を講じていくことを念頭に置く必要があります。 		<ul style="list-style-type: none"> ・⑤生涯学習機会の情報提供と生涯学習施設等の連携充実において、生涯学習機関との連携が取れていないとありますが、比較的效果があったと評価してよいでしょうか。 ・ホームページが見づらいことが、生涯学習機関との連携が取れなかった要因であるなら年度途中でも検証し、改善が図れるのではないのでしょうか。 ・図書館は新たな取り組みとして、電子図書の導入を検討してはどうでしょうか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
対応	<ul style="list-style-type: none"> 【文化課】 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な開発行為に係る埋蔵文化財の発掘調査体制の充実を図ります。 ・『名護・やんばるの沖縄戦ガイドブック』を活用した平和学習の充実を図ります。 【博物館】 <ul style="list-style-type: none"> ・繰越業務のR4年度中の完結及びR5.3月の「名護・やんばるの自然と文化拠点施設」のプレオープン予定となっています。 【中央図書館】 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を徹底しながら行えるサービスの提供と、利用者のニーズに応じたイベントの実施を行えるよう改善します。 ・学校司書や自治公民館、企業への資料提供支援を強化します。 【文化スポーツ振興課】 <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化の各種事業を企画制作を念頭に置き、目標とする数年後の成果や取組指標を見据えながら引き続き推進に心がけます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・④芸術文化の振興について、芸術文化の担い手となる市民を育成する取組や芸術文化が生業として成立するような取組があってもよいのではないのでしょうか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・評価の妥当性・改善に向けた助言 	

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<ul style="list-style-type: none"> 【中央図書館】 <ul style="list-style-type: none"> ・電子図書導入に向けて検討していきたいと思ひます。 【文化スポーツ振興課】 <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化の振興では、豊かな感性を育み、芸術文化の担い手を育成する取り組みとして子ども芸術支援事業(児童劇団・児童合唱団・ジュニアオーケストラ)を20年余実施しています。これまで、本事業を卒団した子どもたちが少数ではありますが演奏家や指導者等となり生業として活躍する人もいます。芸術文化の担い手や生業へ繋げる成果が少ない状況ではありますが、今後実演家や地域芸術文化団体等と連携を密にし、事業の検証を行いながら地域の芸術文化活動を支える担い手づくりの推進に努めていきます。

基本目標5. 楽しみのあるまちづくりによって人々の繋がる場をつくる【文化・交流、関係人口、人権・多様性】

基本方針(5) 交流の推進



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
①国際交流の促進	・歴史的に多くの海外移民を輩出していることから、今後も海外の市・県系人コミュニティとの関係人口の創出及びネットワーク構築・維持に取り組みます。	ランク	D	—	—	—	【企画政策課】 ・令和3年度4月に名護市在住の外国人住民を対象に「多文化連絡会」を発足しました。市在住外国人との連携、共生等に向け展開していきます。 ・姉妹都市ロンドリーナ市と名護市児童生徒によるオンライン交流を実施しました。また、ウチナーンチュの日制定事業として「移民パネル展」、「名護夜市」、市民のHIROBAへの掲載等を実施しました。 ・新型コロナウイルスの影響により海外子弟研修生の受入が困難な状況にありますが、今後の感染状況を踏まえて検討していきます。							
		進捗状況	→											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		名護市国際交流協会の活性化(個人会員数)	人	117	150	100	単年	実績値	53	—	—	—	新型コロナウイルスの影響により沖縄県緊急事態宣言期間(5月23日~10月30日)に伴う閉館のため会員数の減少しています。	感染防止を徹底します。
		※現状値はR元年度					達成率	35.3%	—	—	—			
						ランク	D	—	—	—				
						進捗状況	→							

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
②地域間交流の促進	・人材・観光・産業・文化等、友好都市を中心とした交流を通じ、関係人口を創出し、相互の振興発展に取り組みます。また、市民レベルの自発的な県内外との交流を促進します。	ランク	B	—	—	—	【企画政策課】 ・友好都市の催事が新型コロナウイルスの影響により縮小、中止となりましたが、唯一開催した枚方市において名護市及び特産品のPRに繋がることができました。課題としては、市民の民間、団体の交流に結びつけるために検討していきます。							
		進捗状況	→											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		国内友好都市との交流件数	回	4	6	50	単年	実績値	4	—	—	—	新型コロナウイルスの影響により催事が縮小や中止となりました。	感染防止を徹底します。
		※現状値はR元年度					達成率	66.7%	—	—	—			
						ランク	C	—	—	—				
						進捗状況	→							
		アンケートによる名護市の認知度向上の割合	%	—	80.0	50	単年	実績値	75.6	—	—	認知度調査を実施したプロモーションイベントのうち、2回がまん延防止等重点措置の発令期間と重なったことにより、調査担当人員の不足や来場者の減少等の理由から調査対応が十分にできず回答割合も低い値となりました。	引き続き取組を推進します。	
						達成率	94.5%	—	—	—				
						ランク	B	—	—	—				
						進捗状況	→							

■評価結果と妥当性の検証

自己評価			内部検証			外部検証		
評価	比較的效果があった		・特になし			評価の妥当性	改善に向けた助言	
課題	【企画政策課】 ・国際交流においては、多文化連絡会の発足や新型コロナウイルスの影響にありながらもオンライン交流に取り組むことができました。 ・国際交流協会の会員数の減少について、改善が必要です。	▶	評価の妥当性	改善に向けた助言	▶	評価の妥当性	改善に向けた助言	・①国際交流の促進のKPI算出を「総計」でなく、「単年」で算出して、達成率を35.3%とし、D評価としてはいかがでしょうか。 ※但し、評価方法を「総計」から「単年」に代えられない場合は、この案は取り下げます。
対応	【企画政策課】 ・新型コロナウイルスの影響に左右されますが、国内交流(市民間、団体、民間)に対する達成状況が低いことから改善が必要です。 ・国際交流協会の会員数の増やすために、新規団体向けのアウトリーチや外国人を雇用している企業に対して支援を行います。							

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	【企画政策課】 ・①国際交流の促進の名護市国際交流協会の活性化(個人会員数)について、算出方法(式)を下記のとおり修正します。 ●修正前:(実績値-現況値)÷(目標値-現況値)=-193.9% ●修正後:実績値÷目標値=35.3%

基本目標5. 楽しみのあるまちづくりによって人々の繋がる場をつくる【文化・交流、関係人口、人権・多様性】

基本方針(6) 人権や多様性の尊重



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)									
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)				
①男女共同参画に向けた意識・環境づくり	・男女共同参画社会の実現を目指し、「第2次名護市男女共同参画計画 あい・愛プラン」に基づき、名護市女性ネットワーク協議会とともに標語募集や講演会、フォーラム等を開催します。 ・男女共同参画に対する意識の啓発、理解と関心を深め、また仕事と家庭の調和(ワーク・ライフ・バランス)の視点に立ち、家庭生活における男女共同参画の推進が図られるよう取り組んでいきます。						総括	E	—	—	—	【地域力推進課】 ・6月の男女共同参画月間に男女共同参画社会の実現を目指し理解と関心を深めるため、名護市女性団体ネットワーク協議会とともに標語の募集やパネル展を実施しました。7月、10月、1月に広報誌「あい愛だより」を発刊し、男女共同参画や性の多様性等の啓発に取り組みました。 ・仕事と家庭の調和の視点に立ち、市民のひろば6月号に掲載し「男性育児休業について」のリレーエッセイ掲載しました。				
	重要業績評価指標(KPI) 受講者のアンケートで「男女共同参画」等について「理解や関心が深まった」と回答する方の割合						個別	実績値	0.0	—	—	—	備考		対応	
	単位: % 現状値(R2): — 目標値(R6): 80.0 ウェイト: 100 評価: 単年						達成率	0.0%	—	—	—	コロナ禍により、講演会が実施できなかったため、アンケートが実施できませんでした。		引き続き推進に取り組みます。		
						ランク	E	—	—	—						
						進捗状況	→									

取組・指標(PLAN)							実績(DO)									
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)				
②互いの性や人権、文化を尊重しあうまちの実現	・性の多様性(LGBTQ等)について理解を促進するために、市民や市職員向けの講演会や研修会等を開催し、お互いを尊重し合えるまちの実現に向けて取り組みます。 ・人権擁護委員会に基づき、候補者を推薦し議会承認の手続きを行います。また、年2回の特設人権相談所の開設や小中学生を対象に人権作文・標語コンテスト等を行い、人権に関する意識の向上を図ります。 ・そのほか、更生保護法人、保護司会、更生保護女性会への支援を行います。						総括	A	—	—	—	【地域力推進課】 ・性の多様性について理解を深めるため、2月に名護市職員対象のLGBT入門講座を実施しました。				
	重要業績評価指標(KPI) 受講者のアンケートで「性の多様性」について「理解が深まった」と回答する方の割合						個別	実績値	100.0	—	—	—	備考		対応	
	単位: % 現状値(R2): — 目標値(R6): 80.0 ウェイト: 100 評価: 単年						達成率	125.0%	—	—	—	研修内容が良く理解が深まり、目標値を上回る結果となりました。		引き続き推進に取り組みます。		
						ランク	A	—	—	—						
						進捗状況	↗									

取組・指標(PLAN)							実績(DO)									
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)				
③女性の能力発揮促進と人材活用	・市政に女性の参画を促進していくため、各種審議会等委員に女性の積極的な登用を促し、女性委員ゼロの審議会等の解消に取り組みます						総括	E	—	—	—	【地域力推進課】 ・市の政策決定の場となる各種審議会等の女性委員の登用率 40%を目標とし、関係課へ審議会等への女性委員の登用推進の依頼と女性委員の登用状況について調査を実施しました。				
	重要業績評価指標(KPI) 各種審議会等の女性登用率(規則に基づく審議会等)						個別	実績値	30.5	—	—	—	備考		対応	
	単位: % 現状値(R2): 29.9 目標値(R6): 40.0 ウェイト: 100 評価: 総計						達成率	5.9%	—	—	—	各種審議会の女性登用率は、なかなか伸びない状況にあります。		引き続き関係課に依頼をしています。		
						ランク	E	—	—	—						
						進捗状況	→									

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	比較的效果があった	内部検証	外部検証
課題	・【地域力推進課】 ・男女共同参画社会の実現や性の多様性の理解について、世代によって理解度に差があるように感じられます。	・特になし ・評価の妥当性 ・改善に向けた助言	・女性の能力発揮促進と人材活用については、各種審議会等の委員の登用だけでなく、役所内部での登用等についても積極的に実施して欲しいと思います。
対応	・【地域力推進課】 ・男女共同参画社会の実現、性の多様性について理解促進をするため、継続して研修会の実施や広報誌やパネル展等に取り組んでいきます。		

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	・【人事行政課】 ・市の女性職員については、管理職のみならず係長級職員への登用も積極的に進めております。今後とも、女性職員の管理職等への積極的な登用を進めていきたいと考えております。

横断的目標 新しい時代の流れを力にして、持続可能な地方創生を推進する【行政サービス、財政基盤、循環型社会、移住・定住】

基本方針（1）時代に即した質の高い行政サービスの提供



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
①行政が担うべき役割の重点化と民間活力の活用	・効率的で無駄のない財政運営と行政運営を達成するため、民間の知恵、ノウハウ、資金等の活用を目的に民間からの提案を受け付け、実行するための一元的な窓口を設置します。						総括	E	—	—	—	【政策推進課】 ・R3年度は、制度設計を行い職員及び議員向け説明会を行いました。	
	重要業績評価指標(KPI)						進捗状況	↑					
	民間提案受付件数	件/年	—	20	100	単年	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
						実績値	0	—	—	—	R3年度はスケジュールどおり制度設計及び職員、議員向け説明会を実施しました。(提案受付開始はR4年度以降)	引き続き取組を推進します。	
						達成率	0.0%	—	—	—			
						ランク	E	—	—	—			
						進捗状況	↑						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
②最新技術を活用した市民サービスの向上と事務の効率化	・最新技術の導入、活用等により住民の利便性向上や自治体の業務効率化などを目的とした、行政のデジタル化を推進します。 ・市内全域において民需系超高速ブロードバンドサービスの利用が可能となるよう、当該サービスが提供されていない地域での通信インフラ整備を推進します。						総括	B	—	—	—	【情報政策課】 ・民需系超高速ブロードバンド未整備地域の整備が完了しました。 ・対象地域において各通信事業者と説明会を開催しました。	
	重要業績評価指標(KPI)						進捗状況	↑					
	名護市超高速通信サービス整備事業 超高速ブロードバンド環境整備地域における世帯加入率	%	0	20.0	100	総計	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
						実績値	19.0	—	—	—	令和4年3月より民間通信事業者によるサービスが受付開始となりました。	引き続き取組を推進します。	
						達成率	95.0%	—	—	—			
						ランク	B	—	—	—			
						進捗状況	↑						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
③時代の変化に対応可能な人材の育成	・庁内外における研修機会の充実を図るとともに社会環境の変化を察知し、柔軟に対応する能力の育成や多様性を尊重する意識の啓発を図るための研修を実施します。 ・人事評価結果を職員研修へ反映させることにより、個々の職員の能力を引き上げ、より質の高い職員育成を目指します。						総括	A	—	—	—	【人事行政課】 ・人事評価研修においては、職員の関心が高く、目標を上回る結果となりました。その他の研修については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかった研修もあるため、柔軟な受講体制(動画研修等)を構築する必要があります。	
	重要業績評価指標(KPI)						進捗状況	↑					
	職員研修計画による研修受講率	%	—	80.0	100	単年	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
						実績値	87.2	—	—	—	人事評価研修については、自身の勤務評価等に直結することから、関心度が高く、目標を上回る結果でした。	引き続き取組を推進します。	
						達成率	109.0%	—	—	—			
						ランク	A	—	—	—			
						進捗状況	↑						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
④簡素で効率的な組織体制の構築	・市民ニーズの変化や国の動向等の情報収集に努め、行政改革推進本部会議を中心とした定期的な組織体制の検討、見直しを実施します。						総括	E	—	—	—	【人事行政課】 ・全体的に時間外勤務時間数は減少となり、目標に近い結果となりました。令和4年度に創設された業務改善推進室と連携を図り、全庁的な業務の効率化に向けた取組を進めています。	
	重要業績評価指標(KPI)						進捗状況	→					
	職員の残業時間数	時間	63,312	56,981	100	単年	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
						実績値	62,300	—	—	—	時間外数が減少した明確な理由は定かではありませんが、新型コロナウイルス感染症に関する対応への時間外業務が減ったことによるものと推測されます。	引き続き取組を推進します。	
						達成率	16.0%	—	—	—			
						ランク	E	—	—	—			
						進捗状況	→						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
⑤シティプロモーションの推進	・名護市の魅力を積極的にPRしていくため、あらゆるツールや手法を用いて行政・地域・民間が連携した戦略的な情報発信の構築を図ります。						ランク	D	—	—	—	【企画政策課】 今後の広報戦略の指針となる「観光プロモーション方針」の策定、市のプロモーション動画の制作、市内事業者への広報・プロモーションセミナーを開催しました。また、友好都市交流イベント等へ参加し、制作した動画を活用してPRを行うとともに、来場者より本市の観光認知度調査を実施しました。	
							進捗状況	→					
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	アンケートによる名護市の認知度向上の割合(再掲)						実績値	75.6				認知度調査を実施したプロモーションイベントのうち、2回がまん延防止等重点措置の発令期間と重なったことにより、調査担当人員の不足や来場者の減少等の理由から調査対応が十分にできず回答割合も低い値となりました。	引き続き取組を推進します。
							達成率	94.5%	-	-	-		
							ランク	B	-	-	-		
							進捗状況	→					
	市内観光施設入込客数(国内内容及び国外客含む)(再掲)						実績値	1,653,392				4月のまん延防止等重点措置に続き、5月から9月までの長期間にわたり緊急事態措置が適用され、感染状況が落ち着いた11月以降、段階的な経済活動再開により徐々に回復傾向が見られたものの、1月以降再びまん延防止等重点措置が適用となるなど、コロナ禍により多大な影響を受けました。	ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた観光客誘客の取組みを図ります。関係部署及び市内観光事業者と連携していきます。
							達成率	27.4%	-	-	-		
							ランク	E	-	-	-		
						進捗状況	↓						
市内宿泊施設入込客数(国内内容及び国外客含む)(再掲)						実績値	440,926				4月のまん延防止等重点措置に続き、5月から9月までの長期間にわたり緊急事態措置が適用され、感染状況が落ち着いた11月以降、段階的な経済活動再開により徐々に回復傾向が見られたものの、1月以降再びまん延防止等重点措置が適用となるなど、コロナ禍により多大な影響を受けました。	ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた観光客誘客の取組みを図ります。関係部署及び市内観光事業者と連携していきます。	
						達成率	32.3%	-	-	-			
						ランク	D	-	-	-			
						進捗状況	↓						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
⑥“伝わる”情報発信	・紙媒体による市政情報の共有化、及びウェブサイトやSNSによる市政情報の共有化を行うことで、アナログとデジタルが融合した“伝わる”情報発信を推進します。						ランク	A	—	—	—	【企画政策課】 ・支援施策の発信など市政情報について、広報誌と併せて、名護市公式SNS(フェイスブック、インスタグラム)や地上波データ放送を活用して発信することで、市民が市政情報に触れる機会を増やしました。また公式SNSでは、観光情報アカウントを新たに作り、市民から投稿のあった写真を掲載するとともに、広報パネル展を開催し、その中でも展示を行うなど、市民参加型の情報発信の取組を行いました。	
							進捗状況	→					
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	名護市デジタル情報配信事業(QABデータ放送)における年間あたりの掲載記事数						実績値	82				各担当部署が市政情報や新型コロナワクチン接種情報など、関心度が高い事項をタイムリーで配信することができ、目標値を上回る結果となりました。	引き続き取組を推進します。
							達成率	102.5%	-	-	-		
							ランク	A	-	-	-		
							進捗状況	↑					
	市公式YouTube登録者数、SNS等のフォロワー数の総計						実績値	2,518				動画コンテンツ増やしたことや掲載頻度を高めたこと、市民投稿企画の積極的な配信等を行ったことにより順調にフォロワー数の獲得に繋がっています。	引き続き取組を推進します。
							達成率	98.7%	-	-	-		
							ランク	B	-	-	-		
						進捗状況	↑						
名護市ホームページの閲覧数						実績値	31,184				R3年度はコロナ禍の影響によりコロナ支援ページ等、コロナ関連ページの閲覧数が大幅に増加したことにより目標値を上回る結果となりました。	引き続き取組を推進します。	
						達成率	143.8%	-	-	-			
						ランク	A	-	-	-			
						進捗状況	↑						

取組・指標(PLAN)							実績(DO)						
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)	
⑦名桜大学との連携	・名桜大学と連携を図り、職員向けの研修を実施し、職員の能力向上に努めます。 ・名桜大学が行う地域の特色ある研究開発や専門人材育成等の取組と連携し、名護市の課題解決に向け取り組みます。						ランク	A	—	—	—	【人事行政課】 引き続き、職員の能力向上を図るため、地元資源の当大学と連携し有効な職員研修を実施します。	
							進捗状況	→					
	重要業績評価指標(KPI)						個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	名護市が名桜大学に委託している職員研修受講率						実績値	92.3				メンタルヘルスに関する研修であり、関心が高く、目標値を上回る結果でした。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった研修もあり、計画どおりの研修を実施した場合においても目標値の達成が図られよう取り組みたいと思います。	引き続き取組を推進します。
							達成率	115.4%	-	-	-		
						ランク	A	-	-	-			
						進捗状況	↑						

■評価結果と妥当性の検証

		検証(CHECK)	
自己評価		外部検証	
評価	十分な効果があった	内部検証	外部検証
課題	<p>【情報政策課】 民需系ブロードバンドとなるため、市民への加入促進は公平性を保つ必要があります。</p> <p>【企画政策課広報係】 シティプロモーションの推進において、まん延防止等重点措置の発令など、コロナ禍により事業の取組にも影響が出ました。ウイズコロナ、アフターコロナを見据え今後の動向に注視し、事業の実施内容を検討していく必要があります。</p> <p>【人事行政課】 すべての項目において、実績としては目標に近い、若しくは上回っており、一定の効果は得られました。一部の研修においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止になったほか、対面研修から動画研修へ切り替えるなどの方法がとられました。計画どおりの研修が実施された場合においても目標値が達成できるよう取り組みたいと思います。</p> <p>【政策推進課】 ・令和4年度からの制度開始にあたり、庁内外への周知徹底を図る必要があります。</p>	<p>・DXの推進は、デジタル化(システム化など)の推進と必ずしもイコールではなく、業務改革・改善が主であることを、職員に徹底的に認識させる必要があります。</p>	<p>・④に関して、KPIの達成率が91%というのは高すぎるのではないのでしょうか。</p> <p>・③の人材の育成に関しては、役所職員だけでなく、市から補助金等を交付している団体や民間へも取り組みを進めて欲しいと思います。</p>
対応	<p>【情報政策課】 ・名護市内ほぼ全域で民需系超高速ブロードバンドが利用可能となったことに伴い、今後は市民がその恩恵を得られる様な行政コンテンツの導入及び支援を図り、併せて行政のデジタル化を図ります。</p> <p>【企画政策課】 ・関係機関と連携しながら県内外でのプロモーションイベントを実施するとともに、地域事業者のPR力・情報発信力を強化しプロモーションに対する意識付けを図るため、広報・PRセミナーを継続します。</p> <p>・新たな情報発信ツールとして、名護市所在のラジオ局(コミュニティFM)を活用し、双方向のコミュニケーションやインターネット配信といった特性を活かして、伝わる情報発信を強化します。</p> <p>【人事行政課】 ・令和3年度は、特に研修関係において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止が相次ぎました。感染症対策を講じつつ、必要な研修を受講できるよう、受講体制の構築や研修内容の見直しを図る必要があります。</p> <p>・職員の時間外については、令和4年度に創設された業務改善推進室との連携により、更なる削減に向けた取組を進めます。</p> <p>【政策推進課】 ・提案受付件数の目標達成のため、職員及び議員、民間事業者に対する説明会を実施し、制度の周知徹底に努めます。</p>	<p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p>	<p>評価の妥当性・改善に向けた助言</p>

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【人事行政課】 ・④職員の残業時間数について、委員の指摘のとおり算出方法(式)を下記のとおり修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現在の式：目標値÷実績値＝91.5% ●変更後の式：(実績値-現況値)÷(目標値-現況値)＝16.0% <p>・人材育成におきましては、主に研修等の実施等により職員の能力向上を図っております。ただ、本市職員における研修計画については課題や見直すべき事項について検討を進めなければならないことから、進捗状況を踏まえた上で当団体等への取組について検討していきたいと考えております。また、市職員と他団体等の職員との勉強会や意見交換会等を実施することにおいても双方職員の能力向上に資すると考えられることから、今後、連携を図り、できることから取組を進めていきたいと考えております。</p>

横断的目標 新しい時代の流れを力にして、持続可能な地方創生を推進する【行政サービス、財政基盤、循環型社会、移住・定住】

基本方針（2）持続可能な財政基盤の確立



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
①財政運営の健全性の確保	・企画政策課と連携を行い、実施計画や事業評価等の取組に協力し、サンセット方式や事業の見直し(ビルド&スクラップ)の推進を行うことで予算の抑制に繋がります。	総括	A	—	—	—	【財政課】 地方交付税や地方特例交付金の増により、財政調整基金や公共施設等整備基金への積み立てが増となったことにより、指標は改善されましたが、ビルド&スクラップはまだ出来ていない状況です。令和4年度以降は、地方交付税や臨時財政対策債が減となっていく見込みのため、今後の事業評価等の結果をもって、事業の見直しを図っていく必要があります。							
		進捗状況	↑											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		将来負担比率	%	29.6	29.6	100	単年	実績値	21.9				令和3年度は、地方交付税や地方特例交付金の増により、財政調整基金や公共施設等整備基金への積み立てが増となったことにより、一時的に改善されています。	施設等の事業見直しが必要となります。

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
②歳出削減への取組	・扶助費や公債費、人件費の義務的経費の増加により、名護市の財政運営に影響(経常収支比率)を与えており、今後も増加していくと考えるため、総合戦略や公共施設総合管理計画を取り込んだ中期財政計画を作成し、安定した財政運営を図ります。	総括	A	—	—	—	【財政課】 地方交付税や地方特例交付金等の増により、分母となる経常一般財源等が大きくなり改善しました。しかし、令和4年度以降は、地方交付税や臨時財政対策債が減となっていく見込みのため、一時的な指標の改善となります。							
		進捗状況	↑											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		経常収支比率	%	92.7	92.7	100	単年	実績値	88.7				地方交付税や地方特例交付金等の増により、分母となる経常一般財源等が大きくなり改善しました。	経常経費の抑制が必要となります。

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
③歳入確保への取組	・令和元年11月から開始した名護市ふるさとまちづくり指定寄付金の返礼品継続し、3年後に寄付金額2億円達成を目標に推進していきます。 ・企業版ふるさと納税を活用し、歳入の確保に努めます。 ・コンビニ収納や、キャッシュレス決済を周知することで、収納機会の拡大につとめます。 ・民間委託による「電話催告センター」を活用し早期催告を実施し、収納担当課の連携を図ることにより市税等の収納率の向上に取り組みます。	総括	A	—	—	—	【国民健康保険課】 従来のコンビニ収納等に加え、令和3年度はクレジットカード決済及びペイジー決済(インターネットバンキング)を導入し、更なる納付機会の拡大に努めました。 ・現年度分に重点を置いた電話催告により、収納率向上が図られましたが、電話のつながらないケースへの対応が今後の課題であり、電話催告と並行して文書催告及びSMSの活用を強化していきます。 【税務課】 ・コンビニ収納やキャッシュレス決済の周知を図り、収納機会の拡大に努めました。 ・民間委託による「電話催告センター」を活用し早期催告を実施することで収納担当課との連携を図り、市税等の収納率の向上に取り組みました。 【企画政策課】 ・企業版ふるさと納税について、5件、12,200千円の寄附がありました。引き続き企業への周知に努めます。 【財政課】 ・ふるさとまちづくり寄付金については、体験型の返礼品を令和3年10月末に追加したことにより、目標値に近づきました。体験型の返礼品の種類を増やすことで、歳入増が見込めるため、取組を強化していく必要があります。							
		進捗状況	↑											
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		ふるさとまちづくり寄附金額	千円/年	143,937	200,000	20	単年	実績値	197,540				ふるさとまちづくり寄付金については、体験型の返礼品を令和3年10月末に追加したことにより、目標値に近づきました。	寄附金増に取り組みます。
		企業版ふるさと納税寄附金額(3年平均)	千円/年	-	5,000	20	単年	実績値	12,200				担当部署から企業へ呼びかけ、令和3年度は5社からの寄附がありました。	引き続き企業への周知に努めます。
		徴収率(市税等)	%	98.4	98.8	20	単年	実績値	99.3				コロナ禍の影響はありましたが、目標値を上回る結果となりました。	更なる徴収率増を目指し、継続して取り組みます。
		徴収率(国民健康保険税)	%	94.4	95.2	20	単年	実績値	95.16				クレジットカード決済等の納付機会の拡大、民間委託による電話催告等及び滞納処分執行により目標値を概ね達成しました。	引き続き取組を推進します。
		徴収率(介護保険料)	%	93.8	96.7	20	単年	実績値	94.0				コンビニ収納やキャッシュレス決済を周知し収納機会の拡大、滞納者への電話連絡や相談を行いました。	引き続き取組を推進します。
		進捗状況	↑											

取組・指標(PLAN)							実績(DO)							
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)		
④公共施設等の適切な管理	・名護市の公共施設等の状況を客観的に把握・分析し、長期的・全庁的な視点で公共施設等の総合的かつ最適な配置を実現するために平成28年度に策定した「名護市公共施設等総合管理計画」の見直しを行います。						ランク	—	—	—	—	【財政課】 ・名護市公共施設等総合管理計画の見直しを行い、改訂版を策定しました。		
							進捗状況	↑						
	重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応	
KPIの設定なし	—	—	—	—	—	実績値	—	—	—	—	名護市公共施設等総合管理計画の見直しを行い、改訂版を策定しました。		計画に基づき、適切な管理を行います。	
							達成率	—	—	—				
							ランク	—	—	—				
							進捗状況	↑						

■評価結果と妥当性の検証

自己評価			内部検証			外部検証		
評価	十分な効果があった		・特になし					
課題	【国民健康保険課】 ・電話のつながらないケースへの対応が不十分でした。 【税務課】 ・催告慣れしている滞納者に対するアプローチ方法の検討が必要です。 【財政課】 ・財政運営の健全性の確保及び歳出削減への取組については、一時的な改善と思われるため、今後は、目標値以内を維持できるように取組が必要となります。 ・歳入確保の取組は、目標値の達成び順調に伸びているため、維持していく必要があります。 ・公共施設の適切な管理は、改訂版を策定したことから、今後はこの計画の活用を図る取組が必要となります。		評価の妥当性・改善に向けた助言			評価の妥当性・改善に向けた助言		
対応	【国民健康保険課】 ・目標収納率(95.2%)達成のため、電話催告と並行して文書催告及びSMSの活用を強化します。 【税務課】 ・キャッシュレス決済など新たに追加した収納機会の利用者数の増、口座振替登録数の増を図り、より非接触型で納期内納付しやすい環境整備に努めます。 ・民間委託による「電話催告センター」の活用を継続し、納め忘れへの早期接触を図りつつ、催告慣れしている滞納者へのアプローチ方法の検討に努めます。 【財政課】 ①財政運営の健全性の確保の取組として実施計画の事業評価等を活用し、公共施設の建設や修繕の事業見直しを強化する必要があります。 ②歳出削減の取組として、人件費等の経常経費の抑制や長期財政計画策定を検討していく必要があります。 ③歳入確保の取組で、ふるさとまちづくり寄附金の増を図るため、体験型の返礼品や寄附金を募るポータルサイトの追加していく必要があります。 ④公共施設等の適切な管理で、計画に基づき、適切な管理を行い、財政計画等に活用していく必要があります。		評価の妥当性・改善に向けた助言			・建設部門や水道、教育部門等で国等からの補助金の減額や予算の確保で事業の執行が滞っている課題があります。重要な課題であるので、名護市(首長等)の予算確保に向けての取組等を記載する必要はないでしょうか。		

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	【企画政策課】 ・ふるさとまちづくり寄附金、企業版ふるさと納税寄付金、税収等により、歳入確保に向けて引き続き取り組んで参ります。

横断的目標 新しい時代の流れを力にして、持続可能な地方創生を推進する【行政サービス、財政基盤、循環型社会、移住・定住】

基本方針（3）環境にやさしい循環型社会の構築



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
①環境意識の普及・啓発	・ごみ減量・3Rに関する情報発信や講座の開催等を行うことで、市民の環境保全に対する意識の啓発を図ります。	総括	E	—	—	—	【環境対策】 ・廃品等のリサイクルやリメイク講座を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の開催が困難でした。							
		ランク	進捗状況	↓										
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		ごみ減量・3R推進に向けた講座等の継続的な実施	件/年	32	50	100	単年	実績値	11				新型コロナウイルス感染症の影響により、市民向けの講座が開催できませんでした。	継続して取組を推進します。
		達成率	22.0%	-	-	-	ランク	E	-	-	-			
		進捗状況	↓											

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
②循環型社会の構築に資する人材の育成	・市民一人ひとりが環境やエネルギーに配慮したライフスタイルへと転換を図るための機会を提供することを目的として、身近な暮らしに役立つエコ情報の発信や環境保全活動の報告等を行います。	総括	E	—	—	—	【環境対策】 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で環境フェアが中止となりました。							
		ランク	進捗状況	↓										
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		環境フェアの来場者数	人/年	1,000	1,000	100	単年	実績値	0				新型コロナウイルス感染症拡大により環境フェアが中止となりました。代替イベントとして本庁舎及び各支所において、特定外来生物ツルヒヨドリ(3/14～3/18)を実施しました。	継続して取組を推進します。
		達成率	0.0%	-	-	-	ランク	E	-	-	-			
		進捗状況	↓											

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
③ごみの発生抑制・再資源化の促進と廃棄物の適正処理	・市民・事業者・行政の三者協働によるごみの発生抑制・再資源化の取組を推進するとともに、施設や機械設備を適正に管理することで廃棄物の適正処理を行います。	総括	E	—	—	—	【環境対策】 ・ごみの排出量について、人口や世帯数の増加もあることから、増加する結果となりました。							
		ランク	進捗状況	↓										
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		ゴミ(一般廃棄物)総排出量の抑制	t/年	19,886	19,508	100	単年	実績値	20,337				ごみ排出量について、人口や世帯数の増加もあり、令和2年度より増加する結果となりました。	継続して取組を推進します。
		達成率	-119.3%	-	-	-	ランク	E	-	-	-			
		進捗状況	↓											

取組・指標(PLAN)		実績(DO)												
具体的取組	具体的取組の内容	総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)							
④循環型エネルギーの導入・普及促進	・地球温暖化を防止し、低炭素社会の構築に向けて住宅用太陽光発電システムを設置した市民に対して補助を行います。 ・民間企業と連携し、名護市における地域の脱炭素および持続可能なまちづくりを目指します。	総括	A	—	—	—	【環境対策】 ・太陽光発電システム設置補助事業では令和2年度の補助金交付件数が14件に対し、令和3年度は25件と11件の増加がありました。							
		ランク	進捗状況	↑										
		重要業績評価指標(KPI)	単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
		住宅用太陽光発電システム設置補助件数	件/年	14	18	100	単年	実績値	25				HPや市民のひろばを活用し多くの方に事業を周知できました。	継続して取組を推進します。
		達成率	138.9%	-	-	-	ランク	A	-	-	-			
		進捗状況	↑											

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)		外部検証			
評価	あまり効果がなかった	内部検証	<p>・コロナの影響により環境フェアの未実施が続いていますが、循環型社会の構築に向けてコロナ過の中でも広く市民へ周知を図るシステムを検討する必要があるのではないのでしょうか。</p>	外部検証	<p>・R3年度のゴミ排出量がR2年度に比べて増加しているため、R3年度の実績として達成率が96%というは理解できません。評価方法の誤りではないでしょうか。</p> <p>・具体的な取組の自己評価を記載して欲しいと思います。</p> <p>・うるま市・りゅうせき・昭和化学工業で水素活用したPJの新聞報道がありました。沖縄電力では水素社会構築に向けた研究・取組を開始したばかりです。脱炭素社会に向けた名護市地域インフラ整備として情報収集を行ってはどうでしょうか。事業規模によっては名護市のクリーンイメージ向上、雇用創出にもつながるのではないかと思います。</p> <p>・雇用の創出の面で、沖縄電力で水素を活用した計画が大きく動いています。名護市にもまだまだ敷地があると思うので、クリーンなまちづくりに向け、今すぐ取り入れるというのではなく、情報収集の段階からでもやってみてはどうでしょうか。</p>		
課題	【環境対策課】 新型コロナウイルスの影響で環境フェアが実施出来ない状況が続いています。					評価の妥当性・改善に向けた助言	評価の妥当性・改善に向けた助言
対応	【環境対策課】 社会情勢等を見極めながら適切に施策を展開していきます。						

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【環境対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ゴミ(一般廃棄物)総排出量の抑制について、委員の指摘のとおり算出方法(式)を下記のとおり修正します。 ●現在の式: 目標値÷実績値=95.9% ●変更後の式: (実績値-現況値)÷(目標値-現況値)=-119.3% <p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断的目標からは全体に通じる課題が抽出されることも多いため、どのように共有・反映していくか、評価の活用方法についても検討していきたいです。 <p>【環境対策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会の実現に向け情報収集及び周知に努めます。

横断的目標 新しい時代の流れを力にして、持続可能な地方創生を推進する【行政サービス、財政基盤、循環型社会、移住・定住】

基本方針（4）移住・定住の促進



■具体的取組ごとの評価検証

取組・指標(PLAN)							実績(DO)							
具体的取組	具体的取組の内容						総括	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R3年度 取組(ふりかえり)		
①移住・定住の促進	今後、名護市におとずれる人口減少に備え、誰もが人や自然と豊かにつながりながら誇りを持って暮らせるまち、誰もが住み続けたいと思う「選ばれ続けるまち」を目指します。						ランク	B	—	—	—	【企画政策課】 ・名護市全体として人口は増加していますが、老年人口の増加等が顕著になり始めている状況が統計データ等から伺えます。人口の維持・増加を目指して、引き続き「選ばれ続けるまちづくり」の取組に努めます。		
							進捗状況	→						
	重要業績評価指標(KPI)		単位	現状値(R2)	目標値(R6)	ウエイト	評価	個別実績値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	対応
	市外からの転入者数		人/年	3,267	3,670	50	単年	3,335	90.9%	—	—	—	市としての移住に関する具体的取組は行っていないが、令和2年から令和3年にかけて市外からの転入者が68名増加している状況から、市で行っている施策等により効果が現れたものと思われる。	状況を見極めながら随時対応します。
住みよさランキング(沖縄県内順位)出典:都市データバック(東洋経済 新報社)		位	1	1	50	単年	2	90.0%	—	—	—	今回、ランキングが下がっているのは、住みよさランキングの算出指標である「安心度」が前年度と比較して29位低くなっていることが影響しているものと思われる。特に「老年人口当たり介護老人福祉・保健施設定員数」が減少しています。	状況を見極めながら随時対応します。	
						進捗状況	→							

■評価結果と妥当性の検証

自己評価		検証(CHECK)	
評価	課題	内部検証	外部検証
比較的効果があった	【企画政策課】 老年人口の増加や一部地域での人口減少がみられます。	・横断的目標の(1)~(5)シティプロモーションの推進のKPIが観光関連に偏っていますが、シティプロモーションの成果は、横断的目標の(4)~①定住の促進の成果に連動すると思われるので、両取組を連動させて評価できるようにしたほうがよいのではないのでしょうか。 ・横断的目標の成果や課題は、他の基本目標とも密接に関わってくるため、連動して評価ができるよう工夫できるとよいのではないのでしょうか。 ・老年人口が増加してきた際には、福祉施設や介護サービスの充実を図り、住みよさを確保していくことも必要となるなど、基本目標の達成に向けては、他の取組と合わせて柔軟に対応していく必要があります。	・具体的な取組の自己評価を記載して欲しいと思います。
引き続き「選ばれ続けるまちづくり」に繋がる事業に努めます。	【企画政策課】	・横断的目標の(4)のKPI、住みよさランキングの達成率が50%となっていますが、どのように算出方法を決めているのでしょうか？例えば20位だったら何%になるのでしょうか？	評価の妥当性・改善に向けた助言

■検証結果を踏まえた改善方針

対応方針(ACTION)	
検証結果を踏まえた改善方針	<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的取組ごとの数が多いことから、主なものを自己評価として記載しています。わかりにくいということでしたら、今後記載方法について検討します。 ・基本方針の連動や、基本目標をまたいだ評価については、工夫が必要だと思いますが、コミュニケーションを図りながら進めていく必要があります。 ・どのように進めていけるかについては、評価検証を続けていくなかで模索していきたいと思っています。 ・横断的目標からは全体に通じる課題が抽出されることも多いため、どのように共有・反映していくか、評価の活用方法についても検討していきたいと思っています。 ・「住みよさランキング」の調査対象は「市」と「特別区」が対象で、県内は11市が対象となることから、1位で100%、2位で90%、10位で10%、11位で0%になるように算出方法(式)を下記のとおりに修正します。 <ul style="list-style-type: none"> ●修正前: 目標値 ÷ 実績値 = 50% ●修正後: (10 - (実績値 - 目標値)) / 10 = 90%

5. 参考資料

5.1. 名護市まち・ひと・しごと創生本部会議（内部検証会議）名簿

区分	職名
本部長	副市長
副本部長	企画部長
本部員	会計管理者 総務部長 地域経済部長 こども家庭部長 市民部長 福祉部長 農林水産部長 建設部長 環境水道部長 教育次長 消防長 議会事務局長

5.2. 名護市総合戦略推進会議（外部検証会議）名簿

	所属	役職	氏名	備考
1	名護市役所	副市長	金城 秀郎	行政機関
2	公立大学法人名桜大学	学長	砂川 昌範	教育機関
3	名護市商工会	会長	山端 康成	産業界
4	名護市観光協会	理事長	前田 裕子	産業界
5	名護市区長会	会長	崎浜 秀雄	その他
6	沖縄銀行 名護支店兼大宮支店	支店長	豊里 哲充	金融機関
7	沖縄県農業協同組合	北部地区本部長	松田 毅	産業界
8	名護漁業協同組合	組合長	安里 政利	産業界
9	名護市社会福祉協議会	会長	野原 健伸	労働団体
10	名護市子ども・子育て会議	会長	松下 聖子	その他
11	名護市女性会	会長	西平 さと子	その他
12	北部地区医師会法人	事務局長	稲嶺 盛嗣	その他
13	名護公共職業安定所	所長	橋口 浩二	行政機関

※敬称略

令和4年度 第2期名護市まち・ひと・しごと創生総合戦略
評価検証報告書(令和3年度実績)

令和4年12月 発行

発行：名護市 企画部 企画政策課 企画調整係
〒905-8540
沖縄県名護市港一丁目1番1号
電話：(0980) 53-1212 (代表)
